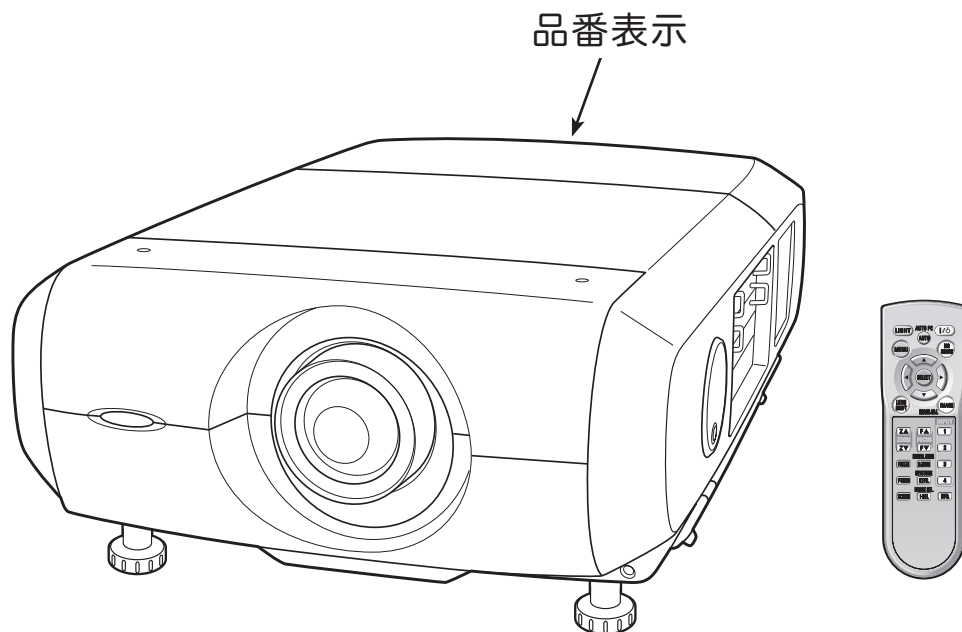
取扱説明書

液晶プロジェクター

品番 LP-XF47

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。とくに4〜11ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書といっしょに、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。わからないことがあったときなどにお役に立ちます。
お買い上げ商品の品番は後面の表示でご確認ください。

保証書は必ずお受け取りください

※レンズは別売です。

本製品は200V電源仕様です。200V電源についての詳しくは取扱販売店にご相談ください。

取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　）内の記号が色記号です。

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

LP-XF47 の特長

高　精　細

1024 x 768 ドットの高解像度液晶パネル採用。
- XGA 画像をリアル表示。SXGA、WXGA、UXGA を圧縮表示

DVI-D（デジタル ビジュアル インターフェイス）搭載
- デジタル ビジュアル インターフェイス（DVI-D） 入力端子により、コンピュータの画像をより鮮明に再現。
- HDCP 技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生、投映できます。

5-BNC 映像入力端子を装備
- アナログ RGB 信号およびコンポーネント信号に対応し、DVD や HDTV などを高画質で再生。

プログレッシブ スキャン
- プログレッシブスキャンの採用により、映像をより高画質に投映します。

高　設　置　性

さまざまな設置環境に対応
- 天吊り、リア投映可能。
- テストパターン内蔵。

上下左右・電動レンズシフト機能搭載
- 上下に± 50%、左右に± 10% 可変。(LNS-S03 装着時)

レンズ交換機構
- 様々な別売レンズ装着可能、簡単に交換可能。

カードスロット式接続端子
- 接続端子の入れ替え可能なカードスロット式接続端子により、端子カードの入れ替え及び追加により外部機器またはシステム組み込みに合わせてプロジェクターを使用することができます。

ネットワークボード（別売）に対応
- 別売のネットワークボードを装着することにより、プロジェクターをネットワーク経由で操作・管理することが可能。

高　機　能

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能
- コンピュータの信号の判別と最適設定を自動で行なう「マルチスキャン システム」と「自動 PC 調整」機能。
- 画面を一時的に消す「NO SHOW」機能・画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能。
- プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER (プレゼンテーション タイマー)」機能。
- 見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投映できる「デジタル ズーム」機能。(コンピュータ モード時)
- 投映画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタル キーストーン (台形補正)」機能。

海外の映像システムにも対応する 6 カラーシステム
- NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N カラーシステムに対応。

点灯ランプを自動的に切り替える 4 ランプシステム

ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコンを付属

高　信　頼　性

信頼性を高める機能
- 電力の節約を助ける、パワーマネージメント機能。
- ランプの明るさを調整できる、ランプモード機能。

暗証番号を登録してセキュリティー強化
- 「ロゴ暗証番号ロック」と「暗証番号ロック」機能で、第三者の不正使用や誤作動を防ぐことができます。

～本説明書中の記号について～

記号	説明
(電球マーク)	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
(指マーク)	関連事項や 、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
[ボタン] 名	リモコン、またはプロジェクター本体の入出力端子や操作パネルのボタン名称を示しています。 例： [SELECT] ボタン 、[INPUT 1] 端子
「メニュー」名	メニューの項目を示しています。 例： 「インプット」、「キーストーン」

＊本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものとは異なります。

もくじ

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

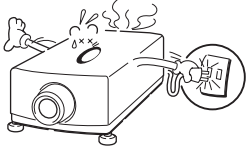
この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警 告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注 意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

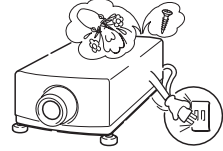
■絵表示の例

	注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。 △の中に具体的な注意内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「感電注意」を意味します。
	してはいけない行為（禁止事項）を示しています。 ⃠の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「分解禁止」を意味します。
	しなければならない行為を示しています。 ●の中に具体的な指示内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「電源プラグをコンセントから抜け」を意味します。

⚠ 警告

警　告

電源プラグを
コンセントから抜け

下記のような場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

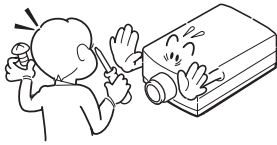
・煙が出ている
・変なにおいや音がする
・水など液体が本機の内部に入った
・金属類や異物が本機の内部に入った
・画面が映らない
・音が出ない
・大きな音が出てランプが消えた

このような異常状態や故障状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

警　告

電源プラグを
コンセントから抜け

万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

分解禁止

感電注意

本機のキャビネットは外さないでください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

禁　止

表示された電源電圧（交流 200 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

※1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐタコ足配線もしないで下さい。

禁　止

水ぬれ禁止

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。

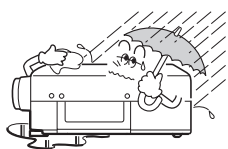
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

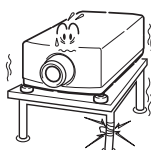
風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

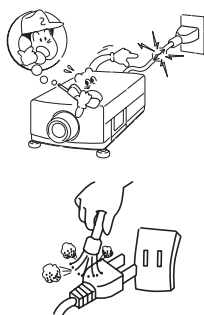
水ぬれ禁止

本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

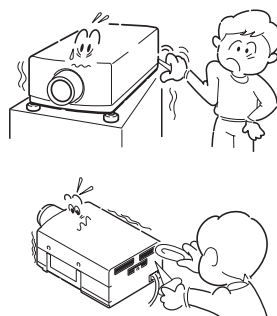
禁　止

不安定な場所に置かないでください。

ぐらついた台の上や、傾いた所、高い棚の上など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

※「天吊り」設置をするときは、専用の金具が必要です。お買い上げの販売店にご相談下さい。

禁　止

電源コードの取扱に注意してください。

- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。
  コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- 電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
  コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。
- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ･ごみ･汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。（結露するところや水槽の近くには特にご注意を）

禁　止

吸気口・排気口にご注意下さい。

- ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。
- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。
  事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。

感電の原因となります。

⚠ 警告

禁　止

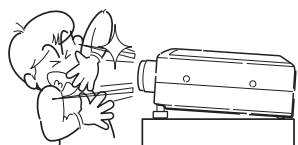
本機・リモコンを改造しないでください。

火災・感電の原因となります。

アース線を接続せよ

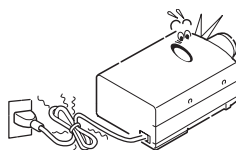
アース線を接地してください。

本機は接地端子の付いた 3 ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を接地してください。（詳しくは、23 ページをご覧ください。）

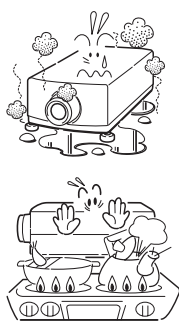
警　告

使用中はレンズをのぞかないでください。

強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。吸気口や排気口ものぞかないでください。

⚠ 注意

禁　止

電源コードの取扱いにご注意下さい。

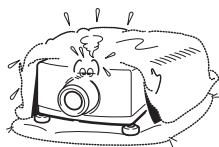
- 電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。

禁　止

以下のような場所には置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。

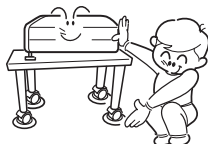
⚠ 注 意

禁　止

ご使用のときは、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。

内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 設置のときは、ファンの排気口を壁から 1 メートル以上あけてください。
- 空調設備の排気ダクト付近などに設置しないでください。
- 次のような使い方はしないでください。
  - * 横倒しなど、指定以外の方向への設置。
  - * 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
  - * じゅうたんや布団の上に置く。
  - * テーブルクロスなどを掛ける。
- また、壁など、周囲のものから じゅうぶんにはなし、風通しをよくしてください。（上方・側面・後面・排気口 各 1m 以上）

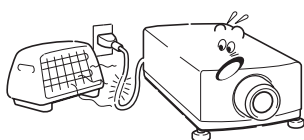
注　意

キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。

動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁　止

本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。

特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

禁　止

電源コードを熱器具に近づけないでください。

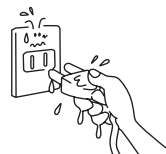
コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

また、差し込むときは、根本まで確実に差し込んでください。 差し込みが不完全だと感電や発熱による火災の原因となります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。

電源プラグを
コンセントから抜け

移動させる場合は、電源コードにご注意下さい。

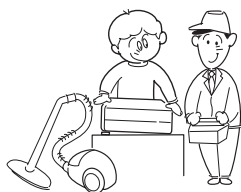
電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、移動してください。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になることがあります。また、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注 意

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

感電の原因となることがあります。

長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。

長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。

掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。プロジェクターを輸送するときは必ずレンズを取り外してください。レンズを取り外したあとのプロジェクターのレンズ取付け穴部へカバープレートを取り付け専用のケースに納めて運んでください。車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。レンズを取り付けたままで輸送すると、レンズ本体の重みでプロジェクターを破損する原因となります。レンズの取り付け、取り外しは、安全のため専門の販売技術員、または、サービス技術員にご相談ください。

● 電波障害自主規制について ●

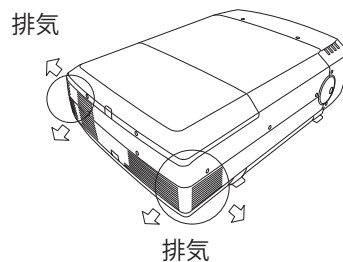
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

設置するときは次のことに注意してください

● 排気口の温風にご注意ください ●

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。
・スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
・金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
・観葉植物やペットを置かないでください。
・熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
・排気口付近には視聴席を設けないでください。

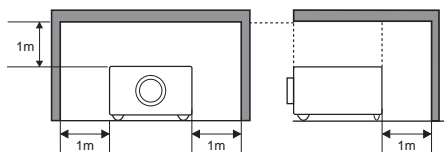
注　意

熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。特に小さいお子さまにはご注意ください。

● こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

使用温度範囲	5℃～ 35℃	保管温度範囲	− 10℃～ 60℃

● 壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください ●

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因や、プロジェクターの寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込んだりしないで、風通しのよい場所に設置してください。
(上方・側面・後面・排気口 各 1m 以上)

● 結露にご注意 ●

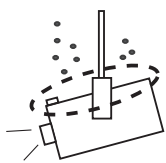
低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

エアフィルターを定期的に掃除してください

吸気口のエアフィルターは、プロジェクター内部の光学部品（レンズやミラー）をホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまるとプロジェクターを冷却する空気の流れが悪くなり、内部の温度が上がり故障の原因となります。長期間プロジェクターの安全と性能を維持するためには、エアフィルターを定期的に掃除することが必要です。掃除の目安はプロジェクターをご使用になる環境によって異なります。通常の生活環境でプロジェクターをご使用になる場合は、約 200 時間のご使用のたびにエアフィルターの掃除をされることをおすすめします。ホコリや煙が多い場所でプロジェクターをご使用になる場合、その状況によってこまめに掃除を行なってください。エアフィルターの掃除の手順は 66 ページをご覧ください。

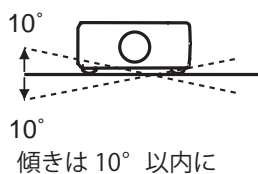
 エアフィルターお掃除時期をお知らせする表示について

本機には、エアフィルターの掃除時期をお知らせする「フィルター掃除推奨」告知機能があります。
掃除周期を設定しその時間に達すると右記のフィルター掃除推奨アイコンが画面上に表示されます。
詳細については、61 ページをご覧ください。

天井から吊り下げてご使用になるときに

天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルターの掃除を定期的に行なってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで取りのぞいてください。

使用禁止方向

以下の方向では使用しないでください。

傾きは 10° 以内に

プロジェクターを左右方向の傾きは各 10 度以内としてください。

横置き禁止

プロジェクターを横に立てて使用しないでください。

上向き禁止

プロジェクターを上向きに設置して使用しないでください。

下向き禁止

プロジェクターを下向きに設置して使用しないでください。

⚠ ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（[LAMP REPLACE] インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- 万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

⚠ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行ってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。お客様相談センターへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

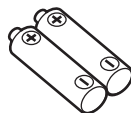
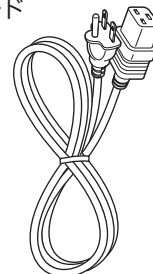
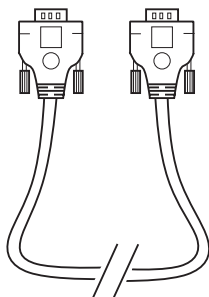
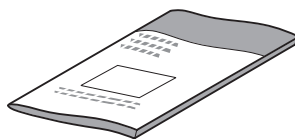
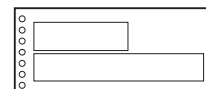
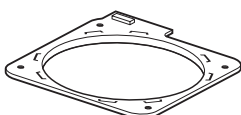
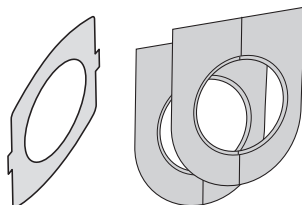
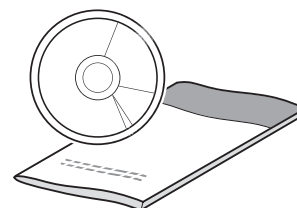
⚠ 使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

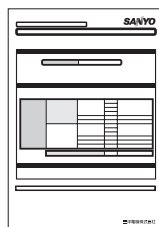
付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

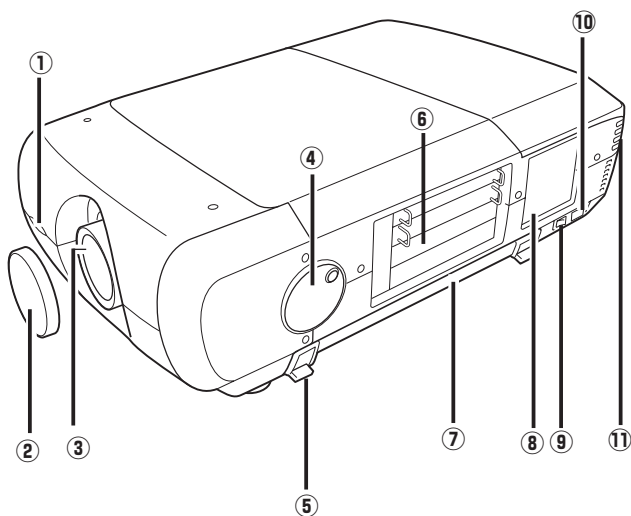
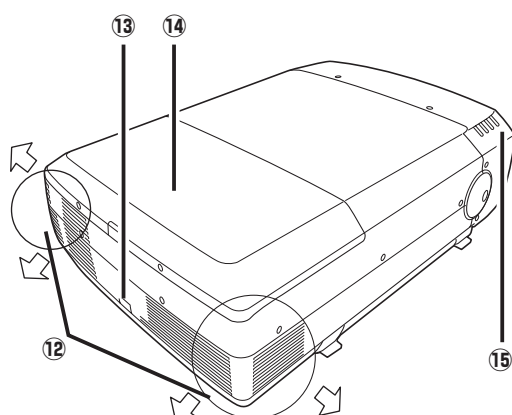
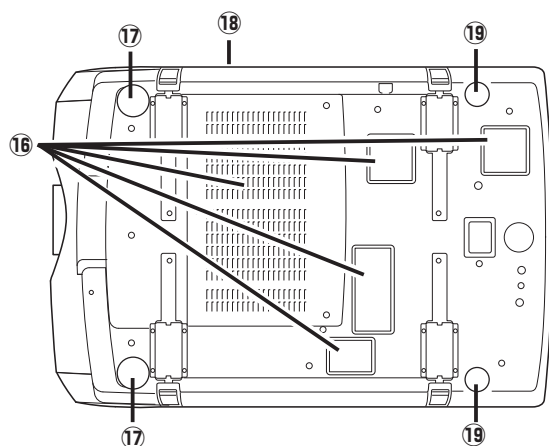
1 リモコン

2 リモコン用アルカリ乾電池（単3形2本）

3 電源コード

4 コンピュータ接続ケーブル（D-sub用）

5 取扱説明書 (本書)

6 保証書

7 レンズ取付金具 1個

8 遮光プレート（3種）

9 Real Color Manager Pro

10 PIN code lock シール

*

11 お客さまご相談窓口一覧

* 暗証番号を登録し、プロジェクターをロックしたとき、プロジェクター本体の目立ちやすい箇所に貼り付け、プロジェクターがロックされていることを表示するのにご使用ください。80ページ

本体各部の名称

側面 -1

側面 -2

底面

⚠ ご使用中、天面は熱くなります。上に物を置いたりしないでください。変形や火災の原因となります。

① リモコン受信部 (前)
② レンズキャップ　※1
③ レンズ（別売）
④ 傾き調整ハンドル
⑤ ロックレバー
⑥ 側面端子
⑦ キャリングハンドル
⑧ 操作パネル
⑨ 主電源スイッチ (MAINS SW)
⑩ 電源コード接続ソケット
⑪ インジケータ（後）
⑫ 排気口　※2
⑬ リモコン受信部（後）
⑭ ランプカバー
⑮ インジケータ（前）
⑯ 吸気口　※3
⑰ 傾き調整脚
⑱ エアーフィルター
⑲ 後部調整脚

※1

別売レンズにはレンズキャップが付いています。はずすときは、レンズキャップの両端をもって手前にひいてください。ランプ点灯中はレンズキャップをかならずはずしてください。レンズキャップをつけたまま点灯すると、レンズキャップの変形および火災の原因となります。 ご使用後はレンズをホコリや傷から守るためにレンズキャップをはめてください。

※2

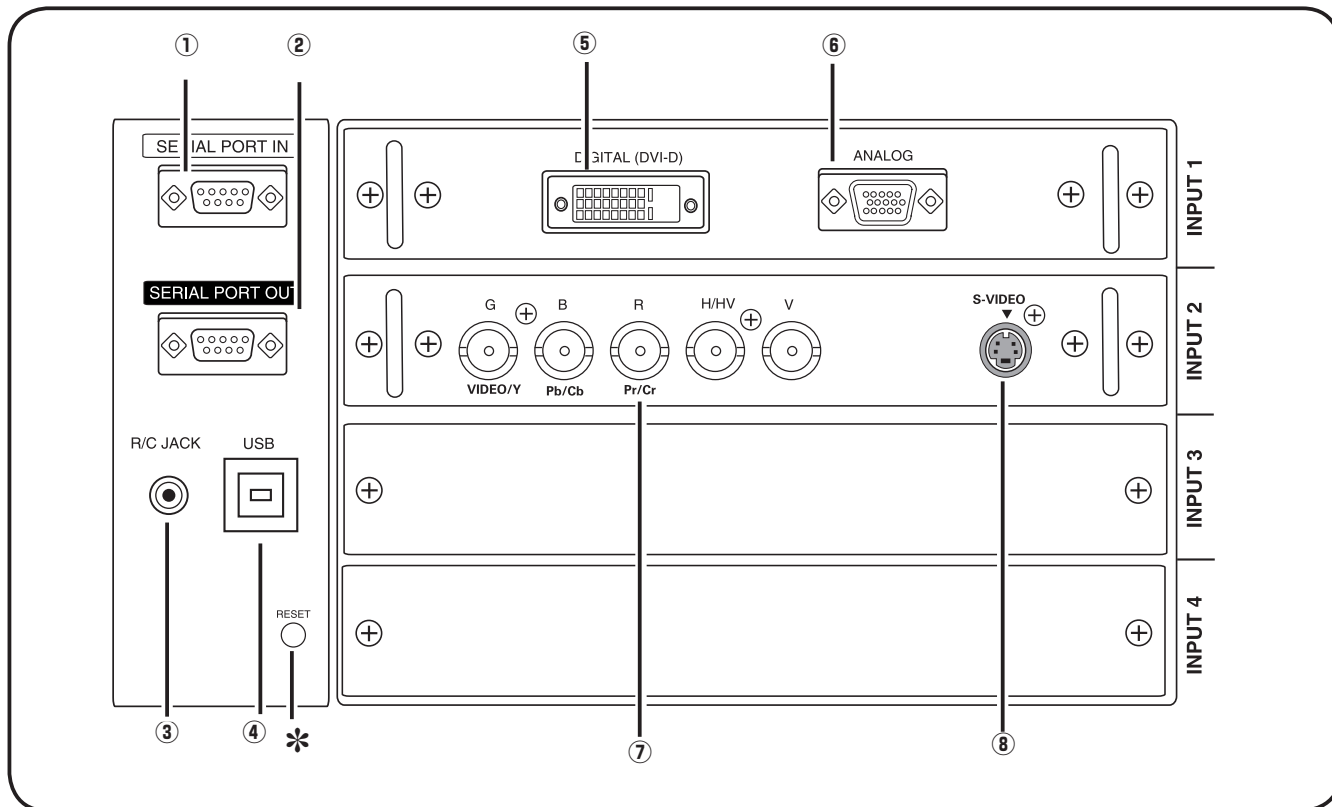
スプレーなど、引火性のもの、燃えやすいもの、熱で変形しやすいものを近くに置かないでください。火事の原因となります。

※3

内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

機器をつなぐ端子

側面端子

接続端子の入れ替え可能なカードスロット式接続端子
（INPUT 1 〜 INPUT 4 ／交換のしかたは、63 ページ参照）

① SERIAL PORT IN（シリアルポート入力端子）
79 ページ
プロジェクターの操作をコンピュータで行なうときに使用します。この端子とコンピュータのシリアルポートをつなぎます。

② SERIAL PORT OUT（シリアルポート出力端子）
79 ページ
シリアルポート入力端子に入力されている信号をそのまま出力します。1 台のコンピュータで 2 台以上のプロジェクターの操作をするとき、この端子と 2 台目以降のプロジェクターの［SERIAL PORT IN］端子をつなぎます。

③ R/C JACK（ワイヤードリモコン用端子）
18 ページ
この端子とリモコンのワイヤードリモコン端子を別売のリモコン接続ケーブルでつなぐと、ワイヤードリモコンとなり、リモコンの向きに関係なくプロジェクターの操作ができます。

④ USB（USB 端子 : シリーズ B） 79 ページ
サービス・メンテナンスで使用する端子です。

✻ リセットボタン

本機の制御は内蔵のマイクロコンピュータによって行なわれていますが、まれにマイクロコンピュータの誤動作により、本機が正しく操作できないことがあります。そのような場合、リセットボタンを先の細い棒等で押して本機の再起動を行なってください。それ以外の場合は、リセットボタンを押さないでください。

⑤ DIGITAL（DVI-D 入力端子） 21、22、79 ページ
DVI 規格対応の端子を持つコンピュータからの信号（デジタル）を接続する端子です。接続には別売のコンピュータケーブル（DVI 用）を使います。

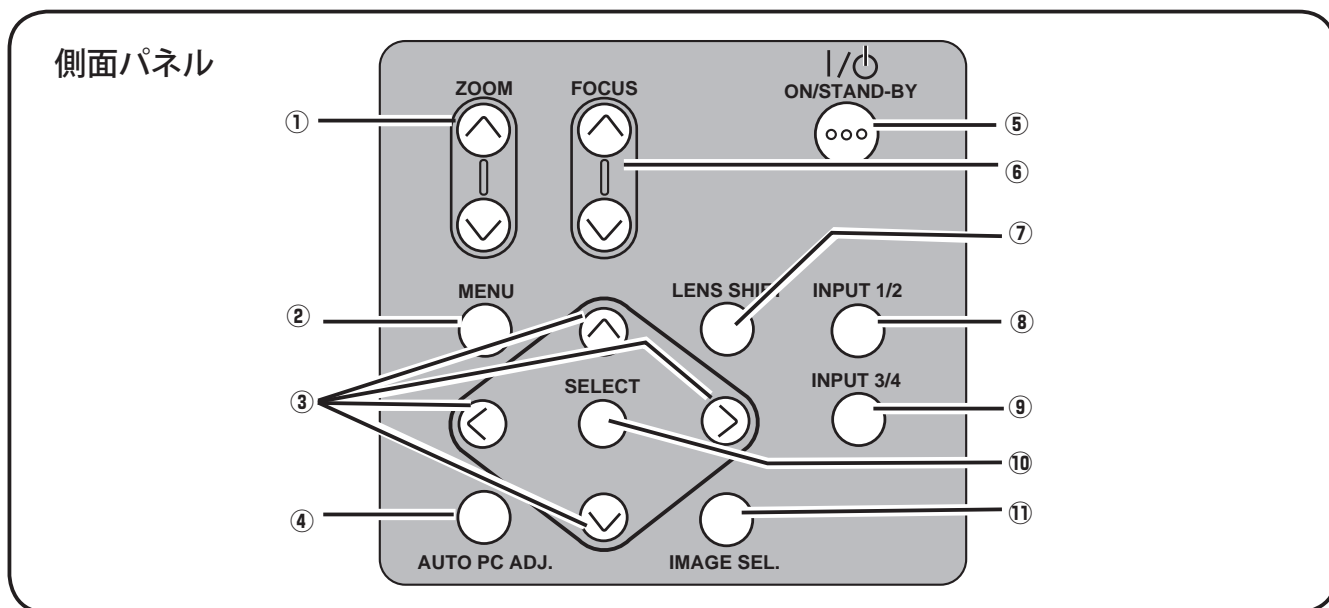
⑥ ANALOG（RGB アナログ入力端子）
21、22、79 ページ
コンピュータからのアナログ（RGB）出力と接続します。接続には付属のコンピュータ接続ケーブル（D-sub 用）を使用します。

⑦ G/VIDEO/Y, B/Pb/Cb, R/Pr/Cr, H/HV,V
（ビデオ入力端子およびコンピュータアナログ入力端子）
21、22 ページ
DVD プレーヤや HDTV などからのコンポーネント映像出力〔Y, Pb, Pr〕、または、コンピュータからのアナログ（RGB）出力と接続します。

⑧ S-VIDEO（S 映像入力端子）
22 ページ
ビデオ機器からの S 映像出力をこの端子に接続します。

操作パネルのボタンとインジケータ

側面パネル

ZOOM　FOCUS　ON/STAND-BY　MENU　LENS SHIFT　INPUT 1/2　SELECT　INPUT 3/4　AUTO PC ADJ.　IMAGE SEL.

① ZOOM ボタン　30 ページ
ズームを調整します。

② MENU ボタン　34 ページ
メニューバーを出します。

③ ポイント ボタン　34 ページ
オンスクリーンメニューのポインタの移動に使用します。

④ AUTO PC ADJ. ボタン　40 ページ
トラッキング・総ドット数・ポジション H・ポジション V を自動調整します。

⑤ ON / STAND-BY ボタン　25、27 ページ
電源を入り・切りします。

⑥ FOCUS ボタン　30 ページ
フォーカスを調整します。

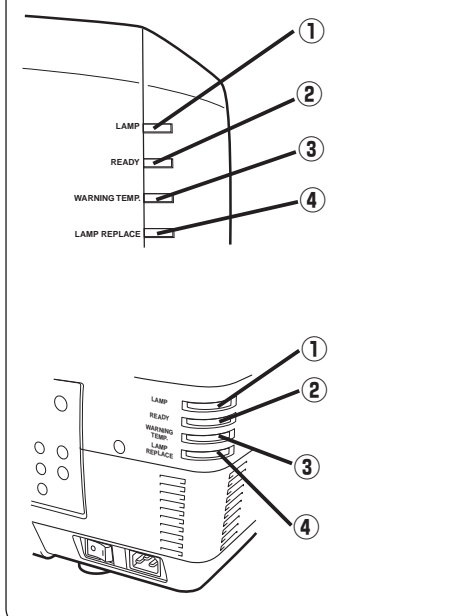
⑦ LENS SHIFT ボタン　30 ページ
レンズを上下左右にスライドさせて、画面の位置を上下左右に移動させます。

⑧ INPUT 1/2 ボタン　30、36 ページ
インプット（入力）を切り換えます。（1 または 2）

⑨ INPUT ボタン 3/4　30、36 ページ
インプット（入力）を切り換えます。（3 または 4）

⑩ SELECT ボタン　34、48 ページ
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

⑪ IMAGE SEL. ボタン　43 ページ
イメージモードを選択します。

インジケータ（側面・後面）

① LAMP インジケータ　25、27、68、69 ページ
主電源が入っているときに赤く点灯します。

② READY インジケータ　25、27、67、68、69 ページ
電源を入れる準備ができたとき、またプロジェクターが動作中に緑色に点灯します。

③ WARNING TEMP インジケータ　67、68、69 ページ
赤く点滅して、内部の温度が異常に高くなっていることを知らせます。また、プロジェクターの内部の異常を検知したとき赤く点灯します。

④ LAMP REPLACE インジケータ　29、68、69 ページ
ランプの交換時期を知らせます。

リモコンのボタン

① ON STAND-BY（オン スタンバイ）ボタン 25、27 ページ
電源を入り・切りします。

② AUTO PC（オートピーシー）ボタン 40 ページ
トラッキング・総ドット数・ポジションH・ポジションVを自動調整します。

③ LIGHT（ライト）ボタン
1 回押すと、操作ボタンが約 10 秒間点灯します。

④ MENU（メニュー）ボタン 34 ページ
メニューバーを出します。

⑤ ポイントボタン 34 ページ
オンスクリーンメニューのポインタの移動やメニューの調整に使用します。

⑥ LENS SHIFT（レンズ シフト）ボタン 30 ページ
レンズを上下左右にスライドさせて、画面の位置を上下左右に移動させます。

⑦ ZOOM（ズーム）ボタン 30 ページ
ズームを調整します。

⑧ FREEZE（フリーズ）ボタン 33 ページ
画面を一時的に静止させます。

⑨ P-TIMER（ピータイマー）ボタン 33 ページ
プレゼンテーション (ボタンを押してからの) 経過時間を表示させます。

⑩ SCREEN（スクリーン）ボタン 31 ページ
画面サイズを選択します。

⑪ NO SHOW（ノー ショー）ボタン 33 ページ
画面を一時的に消します。

⑫ SELECT（セレクト）ボタン 34、48 ページ
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

⑬ IMAGE（イメージ） (IMAGE ADJ.) ボタン 44 ～ 46 ページ
イメージメニューを呼び出し、調整をします。

⑭ INPUT（インプット）ボタン 30、36 ページ
インプット（入力）を切り換えます。（インプット 1 ～ 4）

⑮ FOCUS（フォーカス）ボタン 30 ページ
フォーカスを調整します。

⑯ D.ZOOM（デジタルズーム）ボタン 31 ページ
デジタルズームの操作をします。

⑰ KEYSTONE（キーストーン）ボタン 31 ページ
画面の台形ひずみ (あおり) を補正します。

⑱ INFO.（インフォ）ボタン 32 ページ
投映中の信号状況やセッティングの状況を表示します。

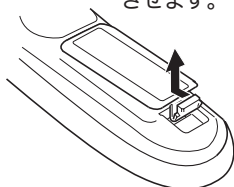
⑲ I.SEL（イメージセレクト） (IMAGE SEL.) ボタン 43 ページ
イメージモードを選択します。

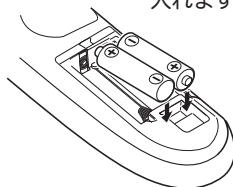
⑳ ワイヤードリモコン端子
ワイヤードリモコンとして使用するときは、別売のリモコン接続ケーブルでこの端子とプロジェクターのリモコン端子（R/C JACK）を接続します。
※リモコンに電池は必要です。

リモコンの準備

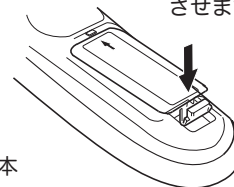
電池の入れかた

1 電池カバーを開けます。

押しながら
下にスライド
させます。

2 電池を入れます。

付属の乾電池を＋（プラス）、
－（マイナス）に注意して
入れます。

使用乾電池
単３形アルカリ乾電池２本

3 電池カバーを閉めます。

上にスライド
させます。

電池を使用するときのご注意

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんご注意ください。
・種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
・乾電池は充電しない。分解しない。
・＋極と－極の向きを正しく入れる。＋極と－極をショートさせない。
・可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
・電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。
また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。
・長い間使わないときは乾電池をとりだす。
・液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。
・液が体についたときは、すみやかに洗い流す。

注　意　　禁　止

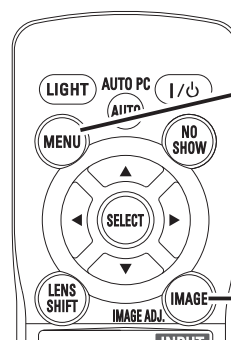
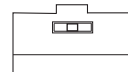
リモコンコードの設定

本機は８種類のリモコンコード（「コード１」～「コード８」）の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。リモコンコードを他のコード（「コード２」～「コード８」）に変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り替える必要があります。
プロジェクターのリモコンコードを切り替えるにはセッティングメニュー内で行ないます。 55 ページ

1 ［MENU］ボタンを押します。

2 ［MENU］ボタンを押したまま、［IMAGE ADJ.］ボタンを押します。 ［IMAGE ADJ.］ボタンを押す回数でコードが決まります。

※ ［MENU］ボタンを押すのをやめたとき、コードが切り換わります。

リモコンコード	［IMAGE ADJ.］ボタンを押す回数
コード1	1
コード2	2
コード3	3
コード4	4
コード5	5
コード6	6
コード7	7
コード8	8

リモコン本体のスイッチ

※ 設定したリモコンコードを初期化したいときはリモコンの電池カバーを開けると中に切り換えスイッチがあります。 そのスイッチを右側にスライドさせると、設定が初期化されます。その後再度左側に戻します。スイッチが左側［ON］になっていないと、リモコンは使用できません。

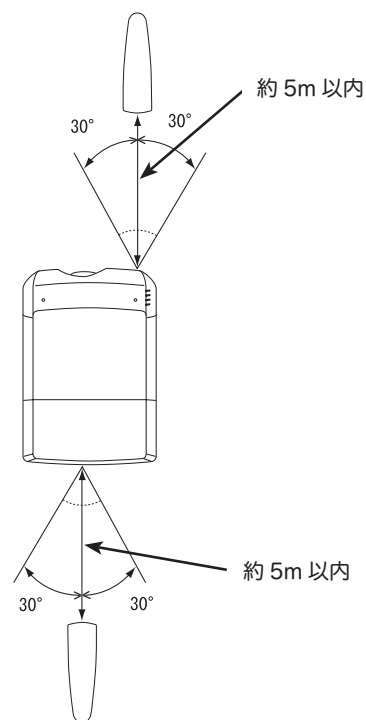
※工場出荷時は「コード 1」に設定されています。

リモコンで操作できる範囲

ワイヤレスリモコンとして使用する場合、リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面と後面のリモコン受信部から約 5m 以内、上下左右 30 度以内です。
※間に障害物があると操作の妨げになります。

上下左右各 30° 以内の操作範囲

リモコンを使用するときのご注意

- 本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当らないようにする。
- 液状のものをかけない。
- 落としたり衝撃を与えない。
- 熱や湿気をさける。

ワイヤードリモコンで操作

別売のリモコン接続ケーブルで、側面端子の [R/C JACK] 端子と、リモコンのワイヤードリモコン端子を接続します。

※ リモコンに電池は必要です。
※ リモコンをワイヤレスでご使用になるときは、リモコン接続ケーブルをプロジェクターおよびリモコンからはずしてください。リモコン接続ケーブルがプロジェクターまたはリモコンの一方または両方に接続されていると、リモコンはワイヤレスとして動作しません。

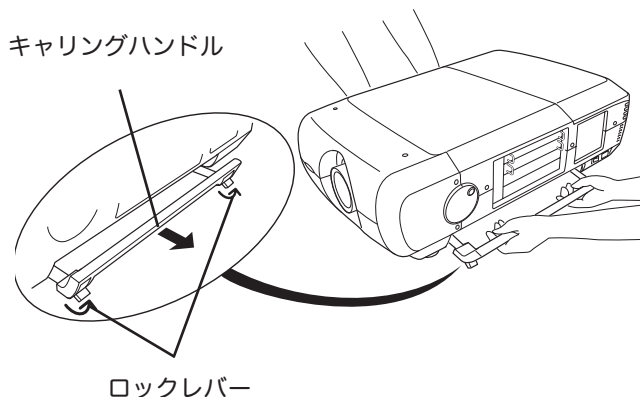
設置・接続

設置のしかた

プロジェクターの持ち運びかた

1 キャリングハンドルの両端のロックレバーを引き上げるとロックが外れ、キャリングハンドルが少し出てきます。

2 両端のキャリングハンドルをカチッと音がするまでいっぱいに引き出し、二人で両側からキャリングハンドルを持って運びます。

※ キャリングハンドルを収納するときは、両端のロックレバーを引き上げてロックを外してから、収納します。

持ち運ぶときのご注意

安全のためプロジェクターの運搬や移動の際は、必ず二人で両側からキャリングハンドルを持って行なってください。落としたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

レンズを取り付ける

プロジェクターを据え付ける前に、プロジェクター本体にレンズを取り付けます。
はじめにプロジェクターを使用する環境に合ったレンズを決めます。本機に適合するレンズ品番およびレンズの仕様は、取扱販売店にご相談ください。
レンズの取り付け及び交換は、安全のため専門の販売技術員、または、サービス技術員にご相談ください。 お客様自身での取り付け交換はしないでください。

注　意

注　意

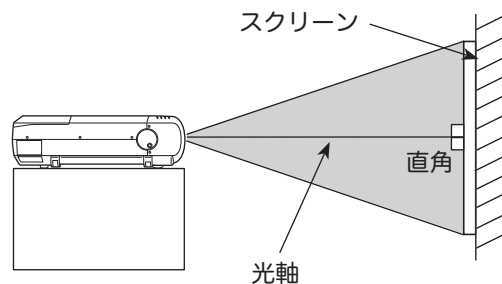
レンズ取り付け後、プロジェクターを設置するとき、レンズには必ずレンズ保護キャップをしてください。また、プロジェクター本体を運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部は絶対に持たないでください。プロジェクターを破損する原因になります。

テストパターンを投映する

プロジェクターを設置するとき、外部の信号源を使わず内蔵のテストパターンを投映することができます。
「セッティング」メニューで「テストパターン」の中から選択して投映します。62 ページ

スクリーンに対して直角に設置する

投映したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。

※ スクリーンに対して過度に斜めに投映すると、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。

お使いになる部屋の明るさについて

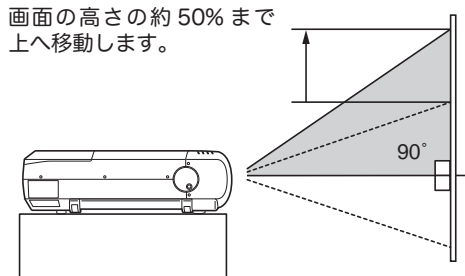
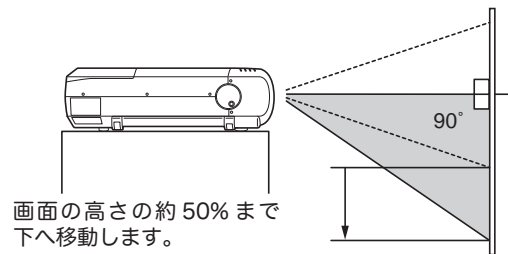
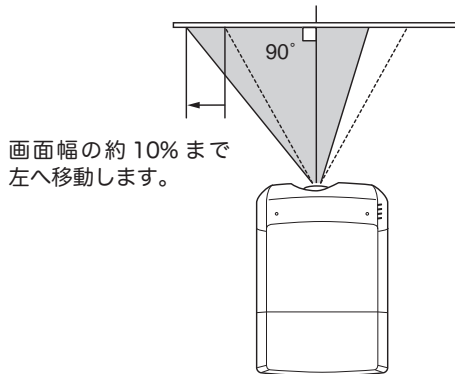
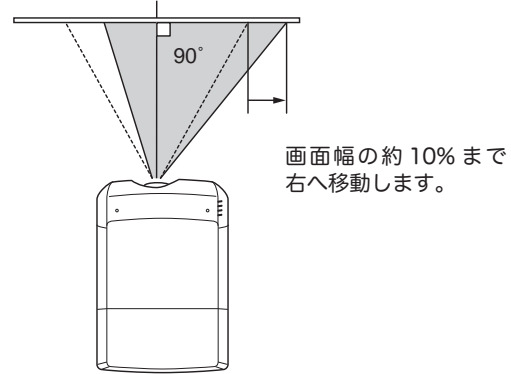
スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落としてください。

ご注意・著作権について

この液晶プロジェクターを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切り替え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

レンズシフト機能で画面の位置を合わせる（例）

本機にはレンズシフト機能が付いており、ボタン操作でレンズを上下左右にスライドさせ、画面位置を上下左右に移動させることができます。操作のしかたについては、30 ページをごらんください。

※ 下図は別売レンズ LNS-S03 を装着したときの例です。

上側へ最大レンズシフトさせたとき

下側へ最大レンズシフトさせたとき

左側へ最大レンズシフトさせたとき

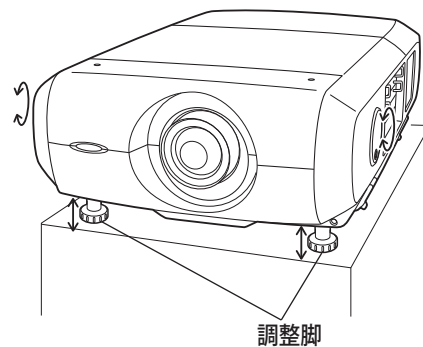
右側へ最大レンズシフトさせたとき

傾き調整ハンドルで画面の傾きを調整する

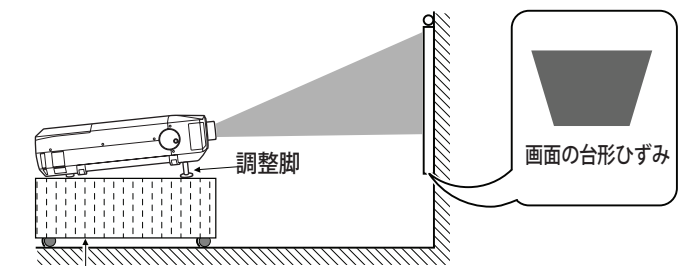
1 傾き調整ハンドルのツマミ部を押してツマミを出します。

2 ツマミを持ってハンドルを回し、本体前方の調整脚を伸縮させて投映画面の左右の傾きを調整することができます。本体前方の調整脚（2 つ）を伸ばすと最大約 5.7 度まで上ります。

3 本体後方の調整脚を回して本体左右のガタツキをなくします。

※ 画面の上下左右の位置は、主にレンズシフト機能で調整します。
☞30 ページ

● 画面の台形ひずみ (あおり) ●

調整脚を上げすぎると、投映角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さなどを調整してください。

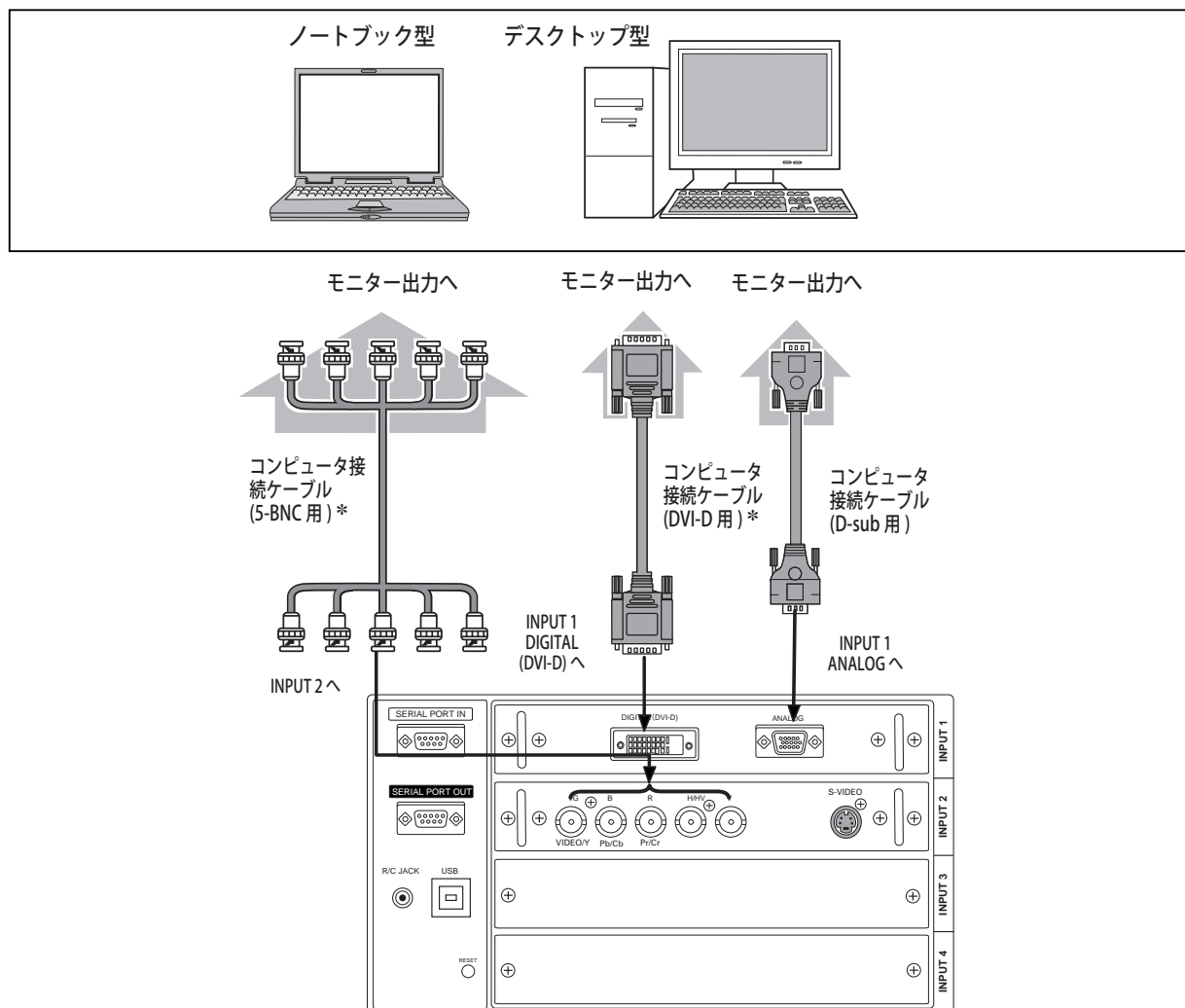
※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。 ☞31 ページ

※ 画面のひずみが大きいときは、設置台を高くして調整してください。

接続の例～コンピュータ

設置・接続

接続に使用するケーブル（* = 別売もしくは市販のケーブルをお使いください。）
- コンピュータ接続ケーブル
  （D-sub 用、DVI-D 用 *、 BNC x 5 *）
- USB ケーブル

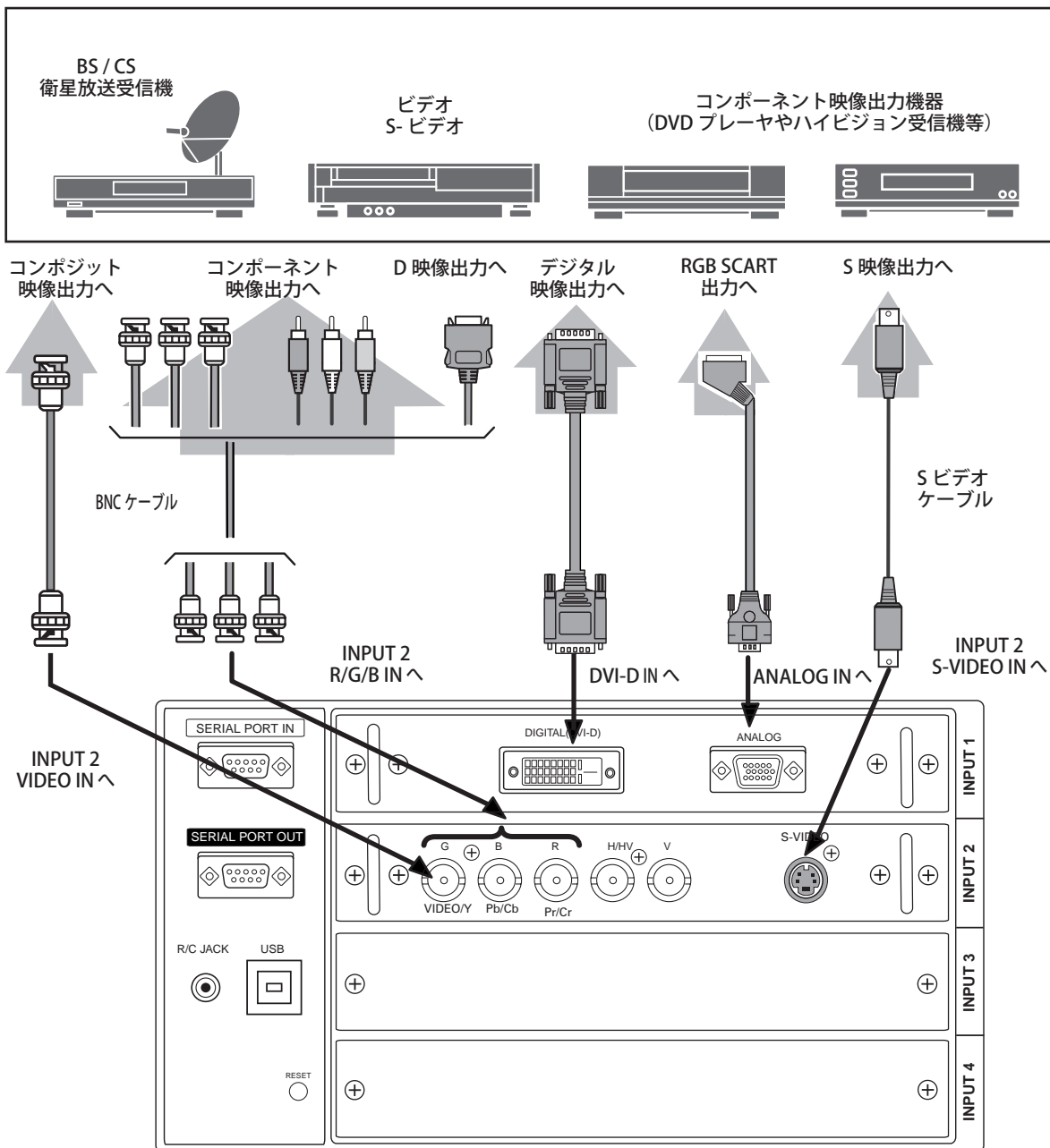
コンピュータの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行なってください。設定方法はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

※ ノートブック型は、キーボードの［Fn］キーを押しながら、ファンクションキーを押す、などの操作が必要な場合があります。

接続するときのご注意：
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

接続の例～ビデオ機器

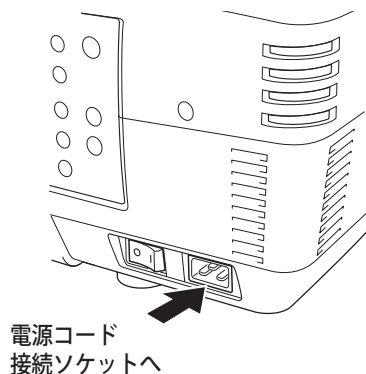
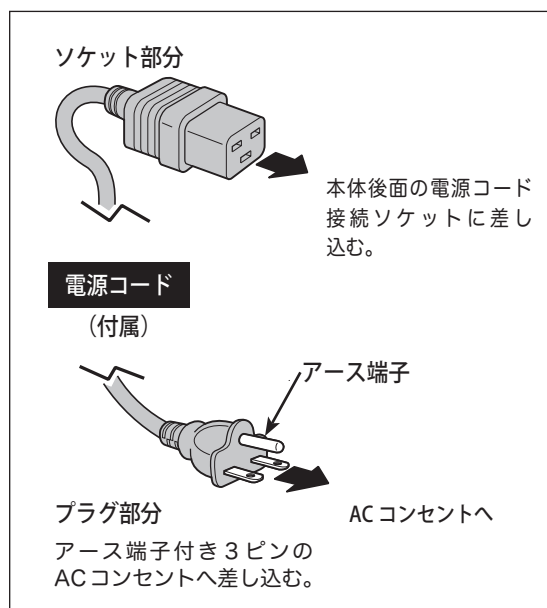
接続に使用するケーブル

＊ 本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。

• ビデオ ケーブル（BNC）
• S ビデオ ケーブル（ミニ DIN 4 ピン）
• ビデオケーブル（BNC）

接続するときのご注意 :
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、14、21、22 ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

1 電源コードのソケット部分を本体後面の電源コード接続ソケットに差し込みます。

2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3 ピンの AC コンセントに差し込みます。

※図の形状は実際のものとは異なります。

注　意

電源コード取扱上の注意

電源コードはかならず本機に付属のものをご使用ください。他の機器に使われているものを絶対にご使用にならないでください。事故や火災の原因となります。また、本機に付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

ご使用にならないときは電源コードを抜いてください

本機は、操作パネルやリモコンの［ON STAND-BY］ボタンで電源を切っても約 25W の電力が消費されてい　ます。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは主電源を切るか、電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

アース端子を接地してください

機器を安全にご使用いただくために、電源プラグのアース端子は確実に接地してください。アースはコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因になることがあります。

プロジェクターの基本操作

プロジェクターは、本体の操作ボタンまたはリモコンで操作できます。また、リモコンは、ワイヤレス、ワイヤード式でも操作することができます。

基本操作とこれらの操作ボタン

ここで示されている以外の詳しい操作項目は、それぞれのメニュー操作の中の説明をご参照ください。

操作項目	操作ボタン名	本体操作ボタン	リモコン	参照ページ
電源入り・切り	ON/STAND-BY	○	○	25、27
入力切換	INPUT 1/2、INPUT 3/4 INPUT 1/2/3/4	○ INPUT1/2、INPUT3/4	○ INPUT1/2/3/4	30、36
ズーム	ZOOM▲▼	○	○	30
フォーカス	FOCUS▲▼	○	○	30
レンズシフト	LENS SHIFT	○	○	30
スクリーン	SCREEN	-	○	31
イメージ調整	IMAGE ADJ.	-	○	44～46
イメージ選択	IMAGE SEL.	○	○	43
キーストーン	KEYSTONE	-	○	31
デジタルズーム	D.ZOOM	-	○	31
自動 PC 調整	AUTO PC	○	○	32、40
フリーズ	FREEZE	-	○	33
ブランク	NO SHOW	-	○	33
P- タイマー	P-TIMER	-	○	33
インフォメーション	INFO.	-	○	32
メニュー	MENU	○	○	34
セレクト	SELECT	○	○	34
ポイント上下左右	POINT▲▼◀▶	○	○	34

電源を入れる

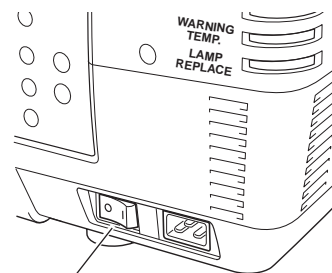
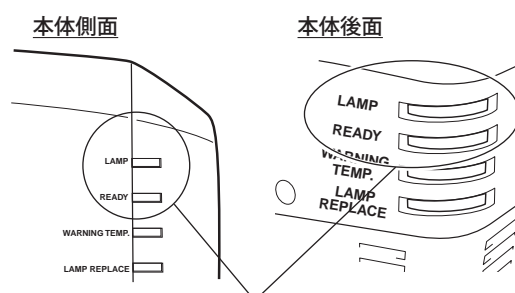
電源コードをつなぐ前に、14、21、22 ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

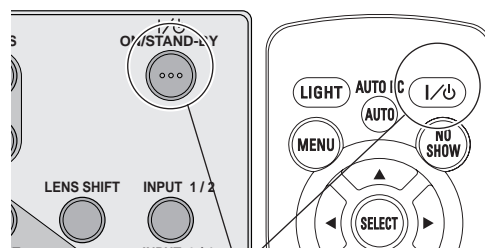
1 電源コードを AC コンセントに接続します。☞23 ページ
側面の主電源スイッチ (MAINS SW) を「ON」(入) にします。赤色の［LAMP］インジケータと緑色の［READY］インジケータが点灯します。

2 リモコンまたは操作パネルの［ON/STAND-BY］ボタンを押して電源を入れます。
［LAMP］インジケータが少し暗めの赤点灯にかわります。
約 20 秒間のオープニング画面とそのカウントダウンが終わると「ランプステータス」（☞28 ページ）と「インプットモード」が約 5 秒間表示され、画像の投映が始まります。

このとき､「セッティング」メニューの「セキュリティ」内の、「暗証番号ロック」（☞57 ページ）を「オン」にしているときは、暗証番号を入力します。
※ 暗証番号の入力方法は次ページを参照ください。

＊ セッティングメニューで「オンスタート・オン」に設定しているときは、電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。
(側面の主電源スイッチ (MAINS SW) が「ON」(入) になっていること。)

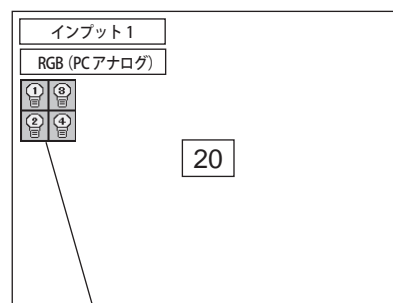
★ セッティングメニューで、
- ･「オンスクリーン表示・オン」（☞52 ページ)､「ロゴ選択・オフ」（☞53 ページ）に設定しているときは、カウントダウンは表示されますがオープニング画面は出ません。
- ･「オンスクリーン表示・オフ」（☞52 ページ）に設定しているときは､「ロゴ選択」（☞53 ページ）の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投映されます。
- ･「オンスクリーン表示･カウントダウンオフ」（☞52 ページ）に設定しているときは、「ロゴ選択」（☞53 ページ）の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投映されます。

主電源スイッチ
(MAINS SW)

LAMP インジケータ・ READY インジケータ

操作パネル　　リモコン

ON/STAND-BY ボタン

フィルターおよびランプに関するお知らせ表示

電源を入れたのち、プロジェクターの状態により、「フィルター掃除推奨」および「ランプ交換」のお知らせ表示が出ることがあります。
☞64、66 ページ
※ 表示は 10 秒間出ます。

フィルター掃除推奨

ランプ交換

ランプステータス表示

電源を切った後、約 90 秒間は電源が入りません

電源を切った後、約 90 秒間は、次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は［ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源は入りません。
90 秒経ち、［READY］インジケータ（緑）が点灯すれば電源を入れることができます。

ご使用にならないときは主電源スイッチを切ってください

操作パネルやリモコンの［ON/STAND-BY］ボタンで電源を切っても、約 25W の電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは主電源スイッチ (MAINS SW) を「OFF」(切) にしてください。

暗証番号の入力

3 「暗証番号ロック」が「オン」のとき、前ページ「手順 *2*」でカウントダウン ★ が終わったあと、暗証番号を入力する画面が現れます。

4 ［ポイント］ボタンの上下で 0 ～ 9 の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを 2 けた目に移動します。（1 けた目の表示が「＊」に変わります。）この操作を繰り返し、4 けた全ての数字を入力します。

5 4 けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

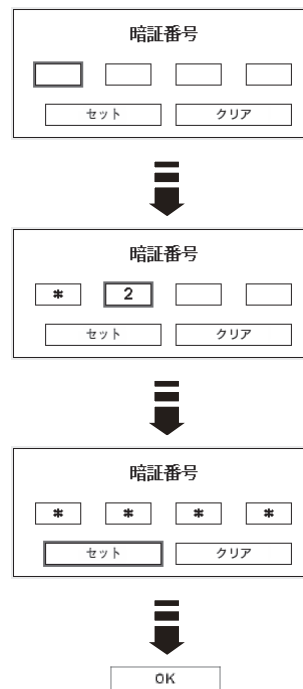
6 [SELECT] ボタンを押して決定します。

※ 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、数字ボタンまたは [ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。
※ 4 けた全ての数字を消したいときは、「クリア」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。

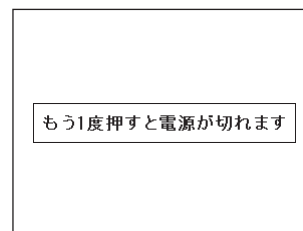
7 正しく入力されていると、「OK」が画面に表示され、プロジェクターを操作できます。

- 正しい暗証番号が入力されないと、約 3 分後に電源が切れます。

「暗証番号ロック」とは？

管理者以外の暗証番号を知らない、第三者によるプロジェクターの操作を防止します。
詳しくは 57 ページの「セッティング」メニューの、「セキュリティ」内の「暗証番号ロック」を参照ください。

電源を切る

1 リモコンまたは操作パネルの［ON/STAND-BY］ボタンを押すと、画面に「もう１度押すと電源が切れます」の表示が出ます。

2 表示が出ている間に再度［ON/STAND-BY］ボタンを押すと画面と音が消え、電源が切れます。
電源が切れると緑色の［READY］インジケータが消え、赤色の［LAMP］インジケータが明るく点灯し、ランプの冷却を始めます。

※ 表示は約４秒間出ます。

電源を切った後、約 90 秒間は電源が入りません

電源を切った後、約 90 秒間は、次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は［ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源は入りません。約 90 秒経ち、緑色の［READY］インジケータが点灯すれば電源を入れることができます。

ランプを長持ちさせるために

ランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約５分以上点灯させてから電源を切ってください。電源を切るときは、［ON/STAND-BY］ボタンで操作してください。電源が入った状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

冷却ファンについて

投映している最中、温度によりファンの回転速度が自動的に切り替わりますが、故障ではありません。

パワーマネージメント機能とそのはたらき

本機にはパワーマネージメント機能が搭載されています。30 秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されずカウントダウンが完了すると、ランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。

※ 工場出荷時は「待機・5 分」に設定されています。 56 ページ

ランプ消灯までの時間

パワーマネージメントの動作について

設定が「待機」のとき

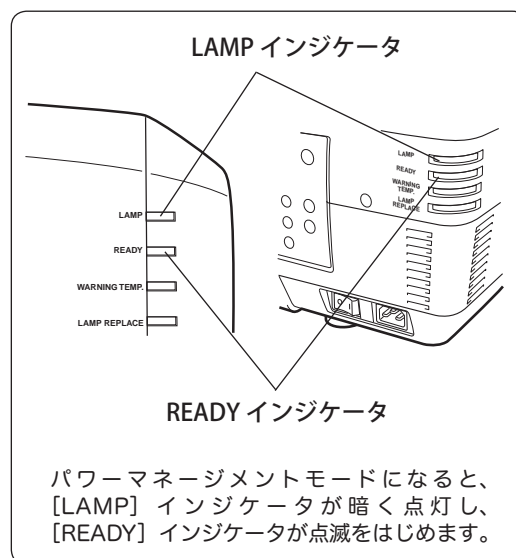
1）タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプ冷却動作にはいります。ランプ冷却中は［LAMP］インジケータが暗く点灯し、プロジェクターの操作はできません。
2）ランプの冷却が完了すると［LAMP］インジケータが暗く点灯し、［READY］インジケータが点滅を始めてパワーマネージメントモードになっていることを知らせます。この状態のときに、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投映されます。

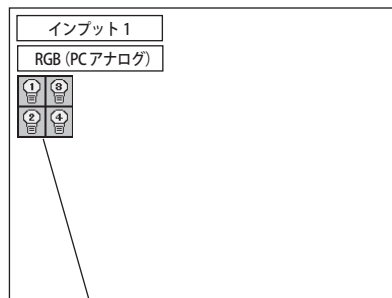
設定が「シャットダウン」のとき

1）タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプ冷却動作にはいります。ランプ冷却中は［LAMP］インジケータが暗く点灯し、プロジェクターの操作はできません。
2）ランプの冷却が完了すると 、電源が切れます。

プロジェクターを 24 時間以上連続して使用しないでください。連続して使用する場合 24 時間に一度電源を切り、1 時間休ませてください。
続けて使用すると、ランプの寿命を縮める原因となります。

インジケータ（側面・後面）

パワーマネージメントモードになると、［LAMP］インジケータが暗く点灯し、［READY］インジケータが点滅をはじめます。

ランプマネージメントについて

本機は４個のランプを搭載しています。ランプマネージメントはこれらのランプの点灯状況を監視し、ランプを最良の点灯状態になるよう自動的にコントロールし、ランプの点灯状態を画面の「ランプステータス」表示と、プロジェクター本体の［LAMP REPLACE］インジケータで表示します。☞15 ページ

ランプステータス表示

ランプステータス表示

電源を入れた後のオープニング画面（カウントダウン表示）が終わった後や、インプット（入力）を切り換えたときに、画面左上に４個のランプ表示が約５秒間出ます。このランプ表示は、ランプの点灯状況を示しています。表示の番号は内部に装着されている各ランプの番号を示しています。各ランプの状況で以下のように表示されます。

- ランプが全て黄色で表示されている

４個のランプが正常に点灯しています。

- ランプが暗く表示されている

暗く表示されている番号のランプが点灯していません。ランプモードが２灯点灯のときに点灯していないランプが暗く表示されます。☞55 ページ
(故障ではありません。)

- ランプに X マークが付き暗く表示されている

「X」マークのランプが寿命または故障などで点灯していません。一旦電源を切り、しばらくしてから電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても「X」マークが表示されるときは、ランプの交換が必要です。(交換のしかたは 64 ページ参照)
※［LAMP REPLACE］インジケータが点滅します。☞ 次ページ

- ランプのいずれかが赤く表示されている

工場で設定した目安のランプ交換推奨時間になっています。早めにランプ交換することをおすすめします。(交換のしかたは 64 ページ参照)
※［LAMP REPLACE］インジケータが点灯します。☞ 次ページ

LAMP REPLACE インジケータ

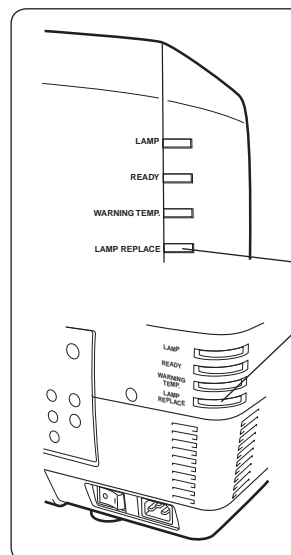
LAMP REPLACE インジケータが点灯している

このインジケータが点灯すると、4 個のランプの何れかにランプ寿命が近づいているものがあります。該当するランプは、画面のステータス表示でご確認ください。

LAMP REPLACE インジケータが点滅している

このインジケータが点滅しているときは、4 個のランプの何れかが寿命または故障により点灯していません。ステータス表示で該当ランプをご確認のうえ、ランプ交換を行なってください。

☞64 ページ

インジケータ（側面・後面）

自動ランプ点灯モード切り換え

プロジェクターが最良の点灯状態となるようにランプマネージメントはランプの点灯モードをランプの状態により自動的に切り換えます。

2 灯点灯モード

4 個のランプのうちの 1 灯のみが寿命または故障で不点灯になると、不点灯（ステータス表示で X マーク付き）のランプを含まない対角 2 個のランプによる 2 灯点灯に切り換わります。

1 灯点灯モード

4 個のランプのうちの対角でない 2 灯が寿命または故障で不点灯になると、自動的に 1 灯のみの点灯に切り換わります。但し、不点灯（ステータス表示で×マーク付き）の 2 個のランプが対角の場合、残りの対角の 2 個のランプによる 2 灯点灯に切り換わります。

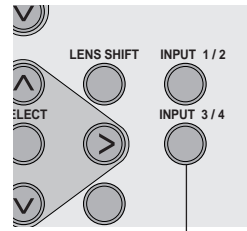
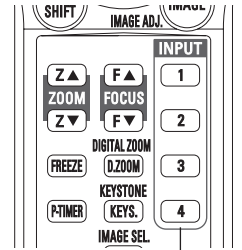
※ 4 個のランプが正常に点灯している場合でも、ランプ点灯モードを 4 灯点灯または 2 灯点灯へ手動で切り換えることができます。☞55 ページ
※ 4 個のランプが正常で 2 灯点灯させた場合、4 個のランプで積算点灯時間が短い方のランプを含む対角を自動検出し、その対角の 2 灯のランプを優先して点灯させます。
※ 4 個のランプの 3 灯が不点灯になると、消灯します。

入力信号の選択 [INPUT1/2]、[INPUT3/4]、[INPUT 1~ 4]

プロジェクター本体の操作パネルとリモコンのボタン操作は異なります。

● 操作パネルの [INPUT 1/2]、[INPUT 3/4] ボタン、またはリモコンの [INPUT 1 ～ 4] ボタンで投映するインプット 1 ～ 4 を選択します。
☞36 ～ 37 ページ

ご注意：

- 選択の前に、メニューの「インプット」で各入力の信号選択を行います。信号選択が正しく行われていないと入力選択を押しても信号は正しく投映されません。☞36 ～ 37 ページ
- カードスロットが差し込まれていないインプットは選択できません。☞36 ～ 37 ページ

操作パネル

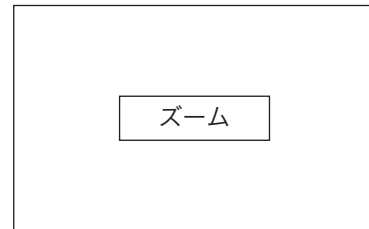
リモコン

[INPUT 1 ~ 4] ボタン

投映画面を調整する [ZOOM]、[FOCUS]、[LENS SHIFT]

画面の大きさを決める

リモコンおよび操作パネルで操作するとき

［ZOOM］ボタン上・・・画面が大きくなります。
［ZOOM］ボタン下・・・画面が小さくなります。

※表示は約 4 秒間出ます。

フォーカスを合わせる

リモコンおよび操作パネルで操作するとき

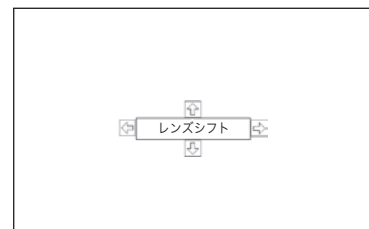
［FOCUS］ボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

※表示は約 4 秒間出ます。

レンズシフト機能で画面の位置を上下左右に動かす

リモコンおよび操作パネルで操作するとき

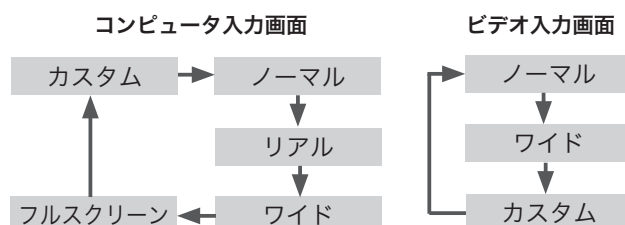
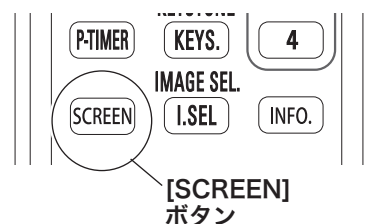
1 リモコンの［LENS SHIFT］ボタン、または操作パネルの [LENS] ボタンを押してレンズシフト調整モードに入ります。画面に「レンズシフト」表示が現れます。

2 表示が出ている間に［ポイント］ボタンの上下左右で、画面の位置を上下左右に動かします。

※表示は約 4 秒間出ます。

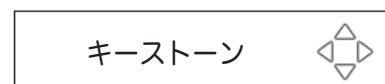
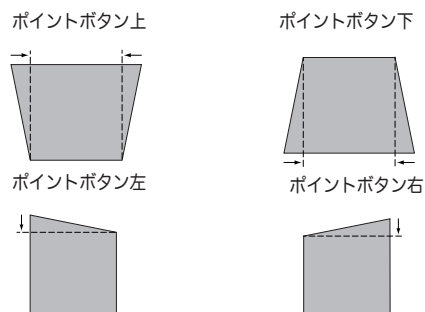
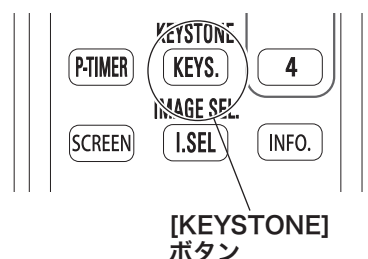
※ 移動中に上下方向の矢印が赤色に変わる位置があります。その位置がレンズの上下方向の標準位置です。
※ 移動中に左右方向の矢印が赤色に変わる位置があります。その位置がレンズの左右方向の標準位置です。
※ 最大のシフト位置で矢印の表示が消えます。
※ レンズシフト機能で調整した内容は、電源を切っても記憶されています。
※ 画面位置を動かしたときは、多少画面が暗くなることがあります。

画面サイズの選択 [SCREEN]

リモコンの [SCREEN] ボタンで、入力信号に合わせて画面のサイズを、「ノーマル」「リアル」「ワイド」「フルスクリーン」「カスタム」の中から選択することができます。47 ～ 50 ページ

※ 「リアル」「フルスクリーン」はビデオ入力画面では選択できません。

キーストーン調整（台形歪みの補正）[KEYSTONE]

リモコンの［KEYSTONE］ボタンを押します。「キーストーン」表示が現われます。表示が出ている間に［ポイント］ボタンの上下左右で画面の台形ひずみを補正します。50 ページ

[ポイント] ボタン上・・・画面上部の幅が縮みます。
[ポイント] ボタン下・・・画面下部の幅が縮みます。
[ポイント] ボタン左・・・画面左部の幅が縮みます。
[ポイント] ボタン右・・・画面右部の幅が縮みます。

※ 表示は約 10 秒間出ます。
※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。
※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。（無補正の場合の表示は白色です。）
※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

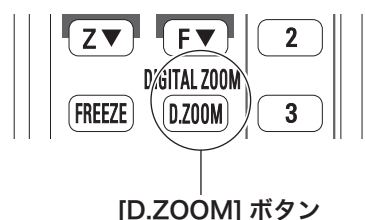
※「キーストーン」表示が現れているあいだに、もう一度［KEYSTONE］ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。

デジタルズーム＋ / – [D.ZOOM]

画面の拡大、縮小を行います。48 ページ

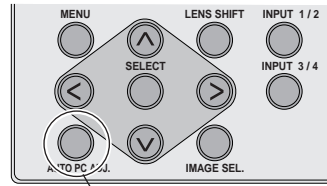
デジタルズーム＋：
リモコンの [D.ZOOM] ボタンを押すと「デジタルズーム＋」表示が出ます。[SELECT] ボタンを押すごとに画面が拡大します。[ポイント] ボタンで画面のパンニング操作を行います。

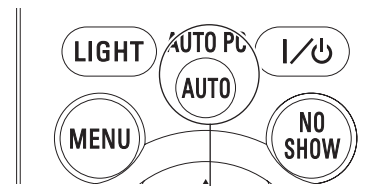
デジタルズーム–：
リモコンの [D.ZOOM] ボタンを２度押すと「デジタルズーム–」表示が出ます。[SELECT] ボタンを押すごとに画面が縮小します。

ご注意：
※ デジタルズームモードを解除するときは、入力の切り替え、またはスクリーンサイズを切り替えます。

自動 PC 調整 [AUTO PC]

コンピュータ信号の「トラッキング」「総ドット数」「ポジション H」「ポジション V」調整を、操作パネルの [AUTO PC ADJ.] ボタンまたは、リモコンの [AUTO PC] ボタンを押すと自動で調整します。☞40 ページ

ご注意：

- 自動 PC 調整で「トラッキング」「総ドット数」「ポジション H」「ポジション V」の全てを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整しカスタムモードに登録してください。☞41 ページ
- 自動調整した内容を一度登録しておくと、コンピュータのシステムメニューでそのモードを選択することができます。
  登録のしかたについては、コンピュータ調整の中の手動 PC 調整の項（☞41 ページ）をご参照ください。
- コンピュータからの入力信号によっては、自動 PC 調整できない信号があります。（☞72 ～ 73 ページ）

操作パネル

[AUTO PC ADJ.] ボタン

リモコン

[AUTO PC] ボタン

インフォメーション [INFO.]

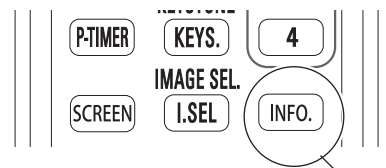
リモコンの [INFO.] ボタンを押すと、インフォメーション画面が表示されます。
操作パネルまたは、リモコンの［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右で、ポインタを「インフォメーション」メニューに合わせ［SELECT］ボタンを押しても、インフォメーション画面が表示されます。

この画面では、プロジェクターの動作環境・信号内容など、プロジェクターの動作状況が表示されます。

- 表示項目中の「水平周波数」「垂直周波数」は、およその目安です。

こんなときに便利です

プロジェクターの準備・設置などでうまく投映できない、などのときに、この画面が簡単に問題解決の手助けになります。

リモコン

[INFO.] ボタン

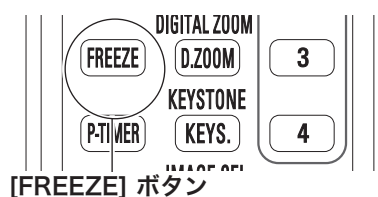
インフォメーションメニュー

画面を一時的に静止させる [FREEZE]

リモコンの［FREEZE］ボタンを押すと、再生機器に関係なく投映画面だけが静止します。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。
※ ［FREEZE］ボタンは操作パネルにはありません。

[FREEZE] ボタン

こんなときに便利です
プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には［FREEZE］ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。

画面を一時的に消す [NO SHOW]

リモコンの［NO SHOW］ボタンを押すと、「ブランク」表示が出て再生機器に関係なく投映画面を一時的に消すことができます。
※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。
※ ［NO SHOW］ボタンは操作パネルにはありません。

[NO SHOW] ボタン

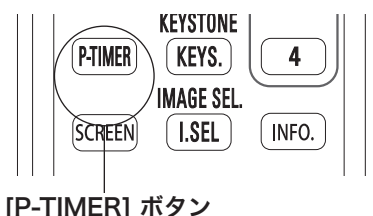
※ 表示は約 4 秒間出ます。
※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

こんなときに便利です
プレゼンテーション中にプレゼンターの話に集中してほしいときや、視聴者に見せたくない画面があるときなどに便利です。

プレゼン時に経過時間を表示する [P-TIMER]

リモコンの［P-TIMER］ボタンを押すとボタンを押したときからの経過時間をカウントし、画面に表示します。
もう一度［P-TIMER］ボタンを押すと経過時間のカウントを止め、それまでの経過時間を画面に表示します。さらに［P-TIMER］ボタンを押すと解除されます。
※ ［P-TIMER］ボタンは操作パネルにはありません。

[P-TIMER] ボタン

 こんなときに便利です
プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行なうことができます。

※ 00 分 00 秒から最長 59 分 59 秒まで経過時間を画面表示できます。

メニューの操作

オンスクリーンメニューの操作方法

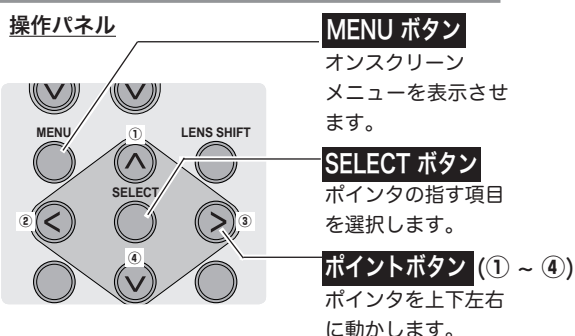
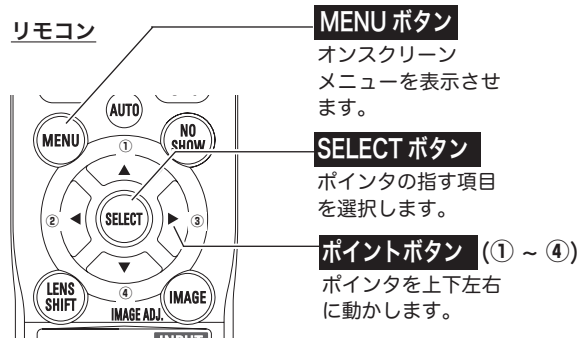
メニュー操作の基本を覚えてください

オンスクリーンメニュー (画面上のメニュー) の操作は、① ポインタを移動し、② ポインタの指す項目を選択するのが基本です。

① ポインタの動かし方

ポインタは、［ポイント］ボタン (① ~ ④) で上下左右に動かします。［ポイント］ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

② 項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコン（操作をイメージした図）を選択するには、［SELECT］ボタンを押します。
［SELECT］ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

1 ［MENU］ボタンを押すと、画面上にメニューバーが表示されます。（35 ページ）メニューバーには選択できるメニューがアイコン（操作をイメージした図）の形で一覧表示されます。
アイコンを囲んでいる赤い枠がポインタです。

メニューを選択する

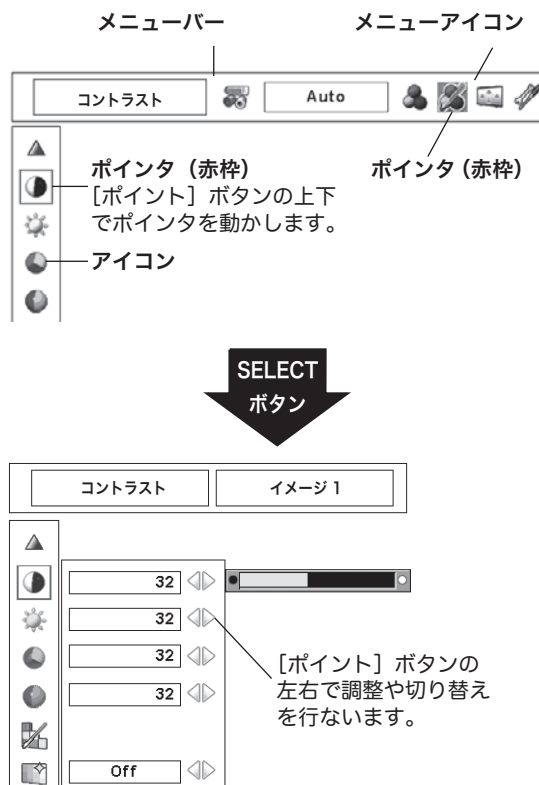
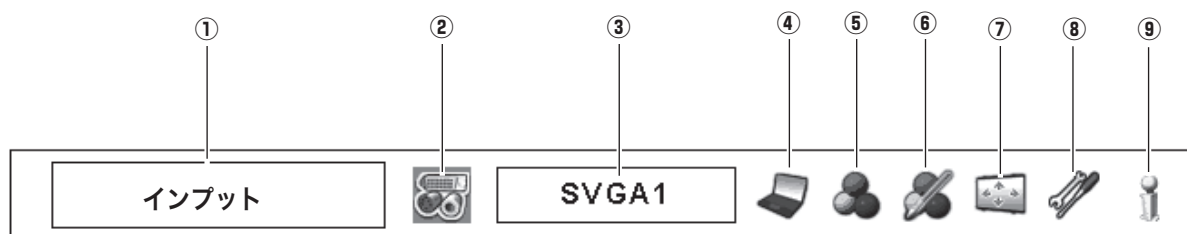
2 赤い枠のポインタを、［ポイント］ボタンの左右で選択したいメニューのアイコンに移動させます。

メニュー画面で調整や切り替えを行なう

3 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを調整する項目のアイコンに合わせます。

4 ［SELECT］ボタンを押して、調整する項目の設定状態をメニュー画面に出します。

5 ［ポイント］ボタンの左右で、調整や切り替えを行ないます。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明項目を参照してください。

※ これ以降のページで、メニューバーや各項目のアイコンについての説明をするとき、“アイコン” を省略するときがあります。

メニューバー

① **ガイドボックス** オンスクリーンメニューの選択中の項目を表示します。	
② **インプットメニュー** 36 ～ 37 ページ 「インプット（入力）1 ～ 4」を切り替えます。	
③ **システムボックス** 38 ～ 39 ページ コンピュータ画面のときは、選択されたコンピュータシステムを表示します。 ビデオ画面のときは、選択されたカラーシステムまたは走査方式を表示します。	
④ **PC 調整メニュー ＊** 40 ～ 42 ページ お使いのコンピュータに合わせてシステムを調整し、カスタムモードに登録します。	自動PC調整、トラッキング、総ドット数、ポジションH、ポジション V、コンピュータ情報、クランプ、画面領域 H、画面領域 V、リセット、データ消去、メモリー
⑤ **イメージ選択メニュー** 43 ページ 画面のイメージモードを選択します。	標準、リアル ＊、シネマ ＊＊、イメージ 1 ～ 10
⑥ **イメージ調整メニュー** 44 ～ 46 ページ 画面のイメージをマニュアルで調整します。	コントラスト、明るさ、色の濃さ ＊＊、色合い ＊＊、カラーマネージメント、自動画質補正、色温度、ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）、オフセット、画質、ガンマ補正、ノイズリダクション ＊＊、プログレッシブ ＊＊、リセット、メモリー
⑦ **スクリーンメニュー** 47 ～ 50 ページ 画面の大きさのモード設定をします。	ノーマル、リアル ＊、ワイド、フルスクリーン ＊、カスタム、デジタルズーム＋ / – ＊、キーストーン、天吊り、リア投映
⑧ **セッティングメニュー** 51 ～ 62 ページ プロジェクターの各種設定を行なうメニューです。	言語、メニュー、オンスクリーン表示、バックグラウンド、ロゴ、ランプモード、ランプコントロール、ファン制御、リモコンコード、リモコン受光部、パワーマネージメント、オンスタート、セキュリティ、プロジェクター ID、ランプカウンター、フィルターカウンター、テストパターン、初期設定
⑨ **インフォメーションメニュー** 32 ページ 投映中の信号状況とセッティングの状況を表示します。	インプット、水平周波数、垂直周波数、スクリーン、言語、ランプモード、ランプコントロール、パワーマネージメント、セキュリティ、リモコンコード、Option control No.

＊　コンピュータ画面のときのみ表示、または選択可
＊＊　ビデオ画面のときのみ表示、または選択可

入力の選択

入力を切り替える

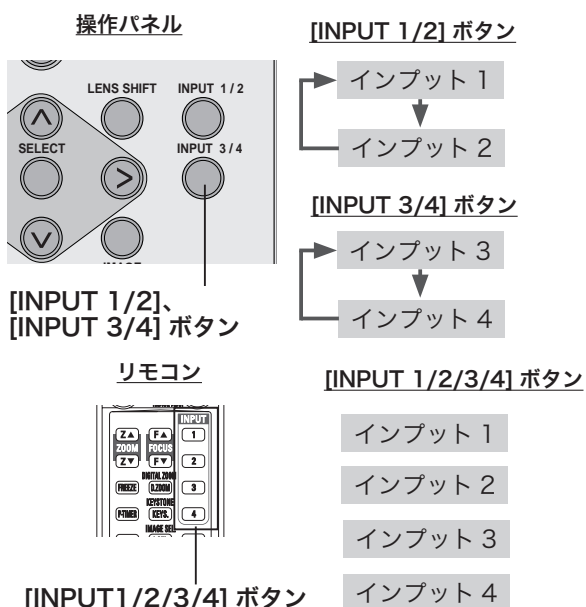
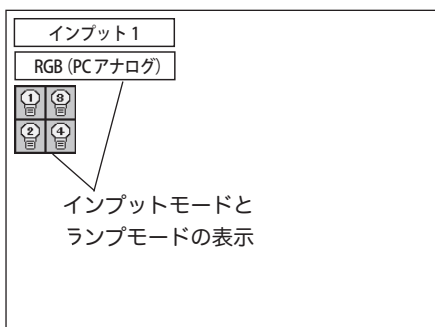
プロジェクターに接続されたコンピュータ、ビデオなどの機器からの入力信号を選択します。

[INPUT 1/2]、[INPUT 3/4] ボタンで入力を切り替える

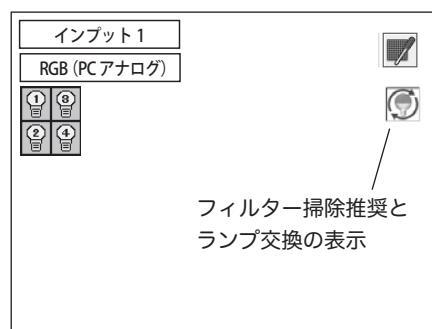
操作パネルの［INPUT 1/2］、［INPUT 3/4］ボタンを押して、入力を切り替えます。☞30 ページ

[INPUT1/2/3/4] ボタンで入力を切り替える

リモコンの［INPUT 1/2/3/4］ボタンを押して、入力を切り替えます。☞30 ページ

ご注意：
- 選択の前に、メニューの「インプット」で各入力の信号選択を行います。信号選択が正しく行われていないと入力選択を押しても信号は正しく投映されません。☞37 ページ
- カードスロットが差し込まれていないインプットは選択できません。☞37 ページ

フィルターおよびランプに関するお知らせ表示

インプットを切り替えたのち、プロジェクターの状態により、「フィルター掃除推奨」および「ランプ交換」のお知らせ表示が出ることがあります。☞64、66 ページ

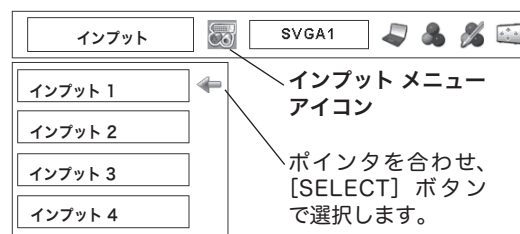
※ 表示は 4 秒間出ます。

「インプット」メニューで入力を切り替える

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「インプット」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを映したい入力に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと入力が切り替わります。
再度その「インプット」合わせ、［SELECT］ボタンを押すと信号選択メニューが現れます。

3 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを映したい信号に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

ご注意：
- カードスロットが差し込まれていないインプットはグレーアウトして選択できません。

インプット メニュー

インプット 1

RGB（PC アナログ） INPUT 1 の ANALOG 端子に、コンピュータのアナログ信号が接続されているときに選択します。

RGB（Scart） INPUT 1 の ANALOG 端子に、映像機器の SCART 映像出力＊が SCART-VGA ケーブルで接続されているときに選択します。

RGB（PC デジタル） INPUT 1 の DIGITAL(DVI-D) 端子に、コンピュータのデジタル信号が接続されているときに選択します。

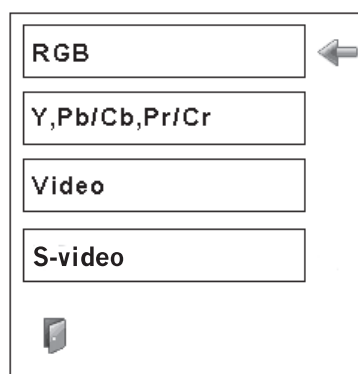
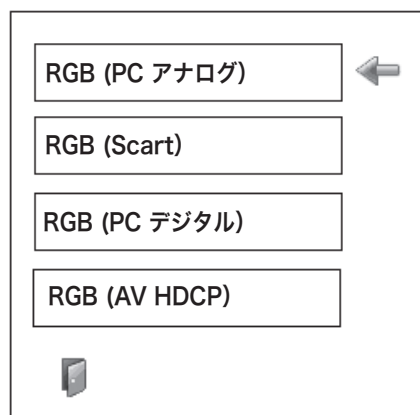
RGB（AV HDCP） INPUT 1 の DIGITAL(DVI-D) 端子に、HDCP 対応のデジタル映像信号が接続されているときに選択します。

インプット 2

RGB INPUT 2 (BNC 端子、R,G,B,H/V,V) に、コンピュータのアナログ信号が接続されているときに選択します。

Y, Pb/Cb, Pr/Cr INPUT 2 (BNC 端子、Y,Cb/Pb,Cr/Pr) に、コンポーネントビデオ信号が接続されているときに選択します。

Video INPUT 2 (BNC 端子、VIDEO) に、ビデオ信号が接続されているときに選択します。

S-video INPUT 2 の S-VIDEO 端子に、S 映像信号が接続されているときに選択します。

＊ SCART 21 ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子の RGB 出力をプロジェクターで見るには、ビデオ機器の SCART 21 ピン端子とプロジェクターの ANALOG（RGB アナログ入力端子）を専用のケーブルで接続します。ANALOG（RGB アナログ入力端子）で再生される RGB SCART 信号は、480i、575i の RGB 信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

ビデオシステムの選択

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右で、ポインタを「システムボックス」メニューに合わせます。

2 ポインタを入力信号に合ったカラーシステムまたは走査方式に合わせ、［SELECT］ボタンで選んでください。

VIDEO または S-VIDEO 端子入力選択時

Auto（自動）

入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。

PAL・SECAM・NTSC・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムはNTSC です。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

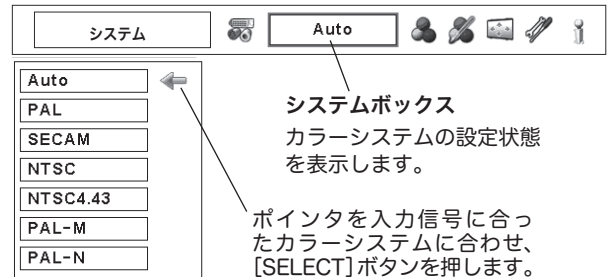
システム メニュー
（コンポジット映像または S 映像入力時）

Y, Pb/Cb, Pr/Cr 入力選択時

Auto（自動）

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

コンポーネント映像の走査方式

正しい映像が再生されないときは、メニュー の中から正しい走査方式を選んでください。

システムメニュー（コンポーネント映像入力時）

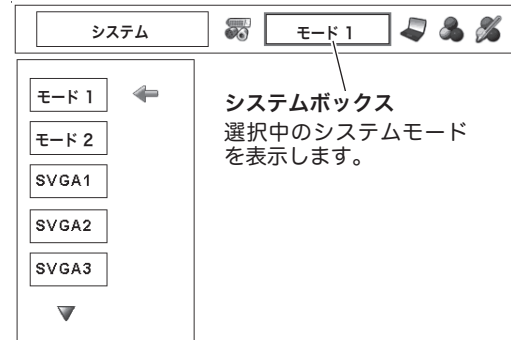
コンピュータシステムの選択

システムモードが自動選択されます

（マルチ スキャン システム）

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステム モード（VGA、SVGA、XGA、SXGA・・・）を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピュータ画面を投映することができます。 72 〜 73 ページ
選択されたシステムモードは、メニューバーのシステムボックスに表示されます。

※ システムボックスには、下記のメッセージが表示されることがあります。

システムメニュー

システムボックスに表示されるメッセージ

Auto

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動PC 調整機能が働き、システムボックスに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投映されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。
41 〜 42 ページ

コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。 14、21 ページ

モード 1

マニュアルで登録された「カスタムモード」が選択されたとき表示されます。

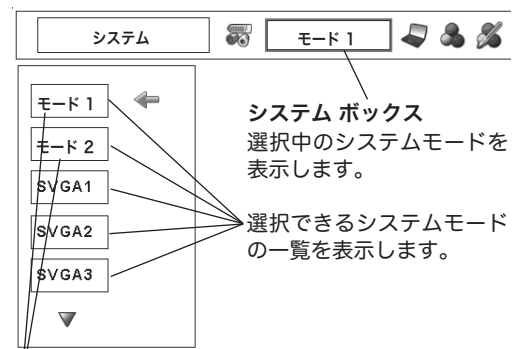
システムモードをマニュアルで選択するとき

「カスタムモード※」を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタをシステムボックスに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを、いずれかのモードに合わせて［SELECT］ボタンで選んでください。

※ カスタムモード：お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。 41 〜 42 ページ

システムメニュー

画面の調整

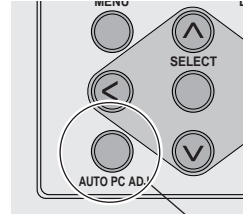
コンピュータシステムの調整

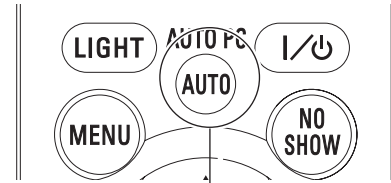
自動 PC 調整機能

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「ポジション H」「ポジション V」の 4 項目を自動調整することができます。

操作パネルおよびリモコンのダイレクトボタンで調整する

操作パネルの［AUTO PC ADJ.］リモコンの［AUTO PC］ボタンを押します。

操作パネル

[AUTO PC ADJ.] ボタン

リモコン

[AUTO PC] ボタン

メニューから調整する

自動 PC 調整

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右で、ポインタを「PC 調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「自動 PC 調整」に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、PC 調整画面が出ます。［SELECT］ボタンをもう一度押して、自動調整を実行させます。

PC 調整メニュー

PC 調整メニューアイコン

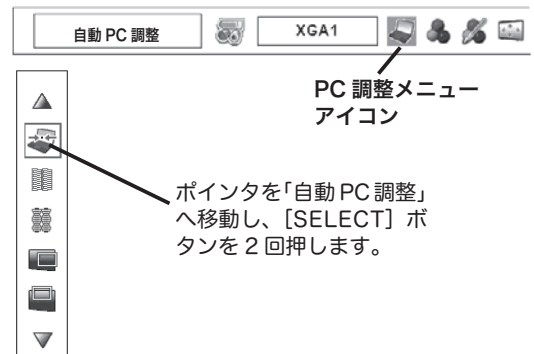
ポインタを「自動 PC 調整」へ移動し、［SELECT］ボタンを 2 回押します。

※自動 PC 調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「ポジション H」「ポジション V」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。

41 ～ 42 ページ

※自動調整した内容を一度登録しておくと、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、次ページの「マニュアル PC 調整の手順 3」をご覧ください。

※システムメニューで、480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i が選択されているときは、自動 PC 調整機能ははたらきません。

※ 入力信号がデジタルの時は「PC 調整」メニューは選択できません。

マニュアルPC調整（「カスタムモード」を登録する）

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューバーの「システムボックス」に「Auto」と表示され、画像が正しく投映されないときは、PC調整メニューでマニュアル調整し、「カスタムモード」に登録してください。登録した「カスタムモード」は、システムメニューで選択できます。「カスタムモード」は10個まで登録することができます。

※ 入力信号がデジタルのときは「PC調整」メニューは選択できません。

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右で、ポインタを「PC調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせ、［SELECT］ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら［ポイント］ボタンの左右で行ないます。

3 **メモリー**

① ポインタを「メモリー」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「PC調整データ登録」メニューが現われます。

② 登録したいモード(「モード 1 から 10」のいずれか)にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すと、「カスタムモード」へ登録され「PC調整データ登録」メニューへ戻ります。（ポインタは▯を指しています。）さらに、［SELECT］ボタンを押すと「メモリー」アイコンに戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「PC調整データ登録メニュー」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

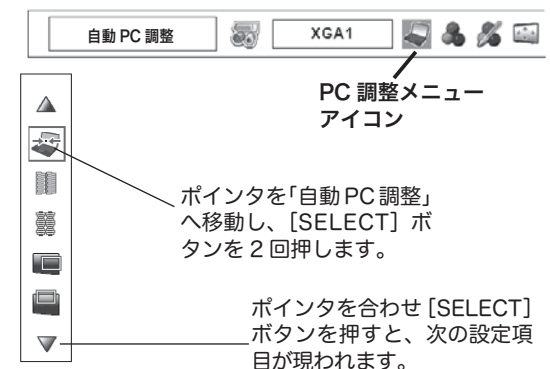
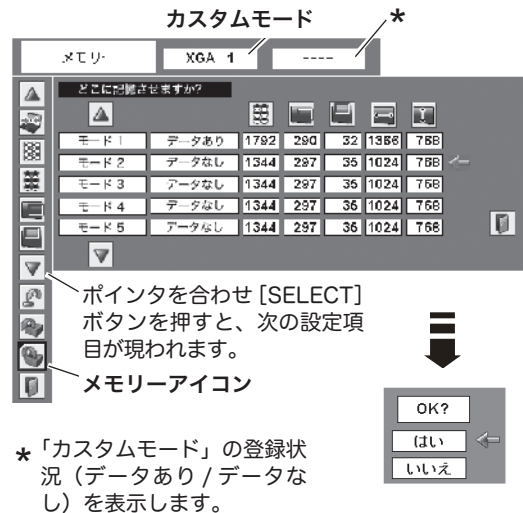
データ消去

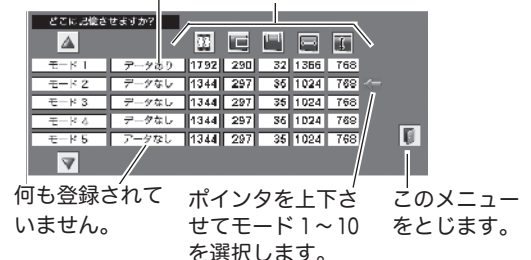
① ポインタを「データ消去」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「PC調整データ消去」メニューが現われます。

② 消去したいモード(「モード 1 から 10」のいずれか)にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すと、「カスタムモード」の登録が解除され、「PC調整データ消去」メニューへ戻ります。（ポインタは▯を指しています。）さらに、［SELECT］ボタンを押すと「データ消去」アイコンに戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「PC調整データ消去」メニューへ戻ります。消去したいモードを選び直してください。

PC調整メニュー

PC調整データ登録メニュー

* 「カスタムモード」の登録状況（データあり / データなし）を表示します。

※「調整メニュー」の表示内容

リセット

① ポインタを「リセット」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

②「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル(リセット)し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すとキャンセル(リセット)を中止することができます。

③ ポインタが「PC 調整」メニューの に移動します。

戻る

メニューを終了します。

項　目

トラッキング

トラッキング (同期) がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。 (0 から 31 まで)

※ コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。

総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。

ポジション H

画面の水平方向の位置を調整します。

ポジション V

画面の垂直方向の位置を調整します。

コンピュータ情報

現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。

クランプ

クランプ位置を調整します。
投映している映像に暗い線が出ているときに使います。

画面領域 H

水平解像度を調整します。
[ポイント] ボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

画面領域 V

垂直解像度を調整します。
[ポイント] ボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

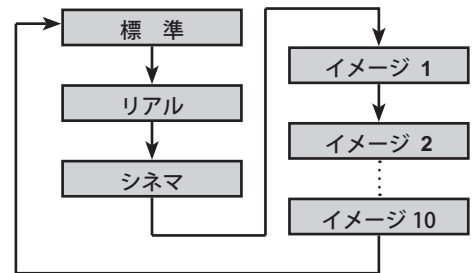
※ システムメニューで 480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i のシステムモードが選択されているときは、「画面領域 H / V」の調整はできません。

PC 調整データ消去メニュー

コンピュータ情報

イメージを調整する

［IMAGE SEL.］ボタンでイメージモードを選択する

リモコンの［IMAGE SEL (I.SEL)］ボタン、または操作パネルの［IMAGE SEL.］ ボタンを押すごとに、イメージモードが切り換わります。

※ ボタンを押すごとに切り替わります。
※ 表示は約 4 秒間出ます。
※「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

標　準

「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）、画質、ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

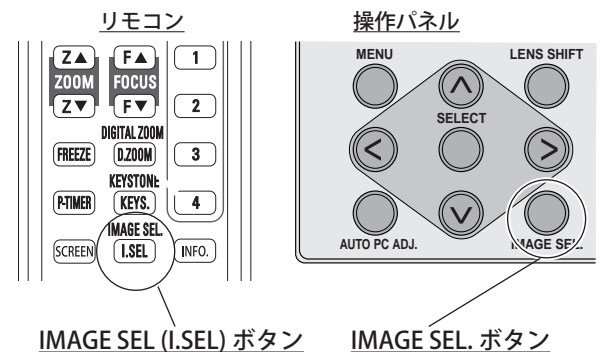
リアル

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。
※ コンピュータ信号入力時のみ選択できます。

シネマ

映画を見るのに適した、階調表現を重視した画質です。
※ビデオ信号入力時のみ選択できます。

イメージ 1 〜 10

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。
※ 各入力ごとに別々に記憶できます。

イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「イメージ選択」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下で、ポインタをお好みの「イメージモード」に合わせ、［SELECT］ボタンで決定します。

イメージ選択メニュー

標　準

「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）、画質、ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

リアル

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。
※ コンピュータ信号入力時のみ選択できます。

シネマ

映画を見るのに適した、階調表現を重視した画質です。
※ビデオ信号入力時のみ選択できます。

イメージ 1 〜 10

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。
※ 各入力ごとに別々に記憶できます。

マニュアルでイメージ調整を行なう

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「イメージ調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、その項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら［ポイント］ボタンの左右で行ないます。

3 **メモリー**

※ 調整した項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。

① ポインタを「メモリー」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「イメージ調整登録」メニューが現われます。

② 登録したいイメージモードにポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すと登録され、「イメージ調整登録」メニューへ戻ります。さらに、［SELECT］ボタンを押すと「イメージ調整」メニューに戻ります。（ポインタは自動的に をさしています。）

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「イメージ調整登録メニュー」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

リセット

① ポインタを「リセット」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

②「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。

③ ポインタが「イメージ調整」メニューの に移動します。

戻る

イメージ調整メニュー

項　目 ［ポイント］ボタンの左（◀）右（▶）で調整します。

コントラスト

◀うすくなる　▶こくなる（0～63）

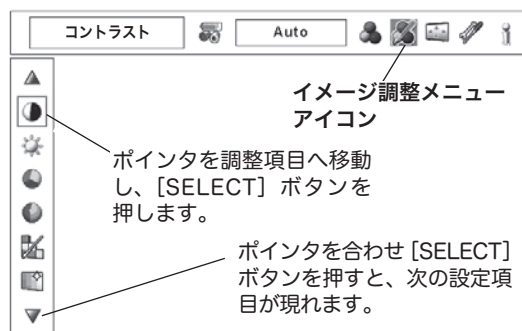
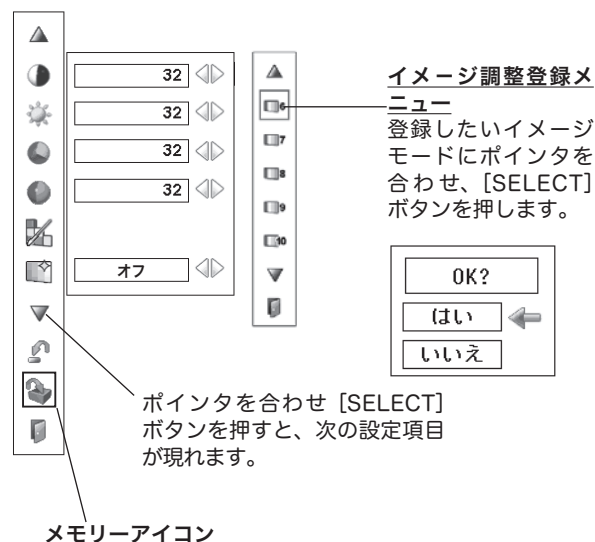
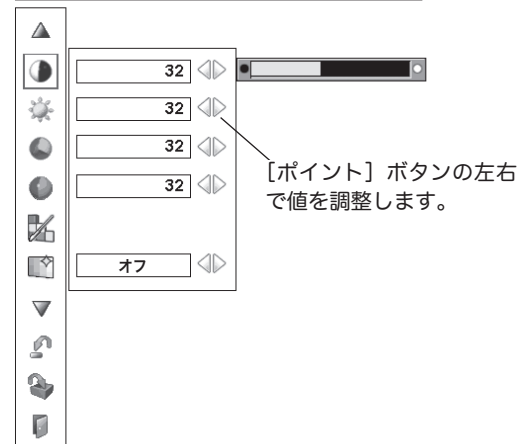
明るさ

◀暗くなる　▶明るくなる（0～63）

色の濃さ

◀うすくなる　▶こくなる（0～63）

※ビデオ信号入力時のみ調整できます。

色合い

◀ 紫がかる　▶ 緑がかる（0 ～ 63）

※ビデオ信号入力時のみ調整できます。

※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」の調整はできません。

カラーマネージメント

投映している画像の色を、お好みの色に調整します。

1 ［SELECT］ボタンを押すと画像が静止して、無色のカーソルが画面中央に表示されます。

2 ［ポイント］ボタンの上下左右でカーソルを調整したい色の上に移動させ、［SELECT］ボタンを押すと、「COLOR SELECTION」メニューが現れます。

3 ［ポイント］ボタンの上下左右でカーソルを「COLOR」の中を移動させ、調整後に表示させたい色を選択し［SELECT］ボタンを押します。自動的に「GAMMA」調整に移動します。

4 ［ポイント］ボタンの上下で、調整後に表示させたい色を選択し［SELECT］ボタンを押します。自動的に「LIST」ボタンに移動します。

LIST ・・・・・「COLOR MANAGEMENT LIST」が表示されます。

COLOR M. ・・調整を中止し無色のカーソルの表示まで戻ります。

MENU ・・・・カラーマネージメントモードから抜けます。

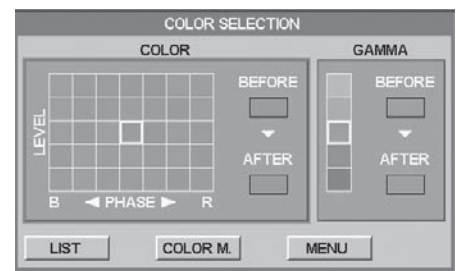
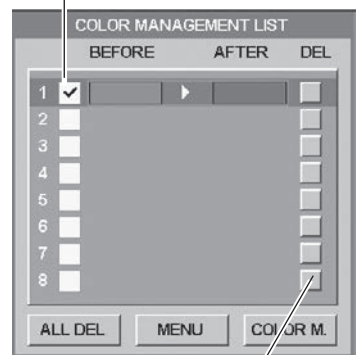
※ 項目を選んで［SELECT］ボタンを押すと、実行されます。

5 「LIST」ボタンを押すと「COLOR MANAGEMENT LIST」が表示され、調整した色を保存することができます。

ALL DEL ・・・保存されたすべてのリストが削除されます。

MENU ・・・・「COLOR MANAGEMENT」から抜け、「イメージ調整」メニューまで戻ります。

COLOR M. ・・調整を保存し、新たに無色のカーソルが表示され、調整を続けることができます。

※ 項目を選んで［SELECT］ボタンを押すと、実行されます。

［ポイント］ボタン左で選択し［SELECT］ボタンを押すとチェックが外れます。

［ポイント］ボタン右で選択し［SELECT］ボタンを押すと削除できます。

各イメージ最大８色の色調整が可能です。

自動画質調整

映像の暗い部分のコントラストを強調します。
［ポイント］ボタン右で、オフ ➔ L1 ➔ L2 の順でより強く強調されます。

※ 工場出荷時は L1 に設定されています。

色温度

◀ 超低へ　▶ 高へ（超低ー低ー中ー高）
※ 超低（赤みがかる）〜高（青みがかる）

※ この項目を調整すると「ホワイトバランス」の調整値も変化します。
※ 「ホワイトバランス」（赤 / 緑 / 青のどれか 1 つでも）の調整をすると「調整中」と表示されます。

ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）

◀ うすくなる　▶ こくなる（各色 0 〜 63）

オフセット（赤 / 緑 / 青）

映像の中の暗い部分の「赤 / 緑 / 青」を調整することができます。

◀ うすくなる　▶ こくなる（各色 0 〜 63）

画　質

◀ やわらかい　▶ くっきり（0 〜 15）

ガンマ補正

［ポイント］ボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。（0 〜 15）

ノイズリダクション

古いビデオやノイズの多い映像を見るとき、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

オン ・・・ノイズの多い映像を見るとき（オン）にすると、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

オフ ・・・ノイズのない映像を見るとき（オフ）に設定してください。

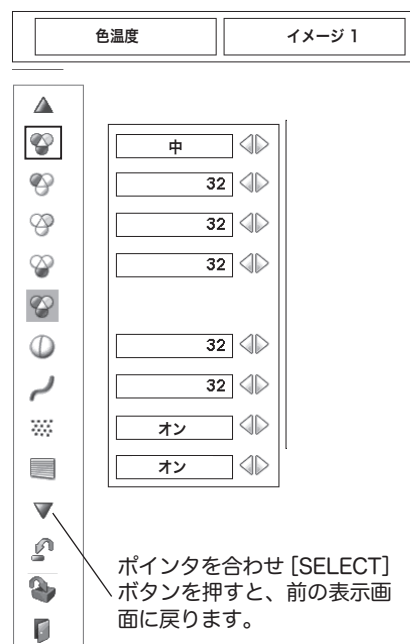
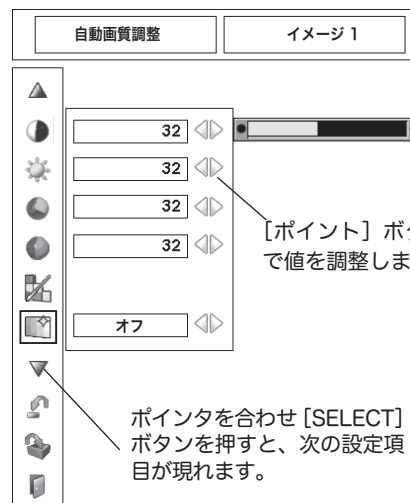
※ビデオ信号入力時のみ設定できます。

プログレッシブ

オフ ・・・・動きの多い映像でチラツキや横線が目立つときは、「オフ」に設定してください。

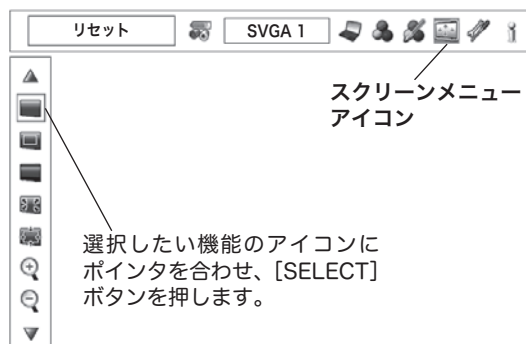
オン ・・・・プログレッシブスキャンを「オン」にします。

フィルム ・・ 「3-2プルダウン / 2-2 プルダウン」された映画を投映するときに、映画の質感を損なわずに再生できます。

※ ビデオ信号入力時のみ設定できます。
※ システムメニューで 480p、575p、720p、の信号を選択しているときは、「プログレッシブ」は選択できません。
※ システムメニューで 1080i、1035i、の信号を選択しているときは、「フィルム」は選択できません。
※「オン」「オフ」「フィルム」の切り換えの際、一瞬画像がみだれます。

画面サイズを調整する

お好みにより、画像サイズを変えることができます。

1. ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「スクリーン」メニューに合わせます。
2. ［ポイント］ボタンの上下で選択したい項目に合わせ、［SELECT］ボタンで決定します。
3. もう一度［SELECT］ボタンを押すと、画面サイズが変わります。

スクリーンメニュー (PC)

再　度［SELECT］ボタンを押すと、画面サイズが変わります。

画面サイズの選択 (ビデオ信号入力画面)

お好みにより、画面サイズを 2 種類の中から選択できます。

 ノーマル

通常の映像のアスペクト比 (横：縦) 4：3 で投映します。

 ワイド

DVD プレーヤ等のワイドモードで出力された映像信号を、アスペクト比 16：9 のワイド画面で投映します。

スクリーンメニュー (AV)

画面サイズの選択 (コンピュータ信号入力画面)

 ノーマル

画像を有効投映画面注) の高さに合わせて投映します。

ノーマル

※ 表示は約 4 秒間出ます。

 リアル

画像をオリジナルサイズで投映します。

① 画像サイズが有効投映画面注) よりも小さいときは、画面の中央に投映し、画面左上に「リアル」の表示が現れます。

② 画像サイズが有効投映画面注) と同じときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れますが、その後「ノーマル」で投映されます。

③ 画像サイズが有効投映画面注) よりも大きいときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れ、画面の上下左右に△が表示されます。［ポイント］ボタンの上下左右で画像を移動させます。

※ 「リアル」を選択しているとき、「デジタルズーム　＋・－」は選択することができません。

リアル

※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。
※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

 ワイド

画像を有効投映画面注) の幅に合わせ、横 16 ：縦 9 のワイド画面で投映します。

 フルスクリーン

アスペクト比、横 4：縦 3 のフルスクリーンサイズで投映します。
※ 「フルスクリーン」を選択しているとき、「デジタルズーム　＋・－」は選択することができません。

信号の種類別の選択できるモードの一覧

	480i/ 575i/ 480p/ 575p	1035i/ 1080i/ 720p	左記以外
ノーマル	○	○	○
リアル	×	×	○
ワイド	○	×	○
フルスクリーン	×	×	○
デジタルズーム +/-	×	×	○

 デジタルズーム +

「デジタルズーム＋」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom ＋」表示が現われます。
［SELECT］ボタンを押すごとに画像が拡大します。
［ポイント］ボタンの上下左右で画像を移動させます。
画像の移動機能は、画像サイズが有効投映画面注) よりも大きいときのみはたらきます。

 デジタルズーム －

「デジタルズーム －」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom －」表示が現われます。
［SELECT］ボタンを押すごとに画像が縮小します。

※「デジタルズーム」モードから抜けるときは、［D.ZOOM、SELECT、ポイント］以外のボタンを押します。
※「ノーマル」モードへもどるときは、ポインタを「ノーマル」モードに合わせ［SELECT］ボタンを押します。
※ 本機は UXGA（1600 × 1200 ドット）を超える解像度には対応しておりません。お使いのコンピュータの解像度が UXGA (1600 × 1200 ドット) を超える場合は、プロジェクターに接続する前に低い解像度に再設定してください。
※ 有効投映画面注) 以外の画像データは、初期画面で有効投映画面注) に合うように自動的に画像サイズが変換されます。
※ PC 調整メニューでマニュアル調整した「カスタムモード」をコンピュータのシステムモードに使用しているときは、「デジタルズーム +」モードのときの画像の移動機能は正しくはたらかないことがあります。
※ システムモード（☞39 ページ）で「VGA、SVGA、SXGA、WXGA、UXGA」が選択されていて、上部への「キーストーン」調整が最大値のとき、「デジタルズーム －」が正しくはたらかないときがあります。

注) 1024x768 ドット

画面サイズの選択 (コンピュータ・ビデオ共通)

カスタム

水平と垂直の、スケールおよび位置を調整します。

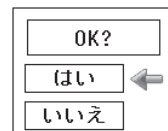
カスタムの調整画面を表示させるには

「カスタム」を選択し［SELECT］ボタンを押すと、「カスタム」の表示が現れ、メニューバーが消えるので、もう一度［MENU］ボタンを押して、メニューバーを表示させ、「スクリーン」メニューから「カスタム」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「アスペクト調整」画面が現れます。

スケール　H/V
垂直および水平のスケールを調整します。［ポイント］ボタンの左右で調整します。

H&V
垂直および水平のスケールを調整するときに、垂直と水平のスケールを連動させ、映像のアスペクトを保持したままスケール調整をするときに「オン」を選択します。
※ 「スケール　H」で調整し､数値の変化に合わせて「スケール　V」の数値も変化します。

ポジション　H/V
垂直および水平の位置を調整します。［ポイント］ボタンの左右で調整します。

共通
調整した内容を全ての入力に反映します。**
［SELECT］ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと登録されます。

リセット
調整した内容を全てリセットします。
［SELECT］ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すとリセットされます。

カスタムのアスペクト調整画面

［ポイント］ボタンの上下で項目を移動し、［ポイント］ボタンの左右で、調整します。

** 例えば、コンピュータ入力で「スケール H」を「0」から「2」に変えて登録したとき、ビデオ入力で「カスタム」を表示させたときに「スケール H」に「2」が表示されている、ということです。

※ 無信号時は調整できません。無信号時は「アスペクト調整」の調整値は反映されません。
※ 無信号時に「カスタム」の選択はできますが、「アスペクト調整」の画面は表示されず、調整することはできません。
※ 調整中に無信号になると、調整値は保持されますが、「アスペクト調整」画面は消えます。
※「カスタムモード」選択時は、「デジタルズーム －」にて標準サイズより小さくすることはできません。

キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。 ☞31 ページ

「メモリー」または「リセット」を選択し、[SELECT]ボタンを押すと、下図の「キーストーン」表示が現れます。

1 [MENU]ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント]ボタンの左右でポインタを「スクリーン」メニューに合わせます。

2 [ポイント]ボタンの上下で選択したい項目に合わせ、[SELECT]ボタンで決定します。

3 [ポイント]ボタンで「リセット」または「メモリー」を選択し、[SELECT]ボタンを押します。画面からメニュー表示が消えてキーストーン調整モードに入り「キーストーン」表示が現われます。

4 表示が出ている間に[ポイント]ボタンの上下左右で画面の台形ひずみを補正します。

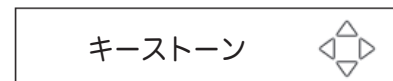
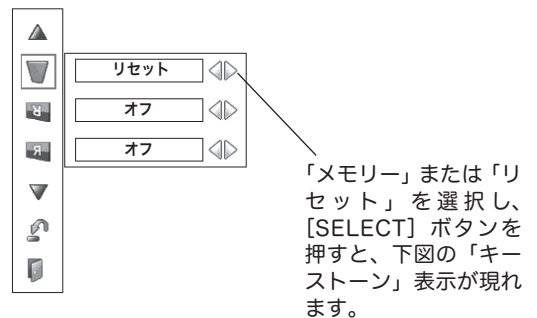
[ポイント]ボタン上・・・画面上部の幅が縮みます。
[ポイント]ボタン下・・・画面下部の幅が縮みます。
[ポイント]ボタン左・・・画面左部の幅が縮みます。
[ポイント]ボタン右・・・画面右部の幅が縮みます。

※ 表示は約 10 秒間出ます。
※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。
※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。(無補正の場合の表示は白色です。)
※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

「メモリー」、「リセット」は以下のはたらきをします。

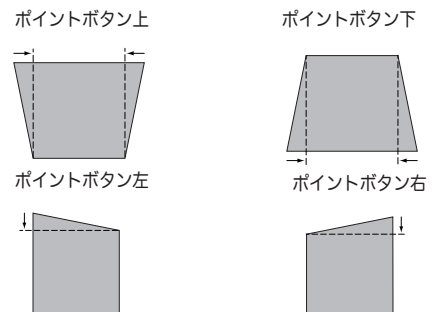
メモリー ・・・電源コードを抜いても調整した状態を記憶します。

リセット ・・・電源コードを抜くと調整した状態がリセットされます。

※ 「キーストーン」表示が現れているあいだに、[KEYSTONE]ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。
※ キーストーン調整後に、天吊りを「オン」すると、補正前の状態に戻ります。
※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

ポイントボタン上

ポイントボタン下

ポイントボタン左

ポイントボタン右

天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

※ 吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

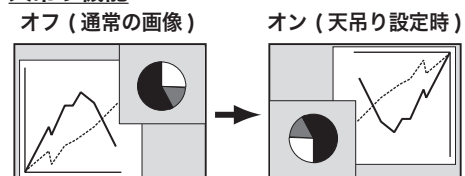
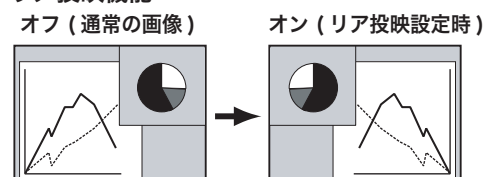
天吊り機能

オフ(通常の画像)　　オン(天吊り設定時)

リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。透過型スクリーンの後ろから投映するときに設定します。

リア投映機能

オフ(通常の画像)　　オン(リア投映設定時)

「セッティング」メニューで各種機能の設定をする

プロジェクターの各種動作環境の設定をします。

「セッティング」メニュー

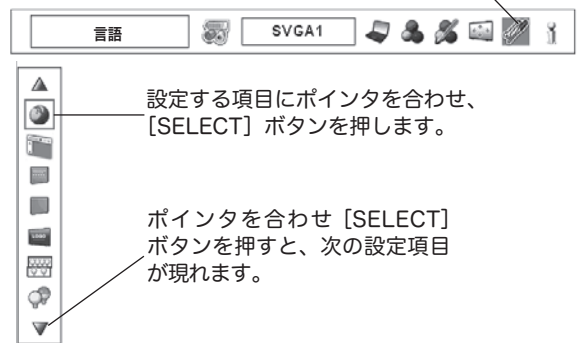
言語	メニューの言語を選択します
メニュー	メニュー位置及びシンプルメニューの設定をします
オンスクリーン表示	オンスクリーンの表示・非表示を選択します
バックグラウンド	無信号時の背景を選択します
ロゴ	オープニング画面のロゴを選択します
ランプモード	ランプモードを選択します
ランプコントロール	ランプの明るさを選択します
ファン制御	設置環境に合わせたファンの動作を選択します
リモコンコード	リモコンコードを選択します
リモコン受光部	前後のリモコン受光部を選択します
パワーマネージメント	省エネの設定をします
オンスタート	交流電源につなぐだけでオンできます
セキュリティ	防犯のためセキュリティの設定をします
プロジェクター ID	プロジェクター ID の設定をします
ランプカウンター	ランプの使用時間を確認またはリセットします
フィルターカウンター	フィルターの使用時間を確認またはリセットします
テストパターン	内蔵テストパターンを選択して投映します
初期設定	設定を工場出荷状態に戻します

「インフォメーション」メニュー

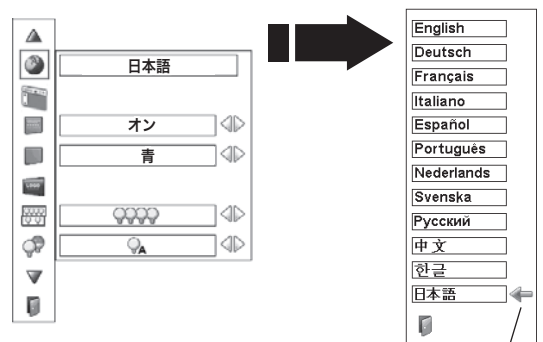
インフォメーション	接続された信号およびセッティングの状況を表示します 32 ページ

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「セッティング」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを設定する項目に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。
選んだ項目の設定画面が現われます。

言　語

画面表示の言語を切り替える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、ロシア語、中国語、韓国語、日本語の 12 か国語の中から選べます。

言語

メニュー

オンスクリーンメニューの表示についての設定を変えることができます。[SELECT] ボタンを押すと、選択画面が表示されます。[ポイント] ボタンの上下で選択し [SELECT] ボタンを押します。

メニュー位置

オンスクリーンメニューが表示される位置を調整する機能です。[ポイント] ボタンの右、下でお好みの位置に表示させることができます。

※ 約 10 秒間表示されます。
※ 最大まで移動すると、矢印の色が赤に変わります。
※「P-TIMER」、「パワーマネージメント」のカウントダウン表示の表示位置は変えることができません。

シンプルメニュー

[イメージ調整] で下記のメニューを選択すると調整バーを表示させる機能です。映像を見ながら調整するのに便利です。

オン ・・・以下のメニューに対応しています。

44 - 46 ページ

・コントラスト / 明るさ
・色の濃さ / 色合い
・ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）
・オフセット（赤 / 緑 / 青）
・画質 / ガンマ補正

オフ ・・・シンプルメニューの機能を使用しません。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

メニュー

[ポイント] ボタンの上下でポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。

シンプルメニュー

オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。

オン ・・・すべての画面表示を出します。
ある程度投映画面が明るくなってから、映像を映したいときに選択します。

カウントダウンオフ ・・・ランプ点灯後 20 秒のカウントダウンを表示せず、すぐに投映します。
投映画面が少し暗くても早く映像を映したいときに選択します。

オフ ・・・以下の画面表示以外は出しません。

・メニューバー表示 35 ページ
・電源を切るときの、
「もう 1 度押すと電源が切れます」の表示 27 ページ
・P-TIMER 表示 33 ページ
・自動 PC 調整の「しばらくお待ち下さい」の表示
・パワーマネージメント時のタイマー表示
・画面サイズが大きいとき表示される「△」の矢印
48 ページ

バックグラウンド

バックグラウンドに 3 つの形式が選択できます。入力信号が無信号になったとき、以下の中から設定したものがバックグラウンドに表示されます。

青 ・・・背景がブルーになります。
ユーザー ・・・キャプチャー機能で取り込んだ画像が表示されます。
黒 ・・・背景がブラックになります。

※ キャプチャー画像が無いときは、「ユーザー」は選択できません。

ロ　ゴ

ロゴ選択、画面のキャプチャー、ロゴ選択の暗証番号の設定をします。

※「ロゴ暗証番号ロック」が「オン」のとき、「ロゴ選択」と「キャプチャー」は設定できません。☞53、54 ページ

ロゴ選択

電源を入れたときのロゴ表示を選択することができます。

ユーザー ・・・キャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。

初期設定 ・・・工場出荷時の設定を表示します。

オフ ・・・・・ ロゴ表示を画面に出しません。

ロゴ選択

キャプチャー

投映している画面を取り込んで、スタートアップロゴにしたり、バックグラウンドにしたりすることができます。
キャプチャー機能を設定するときは、「ロゴ」機能で「ユーザー」を選択してください。

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「キャプチャー」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「はい」、「いいえ」の表示が現れます。
「はい」・・・・画面の取り込みを始めます。
「いいえ」・・・ キャプチャー機能を取り消します。

2 「はい」を選択すると、取り込みを始めます。
取り込みの進行を示すバーが現れます。
取り込みが完了するとメニュー表示は消えます。
このとき、取り込みを中止したいときは、バーの上にある「戻る？」の「はい」＊を選択し［SELECT］ボタン押します。

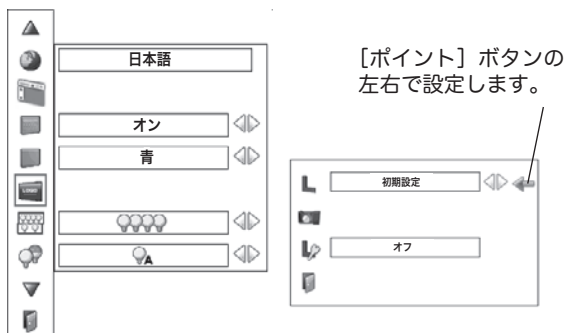
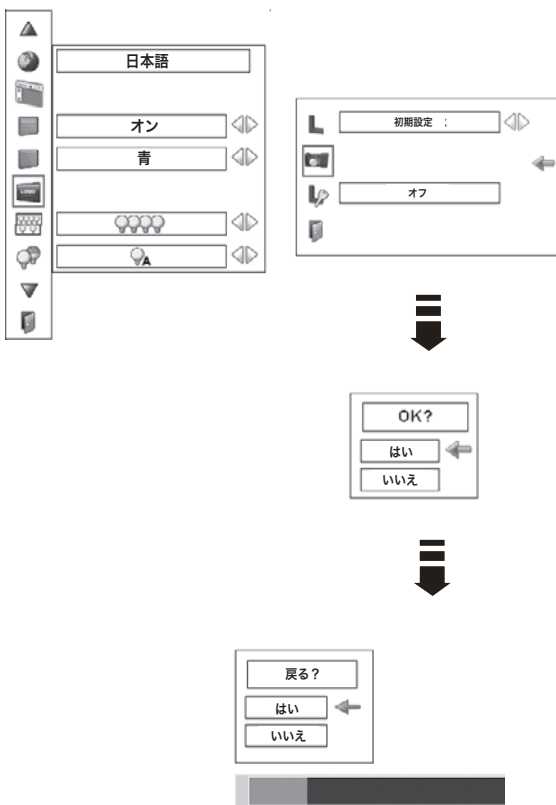
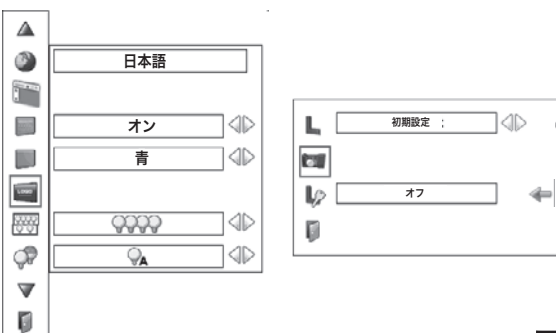
※ 「ユーザー」へ保存できるのは１画面のみです。
※ 適切な画面を取り込むために、イメージモードは標準を選択しておいてください。
※ 画像を取り込むときは「キーストーン」調整を一時的に解除します。
※ この機能が使えるのは以下の信号のときです。
コンピュータ・・・XGA 以下（ただし、「画面領域 H」を 1025 以上、「画面領域 V」を 769 以上に設定すると不可）
ビデオ・・・ コンポジット、S ビデオ、Scart、480p、575p、480i、575i

ご注意 ＊
「戻る？」で「はい」を選択すると、すでに「ユーザー」に保存していた画像の登録も削除されます。

キャプチャー

ロゴ暗証番号ロック

「ロゴ」の設定･変更を暗証番号を持つ管理者以外できなくします。
設定により以下のモードが選択できます。

「オン」・・・暗証番号を入れないと「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更はできません。
「オフ」・・・暗証番号なしで「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更ができます。

ロゴ暗証番号ロック

手　順

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「ロゴ暗証番号ロック」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、暗証番号を入力する画面が現れます。
※「オン」「オフ」のどちらを選択していても暗証番号の入力画面は表示されます。

2 暗証番号を入力します。

3 暗証番号が承認されると、「ロゴ暗証番号」の「オン・オフ」の設定と、暗証番号の変更ができる画面が現れます。
「オン・オフ」は［ポイント］ボタンの左右で切り替え、選択します。

4 終了するときは、［ポイント］ボタン下でポインタを に移動し、［SELECT］ボタンを押します。

暗証番号の入力方法

リモコンもしくは操作パネルで入力する

1 ［ポイント］ボタンの上下で０～９の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを２けた目に移動します。（1 けた目の表示が「＊」に変わります。）この操作を繰り返し、4 けた全ての数字を入力します。

2 4 けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

3 [SELECT] ボタンを押して決定します。

4 正しく入力されていると、「ロゴ暗証番号ロック」の選択メニューが表示されます。上記「手順 *3*」

※ 工場出荷時のロゴ暗証番号の数字は、「4321」です。
※ 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、[ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。
※「キャンセル」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「ロゴ暗証番号ロック」の選択画面に移動します。

暗証番号を変更する

1 ［ポイント］ボタンの上下で「ロゴ暗証番号変更」を選択し、[SELECT] ボタンを押します

リモコンもしくは操作パネルで入力する

2 ［ポイント］ボタンの上下で０～９の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを２けた目に移動します。この操作を繰り返し、4 けた全ての数字を入力します。

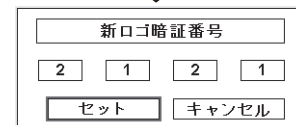
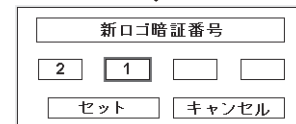
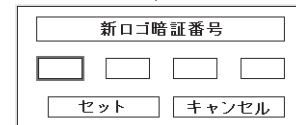
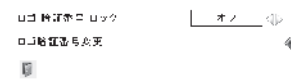
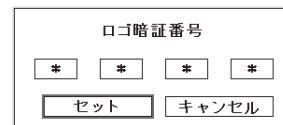
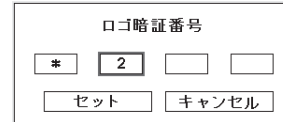
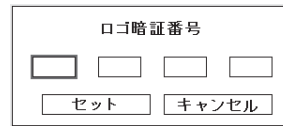
3 4 けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

※ このときは決定した数字も見えています。変更後の数字をはっきり確認していただけるように、数字を見せています。

4 [SELECT] ボタンを押して決定します。

5 さらに「OK?」の表示が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。

6 「ロゴ暗証番号ロック」メニューの画面まで戻ります。

メモ

- 入力を中断し、この機能を操作するのをやめるときは、［ポイント］ボタンの左右で「キャンセル」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、「ロゴ暗証番号変更」メニューの画面まで戻ります。
- 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、数字ボタンまたは [ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。
- 以下のようなときは、エラーを表しています。入力をやりなおしてください。
  - 「ロゴ暗証番号」と入力した数字 (見た目は「＊」) が赤く表示された。
  - 「ロゴ暗証番号」と入力する枠が赤く表示された。
  - 「新ロゴ暗証番号」と入力した数字が赤く表示された。

ランプモード

本機にはランプが４灯搭載されていますが、プロジェクターを使う場所によってランプを４灯点灯と、２灯点灯に切り換えて使うことができます。あまり明るい画面を必要としない投映や、投映場所が比較的暗い場所では２灯点灯でご使用ください。

４灯 ・・・４灯のランプを点灯させます。

２灯 ・・・２灯のランプを点灯させます。

※ ４灯から２灯へ切り換えた場合、ランプが２灯へ切り換えられ、少し暗くなります。２灯から４灯へ切り換えた場合は、ランプ点灯準備のためすぐに明るくならず、約 60 秒後に４灯点灯の明るさになります。
※ ４灯から２灯へ切り換えた後再び４灯へ切り換える場合や、２灯から４灯へ切り換えた後再び２灯へ切り換える場合、約 90 秒間はランプ点灯準備のため切り換えができません。

ランプモード

ランプコントロール

ランプの明るさを３段階で切り替え・選択することができます。

オートモード 調光回路が働いて、信号内容に応じて明るさを自動的に調整します。

ノーマルモード 通常の明るさです。

エコモード 通常より約 20%ダウンの明るさ。

※ ［ポイント］ボタン右で ➔ ➔ の順に表示が切り替わります。

ファン制御

プロジェクターの設置場所によって、冷却ファンの回転動作を切り替える機能です。

ノーマル ・・・プロジェクターの設置環境によってファン動作を自動的に制御します。

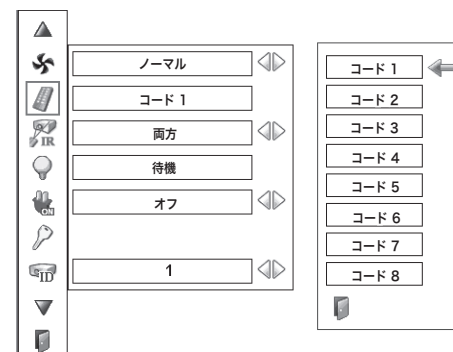
マックス ・・・プロジェクターの設置環境によらず、ファンを強制的に最大で動作させます。

※ 工場出荷時は「ノーマル」に設定されています。

ファン制御

リモコンコード

本機は８種類のリモコンコード（「コード 1」～「コード 8」）の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。
工場出荷時は「コード 1」に設定されています。
リモコンコードを他のコード（「コード２～コード 8」）に変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り替える必要があります。
プロジェクターのリモコンコードを切り替えるにはメニューのリモコンコードを選択し、設定するリモコンコードを選択します。リモコンのコードの切り替えは、リモコン本体で行ないます。
（☞17 ページ「リモコンコードの設定」）

リモコンコード

リモコン受光部

リモコン受光部は、プロジェクター本体の前部・後部にあります。リモコンを受け付ける受光部を選択することができます。

両方 ・・・前部・後部両方受け付けます。
前 ・・・前部のみ受け付けます。
後 ・・・後部のみ受け付けます。

パワーマネージメント

パワーマネージメント機能の動作設定を行ないます。

オフ ・・・・・・ パワーマネージメント機能を解除します。
待機 ・・・・・・設定された時間が経つとランプが消灯しランプ冷却動作に入ります。ランプの冷却が完了すると［READY］インジケータが緑の点滅を始めます。この時信号が入力されたり、プロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投映されます。
シャットダウン ・・設定された時間が経つとランプが消灯し電源が切れます。

タイマーの設定

- ［ポイント］ボタンの左右でパワーマネージメント機能が動作を開始するまでの時間を設定します。1 ～ 30 分の範囲で設定できます。
- パワーマネージメント動作詳細については 27 ページを参照ください。

※ 工場出荷時は「待機・5 分」に設定されています。
※ 「FREEZE（☞33 ページ)」または、「NO SHOW（☞33 ページ)」機能がはたらいているときは、パワーマネージメントは動作しません。
※ パワーマネージメントがはたらくと、「P-TIMER（☞33 ページ)」はリセットされます。

パワーマネージメント

［ポイント］ボタン右で「オフ」➔「待機」➔「シャットダウン」の順に表示が切り替わります。

［SELECT］ボタンを押して設定画面に入ります。

入力信号なし
04 : 50

ランプ消灯までの時間

オンスタート

電源コードを接続し主電源スイッチ (MAINS SW) を［ON］(入) にすると、リモコンや操作パネルの［ON/STAND-BY］ボタンを押さなくても自動的にプロジェクターの電源を入れる機能です。

オン ・・・電源コードを接続し主電源スイッチ（MAINS SW) を［ON］(入）にすると同時にプロジェクターの電源が入ります。
オフ ・・・通常の電源の入り・切りを行ないます。電源コードを接続し主電源スイッチ (MAINS SW) を [ON] (入) にしても、リモコンまたは操作パネルの［ON/STAND-BY］ボタンを押さなければプロジェクターの電源は入りません。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

電源オン・オフは正しい操作で行なってください。

ランプの冷却が終わり、再点灯できる状態になるまで、［ON/STABD-BY］ボタンを押しても電源は入りません。

セキュリティ

操作ボタンのロックと、暗証番号でプロジェクターの操作をロックする設定をします。

1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「セキュリティ」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、項目を選択する画面が現れます。

2 [ポイント] ボタンの上下で項目を選択し、[SELECT] ボタンを押すと、設定画面が現れます。
※ 設定の詳細は、各項目を参照してください。

キーロック

操作ボタンをロックして、プロジェクターが誤って操作されることを防ぎます。たとえば、リモコンをプロジェクターの鍵として使うこともできます。

・・・ キーロックは「オフ」の状態です。

・・・ 操作パネルからの操作をロックします。

・・・リモコンからの操作をロックします。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

※ 解除できなくなったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

手　順

上記「*1* ～ *2*」に続いて、

3 ポインタをいずれかに合わせ、[SELECT] ボタンを押すと「OK ?」の表示が現れます。

4 「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、登録が完了し、設定画面へ戻ります。

※ 「いいえ」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、選択画面に戻ります。設定する項目を選び直してください。

キーロック

[ポイント] ボタンの上下で選択し、[SELECT] ボタンを押します。

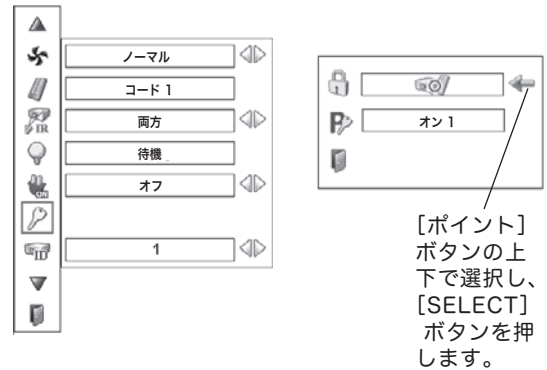
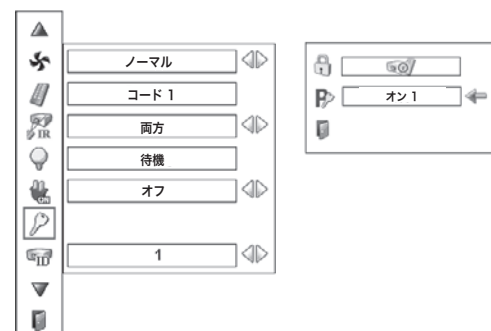
暗証番号ロック

暗証番号により、プロジェクターの管理者以外のプロジェクターの操作を防止します。設定により以下のモードが選択できます。

オフ ・・・「暗証番号ロック」を解除します。通常の操作をすることができます。

オン 1 ・・・電源を入れるときに暗証番号が要求されます。

オン 2 ・・・ 一度入力した暗証番号は、電源を切る (AC コードを抜くもしくは、主電源スイッチ (MAINS SW) を [OFF] (切) にする) まで有効です。一度、電源を切るとその次に電源を入れるときに暗証番号が要求されます。[ON/STAND-BY] ボタンで電源の入り・切りをするだけで、電源を切らないときは、暗証番号が要求されることなく、通常の操作をすることができます。

※ 手順は次ページへ

暗証番号ロック

手　順

前ページ「*1* 〜 *2*」に続いて、

3 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「暗証番号ロック」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと暗証番号を入力する画面が現れます。

4 暗証番号を入力します。
※ 下記「暗証番号の入力方法」を参照ください。

5 暗証番号が承認されると、「暗証番号」の「オン 1・オン 2・オフ」の設定と、暗証番号の変更ができる画面が現れます。
「オン 1・オン 2・オフ」は［ポイント］ボタンの左右で切り替え、選択します。
暗証番号の変更は次ページを参照ください。

6 終了するときは、［ポイント］ボタン下でポインタを ▯ に移動し、［SELECT］ボタンを押します。

暗証番号の入力方法

リモコンもしくは操作パネルで入力する

1 ［ポイント］ボタンの上下で 0 〜 9 の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを 2 けた目に移動します。（1 けた目の表示が「＊」に変わります。）この操作を繰り返し、4 けた全ての数字を入力します。

2 4 けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

3 [SELECT] ボタンを押して決定します。

4 正しく入力されていると、「暗証番号ロック」の選択メニューが表示されます。☞ 上記「手順 *5*」

※ 工場出荷時の暗証番号は、「1234」です。
※ 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、[ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。
※「キャンセル」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「暗証番号ロック」の選択画面に移動します。

次ページへ

暗証番号を変更する

1 ［ポイント］ボタンの上下で「暗証番号変更」を選択し、[SELECT] ボタンを押します

リモコンもしくは操作パネルで入力する

2 ［ポイント］ボタンの上下で０〜９の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを２けた目に移動します。この操作を繰り返し、４けた全ての数字を入力します。

3 ４けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

※ このときは決定した数字も見えています。変更後の数字をはっきり確認していただけるように、数字を見せています。

4 [SELECT] ボタンを押して決定します。

5 さらに「OK?」の表示が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。

6 「暗証番号ロック」の選択画面に戻ります。

メモ

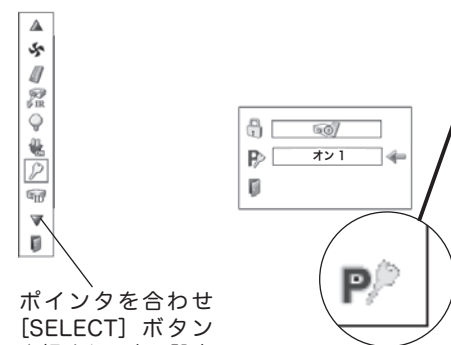
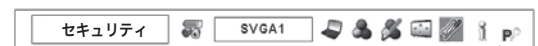
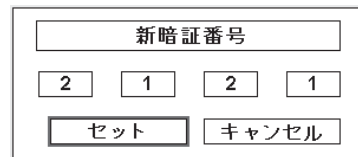
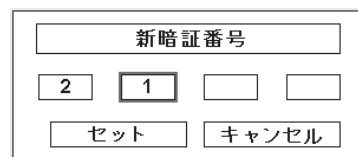
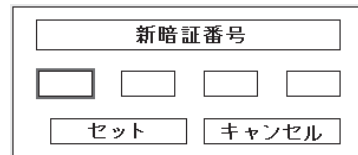
- 入力を中断し、この機能を操作するのをやめるときは、［ポイント］ボタンの左右で「キャンセル」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、「暗証番号変更」メニューの画面まで戻ります。
- 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、数字ボタンまたは [ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。
- 以下のようなときは、エラーを表しています。入力をやりなおしてください。
  - 「暗証番号」と入力した数字 (見た目は「*」) が赤く表示された。
  - 「暗証番号」と入力する枠が赤く表示された。
  - 「新暗証番号」と入力した数字が赤く表示された。

プロジェクター ID

この機能は RS-232C シリアル通信のプロジェクター ID の設定をおこないます。 設定方法は以下の手順で行ってください。

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「プロジェクター ID」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

2 ［ポイント］ボタンの左右でプロジェクター ID (1 ~ 999) を設定します。

※工場出荷時は 1 に設定されています。

ポインタを合わせ［SELECT］ボタンを押すと、次の設定項目が現れます。

暗証番号ロックの「オン 1」､「オン 2」いずれかが選択されていることを表しています。

ランプカウンター

ランプカウンター（換算時間）をリセットします。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると［LAMP REPLACE］インジケータ(黄)の点灯、および「ランプ交換」のお知らせ表示が消えます。☞64、68、69 ページ

⚠ **注意** ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

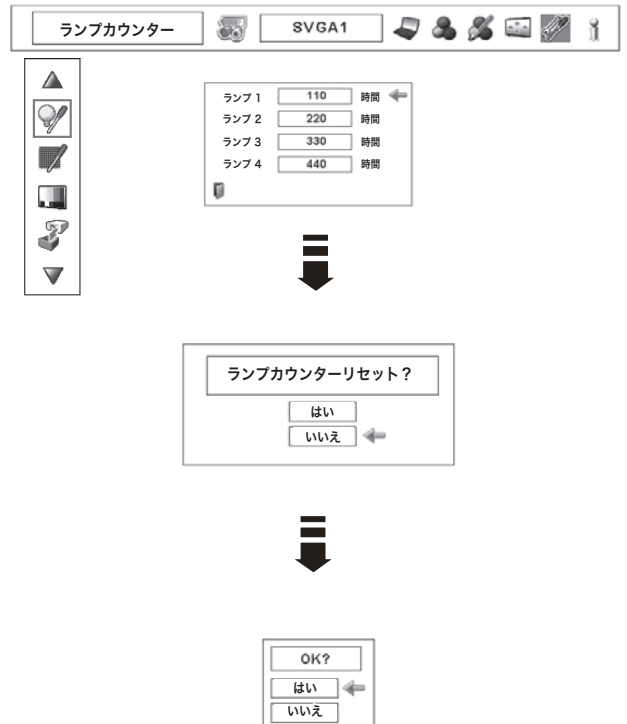
1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「ランプカウンター」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

2 ランプの使用時間と、リセットするランプを選択する項目が現れます。［ポイント］ボタンの上下で交換したいランプ番号にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

3 「ランプカウンターリセット？」が現われますので、［ポイント］ボタンの上下で はい にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

4 さらに、「OK ？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で はい にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。カウンターがリセットされます。

※ランプ使用時間がランプ交換推奨時間に達すると、ランプカウンターの時間表示が赤になります。

ランプカウンター

ランプ交換時期をお知らせする画面表示について

< 図 1 > 「ランプ交換」

ランプ点灯中にあらかじめ設定された時間（工場設定）が経過したとき、画面右上に表示されます。

また、下記の操作をしたときにも表示されます。

・電源を入れたとき

・インプットを切り替えたとき

※ 「オンスクリーン表示・オフ」(☞52 ページ)のとき、「FREEZE」(☞33 ページ)中、「NO SHOW」(☞33 ページ)中は、表示されません。

※ ランプカウンターをリセットすると、消えます。

図 1

フィルターカウンター

フィルターカウンターのリセットとエアフィルターのお掃除時期を知らせる時間を設定します。エアフィルターの掃除または交換後は必ずフィルターカウンターをリセットしてください。リセットすると「フィルター掃除推奨」のお知らせ表示が消えます。
☞66、68、69 ページ

注意 エアフィルターを掃除したとき、または交換したとき以外はリセットしないでください。

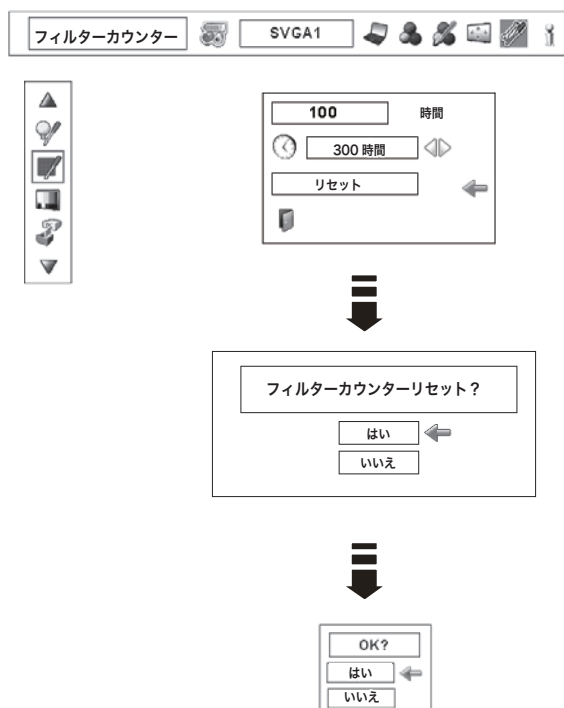
フィルターカウンター

タイマーの設定

エアフィルターのお掃除時期を知らせる表示を表示させるまでの時間を設定します。（オフ /100 時間 /300 時間 /500 時間）
［ポイント］ボタンの上下でポインタを「タイマー」に合わせ、[ポイント] ボタンの左右で切り替えます。
※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

フィルターカウンターのリセット

1. ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「フィルターカウンター」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。
2. フィルターの使用時間、タイマー設定の表示、カウンターをリセットする項目が現れます。［ポイント］ボタンの上下でポインタを「リセット」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。
3. 「フィルターカウンターリセット？」が現われますので、［ポイント］ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。
4. さらに、「OK ？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。カウンターがリセットされます。

   ※タイマーで設定した時間を超えると、フィルターの使用時間表示が赤になります。

エアフィルターお掃除時期をお知らせする画面表示について

< 図 1 > 「フィルター掃除推奨」

ランプ点灯中に「フィルターカウンター」メニューのタイマーで設定した時間が経過したとき、画面右上に表示されます。また、下記の操作をしたときにも表示されます。
・電源を入れたとき
・インプットを切り替えたとき

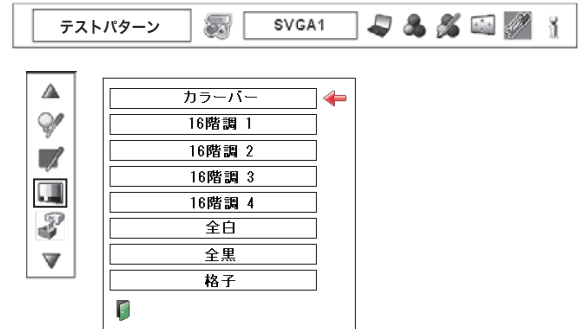
図 1

※ 「オンスクリーン表示・オフ」(☞52 ページ) のとき、「FREEZE」(☞33 ページ) 中、「NO SHOW」(☞33 ページ) 中は、表示されません。
※ フィルターカウンターをリセットすると、消えます。

テストパターン

外部からの信号源が無くても、プロジェクター本体に内蔵されたテストパターンを投映することができます。プロジェクターを設置するときに便利です。
カラーバー、16 階調 1 ～ 4、全白、全黒、格子パターンの 8 種類の中から選べます。

- テストパターンが全画面表示されているときに、[ポイント] ボタンの上下を押すと、その前後のテストパターンに切り替わります。
- テストパターンを終了するときは、[MENU] ボタン、または [SELECT] ボタンを押します。
  ※ テストパターンのメニュー画面に戻ります。

テストパターン

初期設定

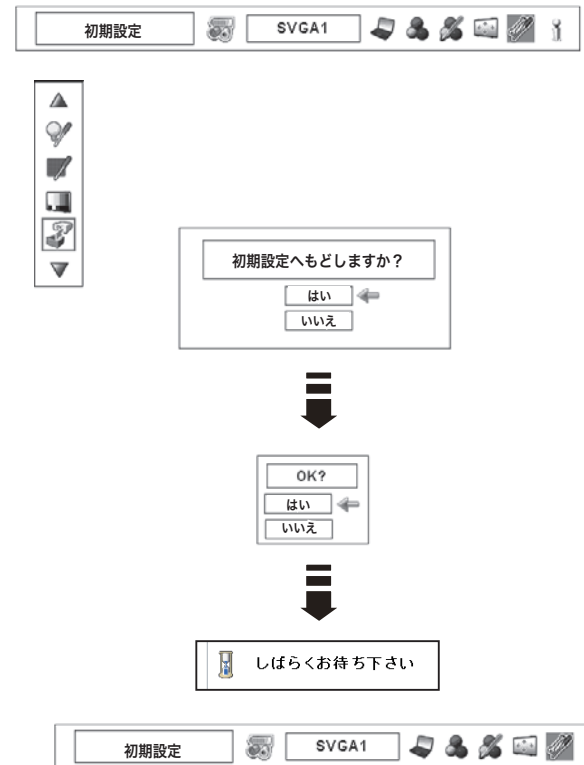
下記の設定以外を、工場出荷状態に戻します。
- ・ランプカウンター
- ・フィルターカウンター
- ・ロゴ暗証番号ロック
- ・暗証番号ロック
- ・ユーザーロゴ
- ・ネットワーク設定

※ この設定は電源コードを抜いても有効です。

ご注意

この設定が実行されると、お客さまが設定された内容はすべて失われ、各設定内容は工場出荷時の状態となります。

1. ［ポイント］ボタンの上下で「初期設定」にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。
2. 「初期設定へ戻しますか？」が現われますので、［ポイント］ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。
3. さらに、「OK ？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。設定が工場出荷時に戻ります。

初期設定

カードスロット式接続端子の交換

カードスロット式接続端子の交換のしかた

接続端子の入れ替え可能なカードスロット式接続端子により、端子カードの入れ替えで外部機器またはシステム組み込みに合わせてプロジェクターを使用することができます。

1 交換する接続端子のネジ 2 本を外します。(図 1 参照)

2 接続端子の両側のハンドルを持ち、接続端子をプロジェクター本体から引き出します。(図 1 参照)

3 接続端子をガイドに沿って差し込みます。接続端子のソケットがプロジェクター本体奥のプラグに正しく接続されるように、奥までしっかりと差し込んでください。(図 2 参照)

4 ネジ 2 本で接続端子を固定します。(図 2 参照)

※ 図は BNC × 5 ピン接続端子を DVI 接続端子に交換する場合を示しています。

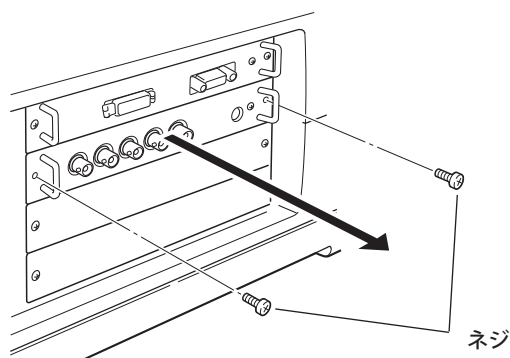



図 1.- 接続端子の外しかた

注意

⚠ 接続端子の取り外し、取り付けはプロジェクターの電源を切って行ってください。電源を入れたままで取り付け、取り外しを行うと、接続端子およびプロジェクター破損の原因となります。

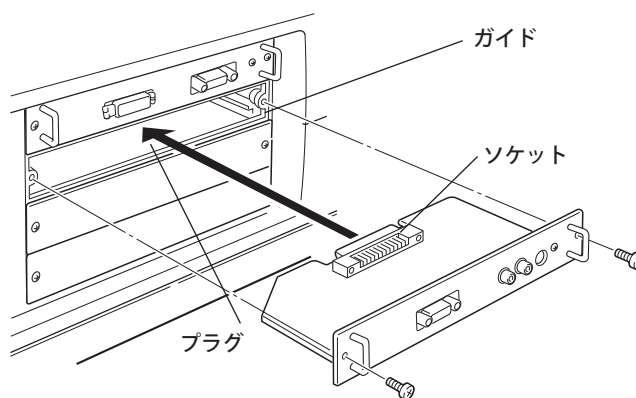



図 2.- 接続端子の取り付けかた

別売インターフェイスボード（接続端子）のご使用について

別売のインターフェイスボードをご使用になるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。販売店にご相談頂くときには、プロジェクターの「オプションコントロールナンバー」もご連絡ください。
「オプションコントロールナンバー」は「インフォメーション」メニューを選択すると現れる画面の左下部に表示されています。（右図参照）

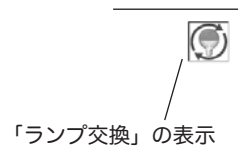
※関連操作メニュー（32 ページ）を参照ください。

オプションコントロールナンバー
Option control No. 9
↑
このナンバーをご連絡ください。

各種機能の設定

ランプの交換

[LAMP REPLACE] インジケータと [ランプ交換] 表示について

［LAMP REPLACE］インジケータ (黄) の点灯は、ランプ交換時期の目安です。
［LAMP REPLACE］インジケータが点灯したときは、ランプをすみやかに交換してください。ランプカウンターをリセットするまで電源「ON(入)」 のときに点灯します。なお、点灯する前に寿命が尽きる場合もあります。
また、画面右上に現れる「ランプ交換」表示でもランプ交換時期をお知らせします。
ランプをすみやかに交換してください。60 ページ

「ランプ交換」の表示

ランプ交換のしかた

ランプの交換はランプハウスごと行ないます。必ず指定のランプハウスを取りつけてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

・交換ランプの品番： POA-LMP109 **(サービス部品コード：610 334 6267)**
・プロジェクターの品番： LP-XF47

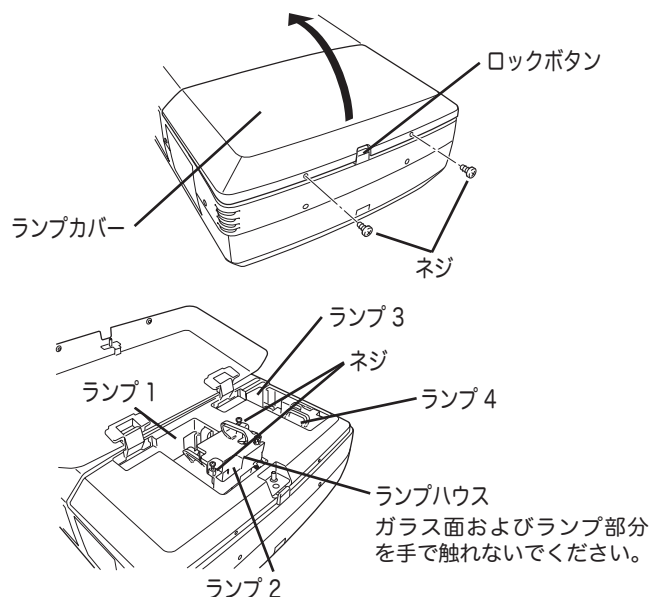
⚠ 注意
動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、45 分以上放置してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをするおそれがあります。

1 主電源を切り、電源コードを抜きます。必ず 45 分以上放置してください。

2 (+) ドライバーで 2 本のネジを外し、ロックボタンを押してランプカバーを開けます。

3 交換を必要とするランプ番号表示のあるランプハウスの 2 本のネジをゆるめ、ハンドルを持ってランプハウスごと引き出します。

4 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、2 本のネジを締めて固定します。

5 ランプカバーを閉じ、2 本のネジを締めて固定します。

● ランプは 4 個同時に交換することをおすすめします ●

バランスのとれた明るさおよび色合いを保つため、ランプ交換をするときは、4 個のランプを同時に交換することをおすすめします。

⚠ 注意

ランプの一部を取り外した状態でプロジェクターの電源を入れないでください。破損の原因となります。

ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると［LAMP REPLACE］インジケータ (黄) の点灯が消えます。
ランプカウンターのリセットのしかたは、「セッティング」メニュー内の「ランプカウンター」を参照ください。
60 ページ

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

レンズや本体にホコリが付着しないよう、レンズキャップをはめ、ケースなどに納めて保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために ●

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

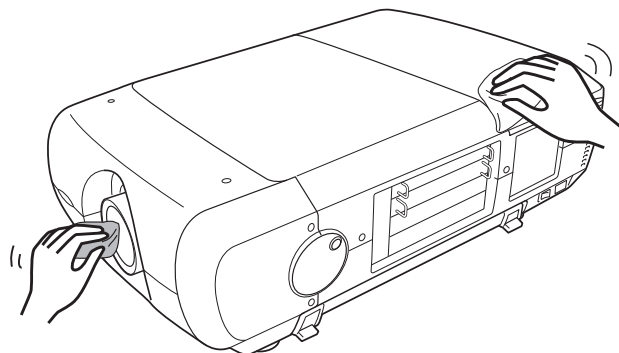
● ベンジン・シンナーは使わないで ●

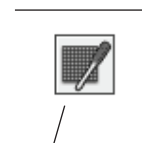
ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり､塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ ●

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブロワーブラシやレンズクリーナー (カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー) で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので､固いものでこすったり､たたいたりしないでください。

● エアフィルターのお手入れ ●

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターはこまめに掃除してください。（掃除のしかたは 、次ページを参照）

[フィルター掃除推奨] 表示について

ランプ点灯中に「フィルターカウンター」メニューのタイマーで設定した時間が経過したとき、画面右上に表示されます。フィルターの掃除もしくはフィルターを交換してください。☞61 ページ

「フィルター掃除推奨」の表示

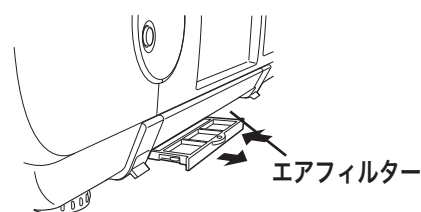
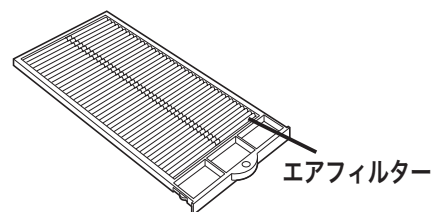
エアフィルターはこまめに掃除してください

エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターや吸気口にホコリがたまると冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇をまねいて故障の原因になります。エアフィルターや吸気口は、こまめに掃除してください。☞10 ページ

掃除は必ず電源を切ってから行なってください。

1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。 掃除は必ず電源を切ってから行なってください。

2 エアフィルターをプロジェクター本体から取り外します。

3 エアフィルター及びフィルター取り付け部周辺などのホコリを、ブラシなどで取ります。

シートの汚れがひどいときは、掃除機などでホコリを取りのぞいてください。(水洗いはしないでください)
それでも汚れが取れないときや、シートが古くなったときには新しいものと交換してください。取り換え用エアフィルターについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

取り換え用　エアフィルターの品番 ： 610 334 1057

4 エアフィルターをプロジェクター本体に差し込みます。

 掃除の目安
一般的に約 200 時間ご使用になるたびにエアフィルターを掃除してください。

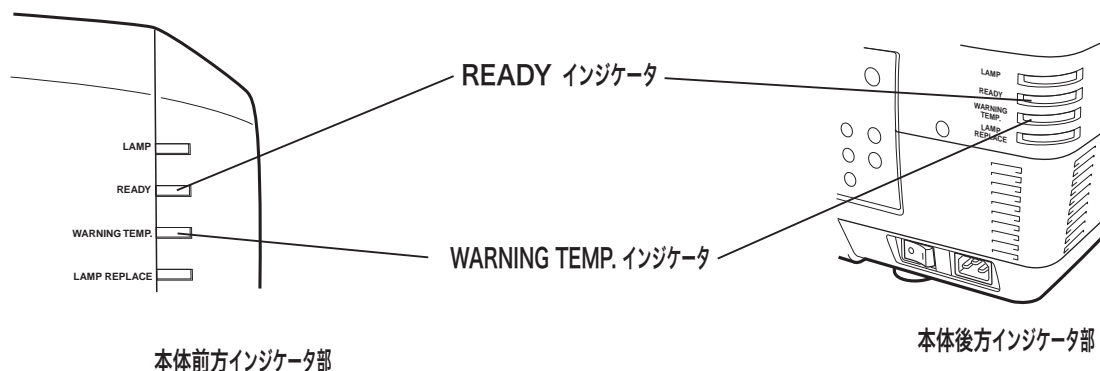
※ ご使用の環境や、ご使用時間によってエアフィルターの汚れは変わりますが、こまめに掃除することをおすすめします。

⚠ お掃除の際にご注意ください

- エアフィルター部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- エアフィルターを取り外した状態でプロジェクターを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
- エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

フィルターカウンターをリセットします

フィルターの掃除または交換の後は必ずフィルターカウンターをリセットしてください。
フィルターカウンターのリセットのしかたは、「セッティング」メニュー内の「フィルターカウンター」を参照ください。☞61 ページ

内部の温度上昇について

［WARNING TEMP.］インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると［WARNING TEMP.］インジケータ (赤) が点滅し、保護のために自動的に電源が切れ、［READY］インジケーターも消えます。［WARNING TEMP.］インジケータも点滅を続けます。温度が下がると ［READY］インジケータが点灯し、リモコンまたは本体の［ON/STAND-BY］ボタンで電源を入れることができます。電源を入れると［WARNING TEMP.］インジケータの点滅が消えます。［WARNING TEMP.］インジケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。

ここを確認してください

- 底面のエアフィルターにホコリがたまっていませんか。エアフィルターを掃除してください。
- 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。(使用温度範囲：5℃～ 35℃)
- 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

電源を入れるときは、［READY］インジケータが点灯していることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再び［WARNING TEMP.］インジケータが点滅して電源が切れます。

プロジェクターの電源が切れ、［WARNING TEMP.］と［READY］及び［LAMP REPLACE］インジケータ が点滅しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、［WARNING TEMP.］と［READY］及び［LAMP REPLACE］インジケータが点滅を始めます。このとき、リモコンおよび本体の［ON/STAND-BY］ボタンでの電源入り切りはできなくなります。
このような時は、一旦主電源スイッチを切るか電源コードをコンセントから抜いて電源を入れなおし、プロジェクターの動作を確認してください。再び電源が切れ［WARNING TEMP.］と［READY］及び［LAMP REPLACE］インジケータが点滅する場合、プロジェクターの点検をお買い上げの販売店、または修理相談窓口にご依頼ください。電源コンセントを接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは、下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。
また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行なってください。

プロジェクター正常動作時

インジケータの名称と点灯状態				プロジェクターの状態
LAMP 赤	READY 緑	WARNING TEMP. 赤	LAMP REPLACE 黄	
●	●	●	●	主電源スイッチが切れているか、 電源コードがコンセントから抜けています。
○	○	●	*	プロジェクターはスタンバイ状態です。[ON/STAND-BY] ボタンを押すと動作します。
◍	○	●	*	プロジェクターは正常に動作しています。
○	●	●	*	ランプの冷却中です。[READY] インジケータ（緑）が点灯するまで、[ON/STAND-BY] ボタンを押しても始動することはできません。
◍	▨	●	*	パワーマネージメントモードになっています。 プロジェクターを操作すると、ランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。

○ ・・・点灯

◍ ・・・暗点灯

● ・・・消灯

○ ・・・通常点滅（1 秒点灯、 1 秒消灯）

▨ ・・・高速点滅（0.5 秒点灯、0.5 秒消灯）

◎ ・・・低速点滅（2 秒点灯、2 秒消灯）

プロジェクター異常動作時

インジケータの名称と点灯状態				プロジェクターの状態
LAMP 赤	READY 緑	WARNING TEMP. 赤	LAMP REPLACE 黄	
○ / ●	✻	◎	✻	プロジェクター内部温度が異常に高くなっています。
○	●	◍	✻	プロジェクターの内部温度が高くなっています。［ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源は入りません。 プロジェクターが冷却され、正常な温度になると、［READY］インジケータ（緑）が点灯します。［ON/STAND-BY］ボタンを押して プロジェクターを始動することができます。［WARNING TEMP.］インジケーターは点滅したままです。このようなときはエアフィルターの点検などを行なってください。
○	○	◍	✻	内部の冷却が完了し､正常な温度に戻りました。［WARNING TEMP.］インジケータは点滅したままです。［ON/STAND-BY］ボタンを押すと、［WARNING TEMP.］インジケータは消え、プロジェクターが動作します。
●	○	✻	○	４灯点灯時にランプの１つが不灯により２灯点灯になった時、もしくは２灯点灯時にランプの１つが不灯により１灯点灯になった状態です。
✻	✻	✻	○	ランプの寿命です。速やかにランプを交換した後､ランプカウンターをリセットしてください。リセット後、［LAMP REPLACE］インジケータは消えます。
○	◍	◍	◍	プロジェクターの内部に異常が検出されました。［ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源は入りません。一度主電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、電源を入れ直してください。再び電源が切れ、インジケータが点滅するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理を修理相談窓口へご依頼ください。そのままで放置しないでください。火災や感電の原因となります。

［LAMP REPLACE］インジケータ（黄）が点灯するとランプの寿命です。（正常時は消灯）すみやかにランプを新しいものと交換してください。ランプ交換後は、ランプカウンターをリセットしてください。 ☞61 ページ

［LAMP REPLACE］インジケータが点灯するまでの時間は、ご使用状況（ランプモードの状態）によって異なります。

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、つぎのことをお確かめください。また、「インフォメーション」メニューで、信号の状況やセッティングの状況をお確かめください。

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源・初期設定	電源が入らない	● 電源コードは接続されていますか。 ● 主電源スイッチ（MAINS SW）は［ON］（入）になっていますか。 ● 電源は入っていますか。［ON/STAND-BY］ボタンを押してみてください。 ● ［READY］インジケータ（緑）が消えているときは、［ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源が 入りません。 ● ［WARNING TEMP.］インジケータが赤く点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、［ON/STAND-BY］ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が 下がるまでお待ちください。 ● ［WARNING TEMP.］インジケータ（赤）および［READY］インジケータ（緑）が点滅しているときは内部の故障が考えられます。 ● 「キーロック」がはたらいていませんか。リモコンの［ON/STAND-BY］ボタンを押してみてください。	23 25 25 25 67 67 57
	電源を入れたら、暗証番号を要求された	● 「暗証番号ロック」が設定されています。登録した（または工場出荷時の）暗証番号を入力してください。解除、または設定の変更は「セッティング」の「暗証番号ロック」を確認してください。	57～59
オープニング	オープニング画面が出ない	● 「オンスクリーン表示」が「オフ」または「カウントダウンオフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	52
	オープニング画面が初期設定の画像とちがう	● 「ロゴ」が「ユーザー」または「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	53
	インプットモードとランプモード以外の表示が現れた	● ランプまたはエアフィルターの状態をお知らせしています。ランプまたはエアフィルターを確認してください。	25、 60～61
画像・画質	画像が映らない	● コンピュータやビデオ機器は正しく接続されていますか。接続を確認してください。 ● 電源を入れたあと約 20 秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。（「オンスクリーン表示・オフ」、「カウントダウン・オフ」のときをのぞく） ● レンズキャップをとりましたか。 ● コンピュータモードのときはコンピュータのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が合っていますか。 ● 使用温度範囲（5℃～ 35℃）からはずれていませんか。 ● 「NO SHOW」モードになっていませんか。リモコンの［NO SHOW］ボタンを押してみてください。 ● コンピュータが外部出力に切り換わっていますか。コンピュータの出力の切り換えは、ケーブルをつないだ後に行なってください。切り換え方法はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。 ● コンピュータを再起動してみてください。	21～22 25 38～39 33 21
	画像が不鮮明	● フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。 ● スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。各オプションレンズと本機との組み合わせによる仕様は、お買い上げの販売店にご相談ください。 ● スクリーンに対して過度に斜めに投映しているときは、画面に台形ひずみ（あおり）ができ、 部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。 ● 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。 ● レンズシフト機能で画面位置を変えたときは、多少画面が暗くなることがあります。 ● レンズが汚れたり、くもってはいませんか。レンズのお手入れをしてください。	30 20 10 30 65
	画面が暗い	● 「コントラスト」や「明るさ」が、正しく調整されていますか。調整してみてください。 ● 「イメージモード」が、正しく選択されていますか。「イメージ選択」メニューを確認してみてください。 ● 「ランプコントロール」が、正しく選択されていますか。「エコモード」は暗くなります。 ● ランプモードが「2 灯モード」になっていませんか。「4 灯モード」にしてください。 ● ランプ交換時期が来ていませんか。ランプの輝度は寿命が近づくにつれじょじょに暗くなる性質があります。「ランプ交換」のお知らせ表示でランプ交換時期をお知らせします。表示が出たら、新しいランプに交換してください。	44 43 55 55 60、64、 69
	画像の色がおかしい	● 入力信号の種類、カラーシステムや走査方式、または、コンピュータのシステムモードは合っていますか。また、「イメージ調整」を確認してください。	38～39 44～46
	逆さまに映っている	● 「リア投映」や「天吊り」機能が「オン」になっていませんか。「スクリーン」メニューを確認してください。	50

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
画像・画質	画像がゆがんだり切れたりする	● 「PC 調整」や「スクリーン」メニューを確認・調整してください。	41～42 47～50
	画像の端がゆがんで見える	●「レンズシフト」を最大まで動かしていませんか。「レンズシフト」を確認してください。	30
PC調整	自動 PC 調整が働かない	● 入力信号を確認してください。システムメニューで 480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i が選択されているときは「自動 PC 調整」ははたらきません。入力信号がデジタルのときは選択できません。	40
	画像がゆがんだり切れたりする	● 「PC 調整」や「スクリーン」メニューを確認・調整してください。	41～42 47～50
設定・操作・調整	表示されない機能がある	● 「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	52
	電源を切る前の設定が残っていない	● 項目の調整後「メモリー」しましたか。「メモリー」で登録しないと保存されない項目があります。	41、44
	「パワーマネージメント」が働かない	● 「FREEZE」、「NO SHOW」が動作中は「パワーマネージメント」は作動しません。	33
	「キャプチャー」が働かない	● 無信号状態ではないですか。接続を確認してください。	53
	自動的に電源が切れる	● 工場出荷の状態で「パワーマネージメント」機能が設定されています。「セッティング」の「パワーマネージメント」を確認してください。	56
	プロジェクター本体の操作パネルで操作できない	●「キーロック」で操作パネルからの操作をロックしていませんか。 リモコンから「セッティング」の「キーロック」を確認してください。	57
	選択できないメニューがある	● ビデオ入力画面とコンピュータ入力画面では、選択できるメニューにそれぞれ制限があります。	35
	キーロックの解除が出来ない ロゴ暗証番号・暗証番号をわすれてしまった	● お手数ですが、お買い上げの販売店または修理相談窓口へ相談ください。	
	インジケータが点滅・点灯している	●「インジケータ表示とプロジェクターの状態」でプロジェクターの動作を確認してください。	68～69
	ボタンを押したのに禁止マーク（！）が表示された。	● プロジェクターがその操作を受け付けられないことをお知らせする表示です。 接続や入力信号を確認してみてください。	
リモコン	リモコンで操作できない	● 電池は正しく入っていますか。＋－を正しく入れてください。 ● 電池がなくなっていませんか。新しい電池と交換してください。 ● 電源コードは接続されていますか。 ● 主電源スイッチ（MAINS SW) は［ON］（入）になっていますか。 ● 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。 ● リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範囲で操作してください。 ● リモコンの電池ブタ内のスイッチが、「RESET」側 (右側) になっていませんか。「ON」側 (左側) にして操作してください。 ● リモコンコードを切り替えていませんか。リモコンコードを確認してください。 ●「キーロック」でリモコンからの操作をロックしていませんか。操作パネルから「セッティング」を確認してください。 ●「リモコン受光部」を前面または後面いずれか単独にセットしていませんか。 ● ワイヤードリモコンケーブルが本体またはリモコンに接続されていませんか。いずれかにケーブルが接続されているとワイヤレスリモコンとして機能しません。	17 17 23 25 18 18 17 17、55 57 56 18

付　録

コンピュータシステムモード一覧

コンピュータの信号がアナログの場合

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。(「カスタムモード 1 ～ 10 」は含みません。)接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

システムモード画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
VGA 1	640x480	31.47	59.88
VGA 2	720x400	31.47	70.09
VGA 3	640x400	31.47	70.09
VGA 4	640x480	37.86	74.38
VGA 5	640x480	37.86	72.81
VGA 6	640x480	37.50	75.00
VGA 7	640x480	43.269	85.00
MAC LC13	640x480	34.97	66.60
MAC 13	640x480	35.00	66.67
480p	640x480	31.47	59.88
575p	768x575	31.25	50.00
575i	768x576	15.625	50.00 (インターレース)
480i	640x480	15.734	60.00 (インターレース)
SVGA 1	800x600	35.156	56.25
SVGA 2	800x600	37.88	60.32
SVGA 3	800x600	46.875	75.00
SVGA 4	800x600	53.674	85.06
SVGA 5	800x600	48.08	72.19
SVGA 6	800x600	37.90	61.03
SVGA 7	800x600	34.50	55.38
SVGA 8	800x600	38.00	60.51
SVGA 9	800x600	38.60	60.31
SVGA 10	800x600	32.70	51.09
SVGA 11	800x600	38.00	60.51
MAC 16	832x624	49.72	74.55
XGA 1	1024x768	48.36	60.00
XGA 2	1024x768	68.677	84.997
XGA 3	1024x768	60.023	75.03
XGA 4	1024x768	56.476	70.07
XGA 5	1024x768	60.31	74.92
XGA 6	1024x768	48.50	60.02
XGA 7	1024x768	44.00	54.58
XGA 8	1024x768	63.48	79.35
XGA 9	1024x768	36.00	87.17 (インターレース)
XGA 10	1024x768	62.04	77.07
XGA 11	1024x768	61.00	75.70
XGA 12	1024x768	35.522	86.96 (インターレース)
XGA 13	1024x768	46.90	58.20
XGA 14	1024x768	47.00	58.30
XGA 15	1024x768	58.03	72.00
MAC 19	1024x768	60.24	75.08
SXGA 1	1152x864	64.20	70.40
SXGA 2	1280x1024	62.50	58.60
SXGA 3	1280x1024	63.90	60.00

システムモード画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	
SXGA 4	1280x1024	63.34	59.98	
SXGA 5	1280x1024	63.74	60.01	
SXGA 6	1280x1024	71.69	67.19	
SXGA 7	1280x1024	81.13	76.107	
SXGA 8	1280x1024	63.98	60.02	
SXGA 9	1280x1024	79.976	75.025	
SXGA 10	1280x960	60.00	60.00	
SXGA 11	1152x900	61.20	65.20	
SXGA 12	1152x900	71.40	75.60	
SXGA 13	1280x1024	50.00	86.00 (インターレース)	
SXGA 14	1280x1024	50.00	94.00 (インターレース)	
SXGA 15	1280x1024	63.37	60.01	
SXGA 16	1280x1024	76.97	72.00	
SXGA 17	1152x900	61.85	66.00	
SXGA 18	1280x1024	46.43	86.70 (インターレース)	
SXGA 19	1280x1024	63.79	60.18	
SXGA 20	1280x1024	91.146	85.024	
SXGA+ 1	1400x1050	63.97	60.19	
SXGA+ 2	1400x1050	65.35	60.12	
SXGA+ 3	1400x1050	65.12	59.90	
SXGA+ 4	1400x1050	64.03	60.01	
SXGA+ 5	1400x1050	62.50	58.60	
MAC 21	1152x870	68.68	75.06	
MAC	1280x960	75.00	75.08	
MAC	1280x1024	80.00	75.08	
WXGA 1	1366x768	48.36	60.00	
WXGA 2	1360x768	47.70	60.00	
WXGA 3	1376x768	48.36	60.00	
WXGA 4	1360x768	56.16	72.00	
WXGA 6	1280x768	47.776	59.87	
WXGA 7	1280x768	60.289	74.893	
WXGA 8	1280x768	68.633	84.837	
WXGA 9	1280x800	49.60	60.05	
WXGA 10	1280x800	41.20	50.00	
UXGA 1	1600x1200	75.00	60.00	
UXGA 2	1600x1200	81.25	65.00	＊1
UXGA 3	1600x1200	87.50	70.00	＊1
UXGA 4	1600x1200	93.75	75.00	＊1
UXGA 5	1600x1200	106.25	85.00	＊1
720p	1280x720	45.00	60.00	
720p	1280x720	37.495	50.00	
1035i	1920x1035	33.75	60.00 (インターレース)	
1080i	1920x1080	33.75	60.00 (インターレース)	
1080i	1920x1080	28.12	50.00 (インターレース)	

コンピュータの信号がデジタルの場合

DVI 入力端子からデジタル信号を入力する場合、以下のシステムモードに対応しています。

システムモード画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
D-VGA	640x480	31.47	59.94
D-480p	720x480	31.47	59.88
D-575p	720x575	31.25	50.00
D-SVGA	800x600	37.879	60.32
D-XGA	1024x768	43.363	60.00
D-WXGA 1	1366x768	48.36	60.00
D-WXGA 2	1360x768	47.70	60.00
D-WXGA 3	1376x768	48.36	60.00
D-WXGA 4	1360x768	56.16	72.00
D-WXGA 5	1366x768	46.50	50.00
D-WXGA 6	1280x768	47.776	59.87
D-WXGA 7	1280x768	60.289	74.893
D-WXGA 8	1280x768	68.633	84.837
D-WXGA 9	1280x800	49.60	60.05
D-WXGA 10	1280x800	41.20	50.00

システムモード画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
D-SXGA 1	1280x1024	63.98	60.02
D-SXGA 2	1280x1024	60.276	58.069
D-SXGA+ 1	1400x1050	63.97	60.19
D-SXGA+ 2	1400x1050	65.35	60.12
D-SXGA+ 3	1400x1050	65.12	59.90
D-720p	1280x720	45.00	60.00
D-720p	1280x720	37.50	50.00
D-1035i	1920x1035	33.75	60.00 (インターレース)
D-1080i	1920x1080	33.75	60.00 (インターレース)
D-1080i	1920x1080	28.125	50.00 (インターレース)
D-1080psf/30	1920x1080	33.75	60.00
D-1080psf/25	1920x1080	28.125	50.00
D-1080psf/24	1920x1080	27.00	48.00

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。
※ ドットクロックが 230MHz 以上のコンピュータの信号には対応しておりません。
※ SXGA、WXGA、UXGA、MAC21、MAC、720p、1035i、1080i の信号を投映するときは、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

✽1：「PC 調整」メニュー内で調整できないメニューが生じる場合があります。

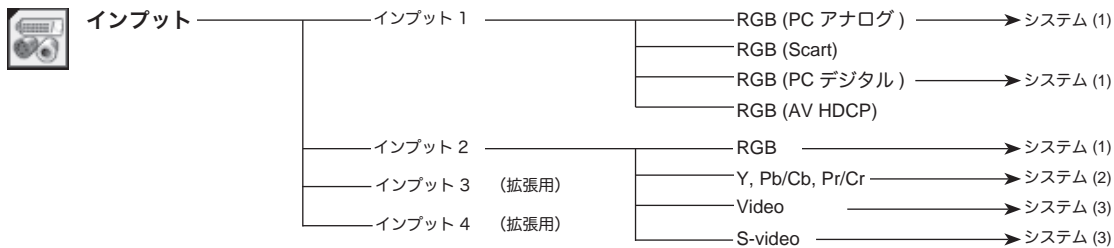
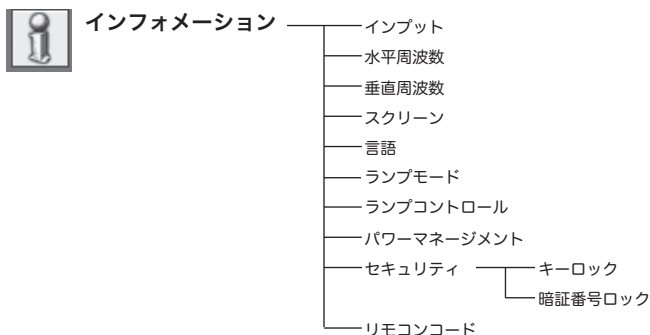
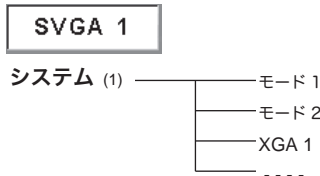
メニュー内容一覧

コンピュータ / ビデオ　インプット

インフォメーション

コンピュータ入力

SVGA 1

システム (1)
- モード 1
- モード 2
- XGA 1
- - - - -

＊ 表示される内容は入力された信号によって異なります。

PC 調整
- 自動 PC 調整
- トラッキング ― 0 - 31
- 総ドット数
- 水平位置
- 垂直位置
- コンピュータ情報
- クランプ
- 画面領域 H
- 画面領域 V
- リセット ― はい / いいえ
- データ消去
  - モード 1
  - モード 2
  - :
  - モード 10
  - 戻る
- メモリー
  - モード 1
  - モード 2
  - :
  - モード 10
  - 戻る
- 戻る

イメージ選択
- 標準
- リアル
- イメージ 1
- イメージ 2
- :
- イメージ 10

イメージ調整
- コントラスト ― 0 - 63
- 明るさ ― 0 - 63
- カラーマネージメント
- 自動画質補正 ― オフ /L1/L2
- 色温度 ― 超低 / 低 / 中 / 高 / 調整中
- 赤 ― 0 - 63
- 緑 ― 0 - 63
- 青 ― 0 - 63
- オフセット ― 赤 / 緑 / 青 ― 0 - 63
- 画質 ― 0 - 15
- ガンマ補正 ― 0 - 15
- リセット ― はい / いいえ
- メモリー
  - イメージ 1
  - イメージ 2
  - :
  - イメージ 10
  - 戻る
- 戻る

スクリーン
- ノーマル
- リアル
- ワイド
- フルスクリーン
- カスタム
- デジタルズーム +
- デジタルズーム –
- キーストーン
  - リセット
  - メモリー
- 天吊り ― オン / オフ
- リア投映 ― オン / オフ
- リセット ― はい / いいえ
- 戻る

ビデオ入力
Auto
システム (2)
Auto
1080i
1035i
720p
575p
480p
575i
480i
Auto
システム (3)
Auto
PAL
SECAM
NTSC
NTSC 4.43
PAL-M
PAL-N
イメージ選択
標準
シネマ
イメージ 1
イメージ 2
:
イメージ 10
イメージ調整
コントラスト
0 - 63
明るさ
0 - 63
色の濃さ
0 - 63
色合い
0 - 63
カラーマネージメント
自動画質補正
オフ /L1/L2
色温度
超低 / 低 / 中 / 高 / 調整中
赤
0 - 63
緑
0 - 63
青
0 - 63
オフセット
赤 / 緑 / 青
0 - 63
画質
0 - 15
ガンマ補正
0 - 15
ノイズリダクション
オフ / オン
プログレッシブ
オフ / オン / フィルム
リセット
はい / いいえ
メモリー
イメージ 1
イメージ 2
:
イメージ 10
戻る
戻る
スクリーン
ノーマル
ワイド
カスタム
キーストーン
リセット
メモリー
天吊り
オン / オフ
リア投映
オン / オフ
セッティング
セッティング
言語
英語
ドイツ語
フランス語
イタリア語
スペイン語
ポルトガル語
オランダ語
スウェーデン語
ロシア語
中国語
韓国語
日本語
戻る
メニュー
ポジション
シンプルメニュー
オン / オフ
戻る
オンスクリーン表示
オフ / カウントダウンオフ / オン
バックグラウンド
青 / ユーザー / 黒
ロゴ
ロゴ選択
オフ / 初期設定 / ユーザー
キャプチャー
はい / いいえ
ロゴ暗証番号ロック
オン / オフ
ロゴ暗証番号変更
戻る
戻る
ランプモード
4 灯 / 2 灯
ランプコントロール
オート / ノーマル / エコ
ファン制御
ノーマル / マックス
リモコンコード
コード 1 ～ 8
戻る
リモコン受光部
両方 / 前 / 後
パワーマネージメント
オフ / 待機 / シャットダウン
1 ～ 30（タイマー：分）
戻る
オンスタート
オン / オフ
セキュリティ
キーロック
オフ
プロジェクター
リモコン
暗証番号ロック
オフ / オン 1 / オン 2
暗証番号変更
戻る
プロジェクター ID
1 - 999
ランプカウンター
ランプ 1
ランプ 2
ランプ 3
ランプ 4
時間（使用時間）
リセット
はい / いいえ
戻る
フィルターカウンター
時間（使用時間）
オフ / 100 / 300 / 500（タイマー：時間）
リセット
はい / いいえ
戻る
テストパターン
8 種類のパターン
初期設定
はい / いいえ
戻る

仕　様

プロジェクター本体

項目	仕様
型　　名	LP-XF47
種　　類	液晶プロジェクター
表 示 方 式	液晶パネル 3 枚 3 原色光シャッター方式
液晶パネル	サイズ : 1.8 型 x 3
	アスペクト比 4:3 駆動方式 : ポリシリコン TFT アクティブマトリクス方式 画素配列 : ストライプ、画素数 :786,432 画素 (1,024 × 768) × 3 枚 総画素数 2,359,296 画素
投映レンズ	別売
光　　源	330W NSHA ランプ x 4
画面サイズ (投映距離)	装着レンズにより異なる
ズーム / フォーカス調整	電動 （電動式レンズの場合）
入出力	
コンピュータ	DVI 入力 (1 系統):DVI-D コネクター (24 ピン) デジタル :TMDS (Transition Minimized Differential Signaling) アナログ RGB 入力 (入力 2 系統): ミニ D-sub_15 ピン、BNC x 5 ピン アナログ RGB 信号 :0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75 Ω 水平・垂直同期 :TTL レベル、負または正極性 (G 信号中のコンポジット同期 :0.3Vp-p、負極性、インピーダンス 75 Ω)
ビ デ オ	ビデオ入力 (3 系統) 映像 :BNC コネクター、1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω S 映像 : セパレート YC 信号、ミニ DIN_4 ピン Y;1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω C;0.286Vp-p (バースト信号)、インピーダンス 75 Ω コンポーネント : セパレート Y Cb/Pb Cr/Pr 信号、BNC コネクター x 5 ピン Y;1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω Cb/Pb;0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω Cr/Pr;0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω
制御入出力、他	シリアルポート :D-sub 9 ピン x 2 (入力 1 系統 / 出力 1 系統) USB 端子 :USB コネクター (1 系統、シリーズ B) ワイヤード リモコン端子 : ミニジャック
走査周波数	水平 _15K ～ 120KHz、垂直 _48 ～ 120Hz
カラーシステム	6 システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N)
電　　源	AC200V 50/60Hz
消 費 電 力	1700W、25W (待機中消費電力)
本 体 寸 法	幅 581 ×高さ 251.5 ×奥行 815.5 mm (突起物を含まず)
質　　量	36.5 Kg

各プロジェクターによって色味が異なります。

各プロジェクターはそれぞれ異なる特性を持っています。複数台のプロジェクターを用いて同じスクリーン上、または隣り合わせて投映される場合、プロジェクターのホワイトバランスや色味の違いが感じられます。これは各プロジェクター固有の特性によるものでプロジェクターの故障ではありません

※ HDCP とは、High-bandwidth Digital Contents Protection の略称で、DVI を経由して送られるデジタル映像の不正コピーを防止することを目的とした著作権保護用システムのことです。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。本機の DVI-D 入力端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生、投映することができます。HDCP の規格変更等が行なわれた場合、これら HDCP 技術でコピープロテクトされたデジタル映像の DVI-D 端子での再生はできなくなる場合があります。

※ 高調波電流規格　JIS C 61000-3-2:2005 適合品

※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99 % 以上です。投映中 0.01 % 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

リモコン

電源	DC3.0V　単３形アルカリ乾電池 ２本使用
到達距離	約 5m (受信部正面)
本体寸法	幅 50 ×高さ 27 ×奥行 168mm
質量	129g (電池を含む)

付属品

- ■ リモコン ･･･ 1 個 (CXWK)
- ■ リモコン用 アルカリ乾電池 ････････････････････････････････････ 2 本
- ■ 電源コード ･･･ 1 本
- ■ コンピュータ接続ケーブル（D-sub 用） ･････････････････････････ 1 本
- ■ 取扱説明書 ･･･ 1 冊
- ■ 保証書
- ■ PIN code lock シール ･･･････････････････････････････････････ 1 枚
- ■ お客さまご相談窓口一覧 ･･･････････････････････････････････････ 1 枚
- ■ 遮光プレート ･･･ 3 種
- ■ レンズ取付金具 ･･･ 1 枚
- ■ Real Color manager Pro ･････････････････････････････････････ 1 セット

別売品

(インターフェイスボード)

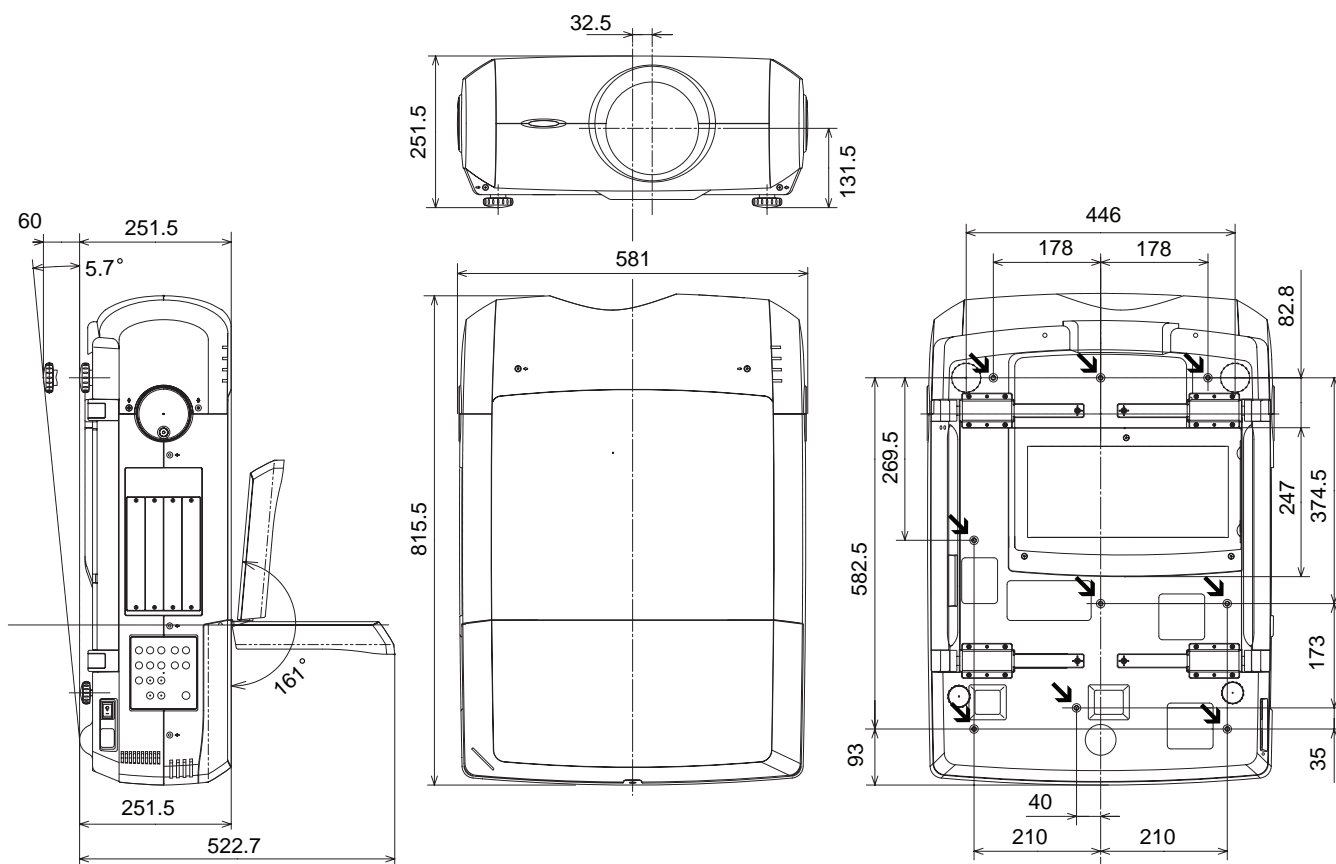
- **■ Network ボード ･････････････････ 品番 : POA-MD13NET2**
- **■ Dual SDI ボード ････････････････ 品番 : POA-MD17SDID**
- **■ DVI ボード･････････････････････ 品番 : POA-MD18DVI**
- **■ ミニ D-sub ボード ･･････････････ 品番 : POA-MD04VGA**
- **■ 5 BNC ボード ･･････････････････ 品番 : POA-MD16VD1**

(その他)

- **■ コンピュータ接続ケーブル (DVI 用) ･････ 品番 : 945 043 3703**
- **■ リモコン接続ケーブル (30m)･････････ 品番 : POA-CA-RC30**
- **■ 高天井用天吊金具 ････････････････ 品番 : POA-CHL801**
- **■ 低天井用天吊金具 ････････････････ 品番 : POA-CHS801**

●レンズ交換について●
本機はオプションレンズを使用することにより、レンズを交換して使用することができます。
レンズの取り付け・交換は、安全のため専門の販売技術員、または、サービス技術員にご相談ください。お客様自身での取り付け交換はしないでください。
●販売技術員・サービス技術員の方へ●
レンズの取り付け・交換は別冊のレンズ交換手順書にしたがい行なってください。レンズの取り付け・交換の前にレンズの品番を確認の上、正しいレンズをご使用ください。

※このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

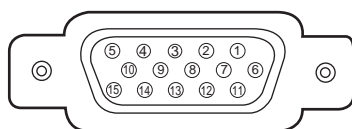
寸法図

天吊り金具ねじ穴
ねじ : 9-M8
深さ : 8.0

単位 : mm

端子の仕様

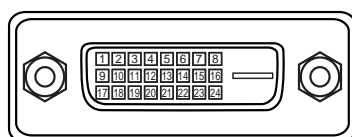
ANALOG IN （コンピュータ アナログ入力 端子）

コンピュータからのアナログ RGB 出力を接続する端子です。接続には、コンピュータ接続ケーブル（D-sub 用）を使用します。

ミニ D-sub 15 ピン

1	R 入出力	9	未接続
2	G 入出力	10	接地（垂直同期）
3	B 入出力	11	接地 / 未接続
4	未接続	12	未接続
5	接地（水平同期）	13	水平同期 入出力（ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ：水平垂直同期）
6	接地 (R)	14	垂直同期 入出力
7	接地 (G)	15	未接続
8	接地 (B)		

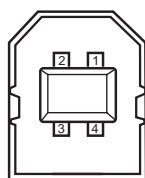
DIGITAL DVI-D （コンピュータ DVI-D 入力端子）

コンピュータからのデジタル (TMDS) 出力を接続する端子です。接続には、DVI 用コンピュータ接続ケーブル (別売) を使用します。

DVI 24 ピン

1	T.M.D.S. データ 2–	9	T.M.D.S. データ 1–	17	T.M.D.S. データ 0–
2	T.M.D.S. データ 2+	10	T.M.D.S. データ 1+	18	T.M.D.S. データ 0+
3	T.M.D.S. データ 2 シールド	11	T.M.D.S. データ 1 シールド	19	T.M.D.S. データ 0 シールド
4	未接続	12	未接続	20	未接続
5	未接続	13	未接続	21	未接続
6	DDC クロック	14	+5V パワー	22	T.M.D.S. クロック シールド
7	DDC データ	15	接地 (+5V)	23	T.M.D.S. クロック +
8	未接続	16	ホットプラグ検知	24	T.M.D.S. クロック –

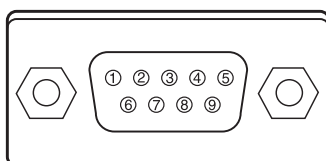
USB（ユニバーサルシリアルバス端子）

USB 規格対応の端子を持つコンピュータ機器との接続に使用する端子です。（シリーズ B）

USB コネクター（シリーズ B）

1	VCC(5V)
2	– DATA
3	+ DATA
4	接地

SERIAL PORT IN / SERIAL PORT OUT（ シリアルポート入出力端子）

接続したコンピュータからプロジェクターの制御を行なうときにつなぐ［SERIAL PORT IN］端子と、2 台目以降のプロジェクターも同じコンピュータから制御を行なうときに、2 台目以降のプロジェクターへも同じ制御信号を出力するための［SERIAL PORT OUT］端子です。

D-sub 9 ピン

1	——	6	——
2	R x D	7	——
3	T x D	8	——
4	——	9	——
5	GND		

暗証番号について

暗証番号を忘れるとプロジェクターの操作ができなくなります

暗証番号を忘れると、プロジェクターの操作ができなくなります。以下の記入欄に登録した暗証番号を書き留めておくことをおすすめします。ただし、第三者に見られたり、持ち出されたりしないように、取扱説明書は大切に保管してください。暗証番号がわからなくなってしまったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

暗証番号ロック
の暗証番号

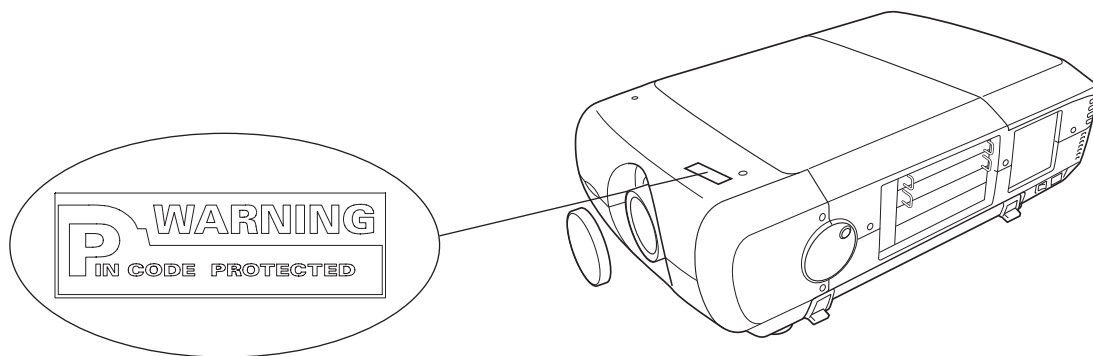
工場出荷時の暗証番号：　１２３４*

ロゴ暗証番号ロック
の暗証番号

工場出荷時の暗証番号：　４３２１*

* 暗証番号を変更された場合は、工場出荷時の暗証番号は無効になります。

暗証番号が登録されていることをシールでわかるようにしましょう

暗証番号を登録し、暗証番号を有効にしているとき、付属のシールを本体の目立つところへ貼り付けます。

シリアルコマンドについて

RS-232Cにより、プロジェクターをパソコンから遠隔操作するための制御コマンドです。

接続の手順

1 RS-232C シリアルコントロールケーブルで、コンピュータのシリアルポートとプロジェクターの [SERIAL PORT IN] をつなぎます。

2 通信仕様を確認してください。

3 プロジェクターを制御するためのコマンドを入力し、[Enter (エンター)] キーを押してください。

<例>
入力を [インプット 2] に変えたいとき
"C", "0", "6" Enter と押します。

通信仕様

通信速度	: 9600 / 19200 bps
パリティチェック	: なし
ストップビット	: 1
フロー制御	: なし
データー長	: 8 ビット

✔注意:
- ・通信速度の初期設定は19200 bps です。通信エラーが発生するときは、シリアルポートと通信速度を変えてみてください。
- ・コマンドを入力する英字はすべて大文字（A ~ Z) で、小文字は使用できません。

フォーマット

機能実行の場合

パソコンなどからプロジェクターへ以下のコマンドを送ります。
　”C” (コマンド) [CR]
　コマンド: 2文字　(次ページの一覧表を参照してください)

プロジェクターは受信コマンドを解析し、受信できる状態になると以下の結果を返します。
　[ACK] [CR]

受信したデーターが解読不能な場合は
　"?" [CR] を返します。

状態取得の場合

パソコンなどからプロジェクターへ以下のコマンドを送ります。
　”CR” (コマンド) [CR]
　コマンド: 1文字　(次ページの一覧表を参照してください)

プロジェクターはコマンドを解析し解析結果を返します。

下記の一覧表はプロジェクターを制御及び状態を取得するための一般的なコマンドリストです。
詳細なリストが必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

機能実行コマンド一覧表

コマンド	制御内容
C00	プロジェクター オン
C01	プロジェクター オフ (瞬間オフ)
C05	インプットセレクト 1
C06	インプットセレクト 2
C07	インプットセレクト 3
C08	インプットセレクト 4
C0D	ビデオミュートオン
C0E	ビデオミュートオフ
C0F	アスペクト 4:3
C10	アスペクト 16:9
C1C	メニューオン
C1D	メニューオフ
C3A	ポイント右

コマンド	制御内容
C3B	ポイント左
C3C	ポイント上
C3D	ポイント下
C3F	エンター
C46	ズームダウン
C47	ズームアップ
C4A	フォーカスダウン
C4B	フォーカスアップ
C5D	レンズシフトアップ
C5E	レンズシフトダウン
C5F	レンズシフト左
C60	レンズシフト右
C89	オートピーシーアジャスト
C8E	キーストーン上
C8F	キーストーン下
C90	キーストーン右
C91	キーストーン左

状態取得コマンド一覧表

コマンド	情報内容	戻り値	プロジェクターの状態
CR0	動作状況	00	パワーオン状態
		80	スタンバイ状態
		40	カウントダウン中
		20	クーリングダウン中
		10	電源異常状態
		28	温度異常でクーリングダウン中
		02	RS232C コマンドを受け付けられない状態
		24	パワーセーブでクーリングダウン中
		04	パワーセーブ状態
		21	ランプ不灯でオフした場合のクーリングダウン中
		81	ランプ不灯でクーリングダウン後のスタンバイ状態
		88	温度異常でクーリングダウン後のスタンバイ状態
CR6	温度状況	S1 S2 S3	S1 = センサー 1 の温度 (℃) S2 = センサー 2 の温度 (℃) S3 = センサー 3 の温度 (℃) (例) S1 = 12.3℃, S2 = 23.4℃, S3 = 34.5℃ のとき --> 表示は “□12.3__□23.4__□34.5” 各センサーの温度が □XX.X と表示され各数値間に1スペース空いています、温度がプラスの時□はスペースとなり温度がマイナスの時□は(ー)となります。
		?	受信不能のとき

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。
（ただし、ランプは 6 ヶ月です）

■保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間の過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

■修理を依頼される前に

「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでもなおらない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときに ご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

ご転居やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がありましたら、
お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

愛情点検	● 長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！	熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	● 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ● 映像が時々消えることがある。 ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ● 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ● 内部に水や異物が入った。 ● その他異常や故障がある。

ご使用中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客さまメモ	
品　番	LP-XF47
お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ店名	☎
最寄りのお客さまご相談窓口	☎

三洋電機株式会社

ＤＩカンパニー
プロジェクター事業部
販売企画部　国内販売課
〒574 - 8534 大阪府大東市三洋町１- 1

1AA6P1P5418-- (KE3C) ⓐ